

官

報

號 外

明治四十五年三月十七日

日曜日

印 刷

局

○ 第二十八回 衆議院議事速記録第二十一號

明治四十五年三月十六日(土曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第二十號 明治四十五年三月十六日

午後一時開議

質問

一 官紀振肅ニ關スル質問(武田貞之)

二 土地増價税ニ關スル質問(千田重之)

三 商工政策ニ關スル質問(三谷勤秀君)

第一 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 農工銀行法中改正法律案(政府提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給

ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助

料ニ關スル法律案(政府提出)

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 酒造稅法中改正法律案(黃金井爲達君)

第十 刑事訴訟法中改正法律案(阿部德三郎君)

第十一 新二十錢銀貨改鑄ニ關スル建議案(森茂生君)

第十二 石油引火點規則改定實施ニ關スル建議案(齋藤君提)

第十三 日本刀劍鍛冶法維持ノ爲ニ刀劍師養成ニ關ス

ル建議案(永野靜雄君)

第十四 田畠地價修正ニ關スル建議案(塚田啓太君)

(委員長報告)

第十五 鹿兒島開港ノ建議案(山岡國吉君)

(外一名提出)

第十六 小松島港修築ニ關スル建議案(大久保弁太郎君)

(外三名提出)

第十七 鐵道建設ニ關スル建議案(吉田虎之助君)

(委員長報告)

第十八 決議案(請願委員)

第十九 特別報告第一五二號水道費國庫補助ノ請願

(委員長報告)

第二十 (特別報告第一五三號)村合併ノ請願

(委員長報告)

第二十一 (特別報告第一五五號)利根川改修ニ付河川

(委員長報告)

第二十二 (特別報告第一五六號)河川改修速成ノ請願

(委員長報告)

第二十三 (特別報告第一五七號)常設美術展覽會場設立ノ請願

(委員長報告)

第二十四 (特別報告第一五八號)登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第二十五 (特別報告第一五九號)登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第二十六 (特別報告第一六〇號)登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第二十七 (特別報告第一六一號)登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第二十八 (特別報告第一六二號)區裁判所裁判事務復舊ノ請願

(委員長報告)

第二十九 (特別報告第一六三號)控訴院管轄變更ノ請願

(委員長報告)

第三十 (特別報告第一六四號)區裁判所出張所設置

(委員長報告)

第三十一 (特別報告第一六五號)區裁判所出張所設置

(委員長報告)

第三十二 (特別報告第一六六號)區裁判所出張所設置

(委員長報告)

第三十三 (特別報告第一六七號)蠶絲業法中改正ノ請願

(委員長報告)

第三十四 (特別報告第一六八號)捕獲ヲ禁スル鳥類追加ノ請願

(委員長報告)

第三十五 (特別報告第一六九號)帝國軍人後援會國庫補助ノ請願

(委員長報告)

第三十六 (特別報告第一七〇號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第三十七 (特別報告第一七一號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第三十八 (特別報告第一七二號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第三十九 (特別報告第一七三號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十 (特別報告第一七四號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十一 (特別報告第一七五號)電信局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十二 (特別報告第一七六號)三等郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十三 (特別報告第一七八號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十四 (特別報告第一七九號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十五 (特別報告第一八〇號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

○議長(大岡清造君) 諸般ノ報告ヲ致シマス
(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退職料及遺族扶助料ニ關スル法律案

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

薬品營業並薬品取扱規則中改正法律案
提出者 総理部 惣兵衛君

朝鮮總督府新聞紙規則改正ニ關スル建議案
提出者 關和知君 大内暢二君

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書(高木益太郎君提出)

一 今十六日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一 都市政策ニ關スル質問主意書(高木益太郎君提出)

一 今十六日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一 陸軍作業會計法中改正法律案
又左ノ本院提出案ニ對シテハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一 常任委員ノ補闕選舉ニ左ノ適當選セラレタリ

一部 決算委員 井上喜作朝君

第六部 決算委員 西能源四郎君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

刑事訴訟法中改正法律案委員會

委員長 阿部徳三郎君

關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會

委員長 清釜太郎君

朝鮮醫院及濟生院特別會計法案委員會

委員長 渡邊修君

汽船「トロール」漁業取締ニ關スル建議案委員會

委員長 望月圭介君

鹿兒島開港ノ建議案外一件委員會

委員長 山岡吉君

藩兵優遇ニ關スル建議案委員會

委員長 翠川鐵三君

北海道醫學專門學校設立ニ關スル建議案委員會

委員長 根本正君

中川改修工事速成ニ關スル建議案委員會

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

官紀振肅ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年二月二十七日 提出者 武田貞之助

賛成者 野添宗三

外三十八人

官紀振肅ニ關スル質問主意書
且有效ニ監督ヲ爲サムトスルヤ詳細ナル答辯アラムコトヲ望ム
右及質問候也

土地增價稅ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年二月二十八日 提出者 千田軍之助

賛成者 齋藤二郎

土地增價稅ニ關スル質問主意書
右及質問候也

土地增價稅ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

土地增價稅ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

土地增價稅ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

我カ邦ノ課稅中特に土地ニ對シテ重キニ過クルノ虞ナキ乎即チ過重ナル地租ヲ課セ

フルノ外府縣稅市町村稅及所得稅皆之伴ヒ土地ノ抵當金融及所有權ノ賣買移轉ニ對シテハ登錄稅、家督及遺產相續ニ對シテハ相續稅ヲ課セラル等孰レモ過重ナラサルハナシ斯ノ如ク土地ハ幾多ノ重複負擔ヲ爲セルニ拘ラス政府ハ土地增價稅ノ如キ新稅ニ依リテ此ノ上ニ土地ノ負擔ヲ加フルノ餘地アリト認ムルヤ如何

政府ハ明晰ニ其ノ所見ヲ答辯セラレムコトヲ望ム

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

商工政策ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年二月二十九日 提出者 三谷軌秀

濱岡光哲

外二十九人

贊成者 中野武齋

外二十九人

商工政策ニ關スル質問主意書

商工政策ニ關スル質問主意書

過去及現在ニ於ケル帝國對外貿易ハ常ニ輸入超過ノ趨勢ヲ持續シ國運ノ伸

張ニ多大ノ障礙ヲ與ヘツツアリ政府ハ其ノ原因ヲ精査シ近キ將來ニ於テ此ノ趨勢ヲ一轉シテ純然タル輸出國タラシムルノ成算アリヤ

政府ハ我カ輸出入貿易品中將來輸入ヲ防遏シ輸出ヲ増進セシムルコトヲ得ヘキ物品ハ主シテ農産品ニ屬望セラルヤ將タ工產即ニ期待セラルヤ

ルルトセハ其ノ救濟策シテ從來如何ナル政策ヲ執リタルヤ又將來如何ナル政

策ヲ斷行スルノ意ナルヤ

(イ) 工業智識ノ幼稚ナルコト

(ロ) 工業資金ノ匱乏ナルコト

(ハ) 公課ノ負擔過重ナルコト

(二) 官營事業ノ過多ナルコト

(水) 財政計畫ノ失當ナルコト
(水) 政費ノ分配其ノ宜シキヲ得サルコト

四 政府ハ支那、印度及南洋諸島ニ對スル貿易ニ關シ如何ナル方法手段ヲ講シ如何ナル政策ヲ實行セラレツアリヤ殊ニ支那動亂ニ際シ我カ在清領事及商務官ハ果シテ適當ナル注意ヲ拂ヒ機宜ニ適切ナル處置ヲ行ヒ我カ營業者ニ對シ如何ナル利便ヲ與ヘラレタルヤ其ノ事實如何

右及質問候也

都市政策ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年三月十四日

提出者 高木益太郎

賛成者 古島一雄
外八十二名

東京ハ帝都輦轂ノ地ニシテ又我國文化ノ中心點ナリ故ニ其ノ市政ノ如何ハ之ヲ内ニシテハ我國自治體ノ模範ト爲リヲ外ニシテハ我國帝都ノ體面ヲ維持スルノ必要アルハ固ヨリ其ノ處ナリ然ルニ從來政府當局者カ東京市政ニ對スル態度ヲ見ルニ殆ト一定ノ主義方針ヲ有セサルカ如クニシテ東京ノ市政ハ今ヤ漸ク紊亂ノ極ニ達セムトス依テ本員カ政府ノ意見ヲ確メムトスル要目左ノ如シ

第一 政府ハ電車、瓦斯、電燈事業ノ營業ニ對シ既ニ確定セル一般的監督方針ヲ有スルヤ若アリトセハ其ノ概要如何

(イ) 從來東京市民カ電車、瓦斯等ノ問題ノ爲ニ困厄ヲ蒙リタル事一再ニシテ止マラス裏ニハ電車值上問題ニ繼クニ電車市有問題ヲ以テシ最近又瓦斯會社合併竝電車從業者同盟罷業ノ事アリテ紛擾又紛擾殆ト見ル忍ヒサル情況ヲ現出シタルハ人皆知ル處ナリ而シテ今ヤ是等ノ諸問題ハ沈靜ニ歸シタルカ如クナレトモ今日ニ於ケル市政ノ情態ヨリ見レハ將來又何時再起スルヲ保シ難シ而シテ是等ノ諸問題ノ起リシ當時政府當局者ノ處置ヲ見ルニ其ノ初ハ殆ト之ヲ知ラサルモノノ如キ態度ヲ取り愈最後ノ場合ニ至リ突然非常識ノ手段ヲ以テ之ヲ壓迫スルニアリモノノ如シ一例ヲ取ラムニ昨年七月電車市有問題カ市會ニ於テ決議セラムトスルノ日ニ當リ數日前ヨリ奔命ニ疲レタル市民ノ多クハ市會ノ意向ヲ知ラムトスル熱心ノ餘り期セスシテ市會ノ門前ニ集リ入場ヲ得シテ其ノ附近ニ娼集シ居リタルニ而モ當局ニテハ軍隊ヲサヘ出シテ之ヲ制止シタルニ非サルカ市民ヲシテ最後ノ手段ヲ取ラシム迄黙過シテ愈最後ノ場合ニハ軍隊ヲマテ動カス當局ハ何故ニ市民ヲシテ斯ル態度ニ出テシムル根源ニ付テ充分ノ監督ヲ施ササルヤ市民ハ自己ノ膏血ヲ絞ツテ重税ヲ負擔シ國家ノ安寧ヲ維持セムカ爲軍隊ニハ義務奉公ヲ爲シ居ルナリ而モ爲政者ハ其ノ軍隊ヲ以テ人民ノ自由ヲ壓迫シタルニ非サルカ今日支那ノ革命騒動ニ於テ本邦人ノ生命財產カ其ノ犠牲ニ供セラレツアアルモノ決シテ訟シト云フヘカラス而モ政府カ是等本邦人ノ保護ノ爲ニ軍隊ヲ派遣スルニ付テハ過向テハ苟且ニモ軍隊ヲ動カスニ至リテハ吾人其ノ不合理非常識ノ極ナルヲ絶叫セサルヲ得ス

(口) 吾人ハ電車市有問題カ政府ノ正貨準備問題ヲ動機トシテ起リタルヲ耳ニス其ノ眞否ハ元ヨリ之ヲ斷言シ得ルノ限リニ在スト雖政府カ軍隊ヲマテ出動セシメテ反對運動ヲ壓迫シタル事實ニ之ヲ徵スレハ大凡那邊ニ其ノ消息カ潛メルカラ知ルニ難カラス而シテ東京市ハ遂ニ電車ヲ賣付ケラレ市有ニスレハ市ノ體面ヲ保ツタケノ監督保護ニ便ナリト云ヘル當時ノ斷行理由ハ今日果ヲ笠ニ著テ乗客ニ對シ横暴ノ態度ヲ取ルナリ衝突事故ハ却ア東鐵シテ如何、事故ノ點ニ於テ設備ノ點ニ於テ便利ノ點ニ於テ市有電車ハ果シテ昔日ノ會社時代ニ勝レル成蹟ヲ揚ケツツアルカ規定以上ノ人員ヲ容レタル満載電車ハ傍若無人ノ振舞ヲ以テ線路ヲ走ルナリ車掌運轉手ノ輩ハ市有テスル不體裁極マル出來事ヨリ蒙リシ損害ハコレニ市政當局者ノ責任ニ非シテ何ソヤ而シテ此ノ市政當局者ノ責任ヲ斯ク迄怠慢ナラシムニ至リタル原因ハ又之ヲ政府當局者ノ監督不行届ニ求メシテ何ソヤ

(ハ) 翻テ瓦斯合併問題ニ之ヲ見ルモ其ノ當時市民反對運動ノ公會ハ幾十度トナク隨所ニ開カレタルニモ拘ラス未タ一度タリトモ其ノ贊成演説會ノ開カレタルヲ耳ニセサリシハ之レ艦ア合併問題カ市民全ノ聲ナリ輿論ナルコトヲ證シテ餘アリシニ非セラ然ルニ政府ハ此ノ市民ノ聲ヲ無視シテ恰モ馬耳東風我レ之ヲ知ラサルモノノ如ク有耶無耶ノ間ニ之ヲ經過セシメタルカ如キ之結果シテ市政監督ノ實ヲ盡シタルモノト云フヲ得ベキ乎

(二) 抑電車、電燈、瓦斯ノ如キハ所謂公益ニ關スル事業ニシテ其ノ經營ノ市當局者ニアルト私設會社ニアルトヲ問ハス政府ハ十分之ニ對シテ監督ノ責ニ任セサルヘカラサルハ固ヨリ其ノ處ナリ此ノ種ノ會社ハ他ノ一般會社ト全然其ノ性質ヲ異ニス茲ニ於テカ泰西諸國ノ政府ニ於テハ特ニ此ノ種會社ノ監督ノ爲ニ一獨立局ヲ設ケテ其ノ任ニ當ラシム我國又內務當局者ノ此ノ任ニ當ルモノナキニ非スト雖其ノ監督ノ緩ナルニニ之ヲ市當局者ニ委シテ顧ミサルモノノ如シ之レ吾人ヨリ見テ其ノ無方針無主義ナルカラ疑ハシム所以ナリ勿論東京ハ自治體ナリト雖其ノ自治體ヲ監督スルハ政府當局ノ責任ニ非セラ況ヤ東京ハ我國ノ首府ニシテ首府トシテノ體面ヲ維持セシメムカ爲ニ政府カ今少シク市政ノ上ニ其ノ正當ナル監督權ヲ行使スルノ嚴ナルハ固ヨリ其ノ處ナラストセムヤ此ノ點ニ關スル政府ノ所信ハ本員ノ聞カムト欲スル處ナリ

(三) 第二 畏ニ東京市會ハ全市ヲ通シ市營電燈ヲ普及スルノ案ヲ可決シ現ニ其ノ工事施行ノ認可申請中ナリ而シテ爾來數月ヲ經ルモ未タ其ノ認可ヲ得ス爲ニ市民ノ大多數ハ廉價ナル市營電燈ノ利便ニ浴スル能ハス甚シキハ同一區民中ニモ著シキ差異アル電燈料金ヲ拂ヒツツアリ故ニ政府ハ速ニ其レ等ノ不便ト不平等ヲ除キ全市ヲ通シテ同一ニ廉價ナル市營電燈ヲ利用セシムル途ヲ開クノ政策ヲ採ラサルヤ

第二 政府ハ近來ノ物價騰貴ニ關シ教貧問題ヲ解決セムトスル何等カノ方策ヲ有スルカ

最近十數年間ニ於ケル物價ノ騰貴ハ世界共通ノ現象ナルモ我國ニ於テハ過重ノ租稅、關稅及政府ノ惡專賣法等ニ依リテ直接ニ物價騰貴ノ誘因ヲ作レ

ル嫌ヒナントセス殊ニ東京市ニ於テハ其ノ複雜セル社會の原因ヨリシテ其ノ難ニ困メル貧民殊ニ多シトス、政府ハ從來之カ經濟問題ニ付調査ヲ爲シタルコト如何、又將來之ヲ爲サムトスル意向アリヤ否

第四 政府ハ近年ニ於ケル東京市民ノ公課負擔額ノ過重ニ付府市當局者ノ課稅方針上ニ更ニ監督ヲ加フルノ意思ナキカ（參照第一參看）

第五 政府ハ不良少年ノ取締及感化等ニ付既ニ確立シタル一定ノ主義方針アリヤ、又活動寫眞ノ營業上ニ何等ガノ制限ヲ加フルノ意向ナキヤ、不良少年ノ跋扈ハ東京市ニ於テ近來最甚タシキヲ見ル若此ノ儘ニシテ放置セムカ彼等將來ノ墮落ハ勿論一般善良ナル社會ニ及ホス害毒ハ大ニ恐ルヘキモノアラム政府ハ此ノ點ニ付何等カノ方策アリヤ、又近時坊間ニ行ハル活動寫眞中ニハ往々風俗ヲ壞亂シ秩序ヲ紊亂スルノ繪畫ヲ混入スル事アリ若公然斯ル繪畫ノ寫影ヲ許スニ於テハ其ノ害毒ノ社會ニ及フ處極メテ甚シ、又活動寫眞館ノ設備等ニ於テモ衛生上大ニ非難スヘキモノアリ、政府ハ活動寫眞ノ種板ヲ檢閲シテ其ノ不正ナルモノヲ差止メ又ハ活動寫眞館ノ内部ノ設備ニ付嚴重ナル制限ヲ設クルノ意思ナキカ

第六 政府ハ自動車ノ取締ニ付何等特別ノ法律ヲ制定スルノ意思ナキカ

自動車ハ近來漸ク其ノ數ヲ増加シ從テ轢殺、負傷等ノ事故ハ近來益多カラムトス歐米ノ諸國ハ一トシテ之ヲ取締ルノ法律ヲ有セサルハナシ此ノ點ニ關スル政府ノ意見如何

第七 政府ハ本期議會ニ瓦斯事業法案ヲ提出スルノ意思ナキヤ

第八 政府ニ於テ若財政ノ都合上明治五十年日本大博覽會ヲ中止スルカ爲東京市主催ト爲リテ之ヲ計畫スルトセハ政府ハ補助其ノ他ノ便宜ヲ與フルノ意思アリヤ

第九 中央魚市場ニ對スル政府ノ政策如何（參照第二、第三參看）

（イ） 魚市場ヲ市設ト爲スノ可否

（ロ） 若魚市場ヲ當業者ノ經營ニ任スヘキモノトセムカ政府ハ其ノ敷地ニ付テハ當業者ニ於テ必ス之ヲ買入ルヘキコトヲ要シ借地ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ許ササル方針ナル乎

（ハ） 世間或ハ日本橋魚市場移轉ノ候補地トシテ芝浦埋立地ヲ舉クモノアルモ東京市ノ隅ナル芝浦ヨリシテ最民衆ノ密集シ且食品ノ需用多大ナル淺草上野等ノ方面ニ魚類ヲ運搬スルトセムカ其ノ距離遠キニ失シ新鮮ナル食品ノ供給困難ナルト共ニ運搬費ノ增加ヲ來タスヤ必セリ、又中洲ノ如キハ土地ノ面積頗ル狹隘シテ而モ現在三千噸以上ノ船舶ヲ出入セシムコト能ハサルノミナラス鐵道輸送ノ魚類ニ對シ頗ル運輸ノ運送ヲ缺ケリ

然ルニ現在ノ魚市場ハ東京市ノ中心ニ位シ而モ吳服橋内ニ中央停車場竣成ノ曉ニハ一層運輸上ノ利便ヲ増シ近クハ駿遠相、三陸、北越、房總、常磐地方ヨリ遠キハ關西、山陽、朝鮮等ヨリ來ル魚類ハ冷藏貨車ニ依リ皆此ノ停車場ニ集中シ其ノ一部ハ再ヒ關東並甲信、中央線等各地方へ轉送セラルカ故ニ食品ノ集散ヲ司ル市場トシテ頗ル適當ナルコト疑ヒナシ、且現在市場ノ面積ハ龍動及巴里ノ中央魚市場ノ面積ニ比較スルモ頗ル廣大ナレハ將來改良ノ餘地綽々タリ而シテ曩ニ兒玉内務大臣ハ大浦警視總監ニ對シ三百年以上ノ舊慣アル本市場ノ如キ重要ナル經濟機關ハ漫ニ之カ移動フ

勵行セシムヘキモノニ非スト訓示シタルト聽ク現政府ハ尙之カ移轉ヲ斷行セムトスルヤ若其之ヲ斷行セムトセハ其ノ候補地ハ當業者並其ノ需用者ノ兩方面ヨリ觀察シテ孰レノ土地ヲ以テ適當ナリト信スル平

又其ノ移轉ニ關スル行政上ノ方策如何

第十 家屋建築法ノ制定ハ都市ノ美觀衛生並防水防火ノ必要ヨリ其ノ急務ナルコト論ヲ俟タス彼ノ二階以上ノ建物ニ消防力ヲ有セサル現状ニシテ尙本造三階家ノ建設ヲ認容スルカ如キ又其ノ地勢低ク出水ノ際甚ダ危險アル場所ニ平此ノ點ニ付相當ノ取締法ヲ設クルノ必要ヲ認メサル乎

第十一 墓地（附火葬）ニ對スル政府ノ政策如何

第十二 政府ハ墓ニ議會ニ公約セシ借地人保護ノ法律ヲ提案セサルヤ若調查中ナリトセハ其ノ程度如何

右及質問候也

（參照第一）

東京市民カ負擔スル公課（國稅、府稅、市稅、區費）ハ明治三十一年度ニ於テ四百六萬餘圓ナリシニ漸次増加シテ二十九年度以降ハ貳千萬圓ニ上レリ就中地租ハ六拾萬圓ヨリ貳百六拾參萬圓ニ、所得稅ハ六拾九萬圓ヨリ四百四拾六萬圓ニ、營業稅ハ百參拾貳萬圓ヨリ六百拾壹萬圓ニ、家屋稅ハ七拾七萬圓ヨリ貳百貳拾萬圓ニ増加セリ、昨年度ノ負擔總額ハ約貳千萬圓ニシテ之ヲ市内ノ戸數參拾七萬ニ割當ハ一戸平均五拾四圓強ト爲リ又市ノ公民五萬ニ割當レハ一人平均四百圓ノ負擔ナリ（最近公刊ノ統計表ニ依ル）

（參照第一）

市區改正 市場移轉問題ニ關スル意見
東京市民カ負擔スル公課（國稅、府稅、市稅、區費）ハ明治三十一年度ニ於テ改正委員ノ議ニ上レリ余輩不敏ナレトモ偶々選ハレテ同委員ニ列シ此重大ナル案ヲ議決スヘキ責任ヲ負ヘリ余輩ハ一日モ早ク東京市區ヲ整備シ文明的都府ト爲スノ必要ヲ認ムルト同時ニ市民カ該事業ノ爲メニ負擔スヘキ費用ハ程途考量シ華奢ニ流レス濫費ニ失セス實際公衆ノ便利ナルヘキ設計ヲ作り市民ノ信託ニ負カサランコトヲ是レ努ムノ外他意ナキナリ然ルニ何事ワ一二ノ通信社及新聞紙ハ余輩カ市場削除ノ修正案ヲ提出シタルヲ非難シ爲メニスル所アリテ然ルカ如ニ譏誣セリ余輩ハ此誤マレル報道ニ重キヲ置カスト雖モ該問題ハ市ニ重大ノ關係ヲ及ボスモノナルニ因リ左ニ該案提出ノ理由ヲ公表ス
市區改正ハ異常ノ事業ナリ之ヲ遂行スルハ民有ノ土地建物ヲ收用スルノ必要ア、又其費用ノ出所ヲボメサルヘカラス是ニ於テカ明治二十一年勅令第六十二號東京市區改正條例明治二十五年勅令第五號土地建物處分規則ノ發布アリ又明治二十一年十月五日東京市區改正委員會ニ於ケル經濟支辨ノ區別ニ關スル議決アリテ道路橋梁河川外濠公園上水下水等主要スルニ土地建物ハ強制買收ヲ爲シ其經費ハ特別稅ヲ以テ支辨スルコトヲ得ヘク規定セリト雖モ魚鳥青物獸畜市場及屠場ノ如キハ單ニ其位置及面積ヲ定メタルニ止マリ其設立ニ係ル諸當業者ノ負擔ト定メリ設計議決ノ當時ハ市場ノ土地ニ對シ公用土地買上

規則ヲ適用セシムル見込ナリシカ其後土地收用ノ發布アリ收用シタル土地ノ全部若クハ一部不用ニ歸シタルキハ舊所有者ニ原價ヲ以テ賣戻サルヘカラサル旨ニ改定セラレタルヲ以テ市ニ於テ公用ノ爲メ一時指定地ヲ買上ルコトヲ得ルモ之ヲ當業者ニ拂下クルコトハ法律ノ禁スル所トナリ而シテ土地建物處分規則ハ公費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニミ適用スヘキ精神ノモノナレハ市場人民ハ之ヲ用ヒテ土地家屋ヲ收用スルヲ得ス結局人民相對ノ契約ヲ以テ指定地域ニ該ル土地ヲ買收シ建物ヲ移轉セシメサルヘカラス是即チ今日ニ於テ市場移轉ノ實際ニ行ハレ難キ所以ナリ思フニ現今ノ制度ニテ市場移轉ノ實行シ難キコトハ當局行政者モ亦認メテ異議ナキ所ナリ唯茲ニ一ノ實行シ得ヘキ方法アリ即チ東京市ニ於テ土地收用法ヲ適用シ市場諸般ノ設備ヲ爲シ之ヲ東京市ノ造營物トシテ當業者ニ貸與セハ此ノ目的ヲ達スルヲ得ヘシ市區改正委員中移轉實行説ヲ唱フル者ハ皆此市設論ニ因リテ市場改良ノ目的ヲ達セントヲ希望セリ然レトモ余輩市民ノ意志ヲ代表スル者ハ俄カニ此説ニ贊同スル事能ハサルナリ

市場移轉事件ハ非常ニ複雜セル如キ觀アレトモ其内容ハ簡約ナリ爭點ハ明白ナリ曰(第一)東京市公設ト爲スノ可否如何(第二)公設ヲ可ナリトスルモ現今ノ東京市ハ市場設備ノ爲メニ巨萬ノ市稅ヲ費スルヲ得ルヤ否ヤ(第三)假リニ市ニ於テ市場設備ヲ爲スヲ急務ナリトスルモ設計ニ定メタル位置ヲ適當ナスヘキヤ否ヤ

(第一) 市場ヲ市設トナスノ可否

余輩ハ茲ニ抽象的ニ市場公設ノ可否ヲ論セサルヘシ何トナレハ之ヲ市設トナスノ適當ナル時期アリヤモ知ルヘカラサレハナリ余輩ハ市民ニ選ハレテ現在及ヒ將來ニ關係ル市區改正事業ヲ討究シ議定スル責任アルモノアリ故ニ今日ノ現狀ニ徵シテ不可ナルモノアルモ認ムルトキハ公設ヲ以テ市ニ不利益ナル政策ト斷定セサルヘカラス(第二) 現今ノ東京市ハ市場設備ノ爲メニ巨萬ノ市稅ヲ費スルヲ得ルヤ

市場移轉事件ニ關スル重要ナル争點ハ此一大問題ニ歸著スヘシ茲ニ屠場及獸畜市場ヲ別トシテ魚鳥青物及ヒ獸肉市場ヲ設立スル爲メニ幾何ノ費用ヲ要スルカヲ概算スルニ箱崎市場京橋市場佐久間町市場芝市場深川市場ノ五箇所ノ土地買收家屋移轉溝渠下水道路新設費等ヲ併セテ凡ソ參百八拾四萬參千七百六拾壹圓ヲ要ス此他進シテ市場ノ築造ヲ爲ス時ハ五箇所ニテ凡ソ貳百萬圓ヲ要スヘシ此合計五百六拾四萬參千七百六拾壹圓ハ市カ支出セサルヘカラサル費用ナリ

東京市カ計畫スヘキ事業ニシテ單ニ市場ノミナラシメハ或ハ五百六拾餘萬圓ノ金額モ咨ムニ足ラサルヘシト雖モ東京市ニハ市場改良ヨリモ尙ホ遙カニ急要ナル事業幾多アリテ而モ費用不足ノ爲メニ之ニ著手スル能ハサルナリ下水改良ハ水道改良ニ伴フテ急施ヲ要スル事業ナリ此事業ヲ行フニハ少クトモ八百萬圓ヲ要スヘシ而シテ市ハ遠カヲス之レカ改良案ヲ立テ以テ全市瀦漫セル汚水ヲ排除シ公衆衛生ヲ保タサルヘカラス道路改築ノ爲メニ曩ニ五箇年繼續百萬圓ノ支出ヲ議決シ今ヤ栗道路ニ過キ尙ホ將來改良ヲ要スル點尠カラサルノミナラス歩道改良ノ爲猶本巨額ノ支出ヲ爲サルヘカラス河川ノ兩岸ハ汚泥堆積シテ干潮時ニハ海底二分ノヲ露出シ舟行ノ便ト污水ノ疏通ト妨ケルモ之レカ浚渫ニ巨費ヲ要ス而ニ舊來ノ護岸及沈床ノ不完全ナル爲メ深ク岸脚ヲ浚渫スル能ハサル箇所多く河底ノ全部ヲ浚渫セシニハ護岸改築費ニ巨額ヲ投セサルヘカラス法律上ノ義務タル國

民教育ハ如何不就學兒童ハ他府縣ヨリ多シ東京府知事ハ曩ニ尋常小學校九十校ノ増設ヲ命令セリト雖モ明治四十年迄ニ僅々五十校ヲ增設シ得ル豫定ナルノミ貧民施療病院ノ如キ必要ナル事業ニシテ始メテ本年度豫算ニテ其費用ヲ要求セラレタレトモ余輩ハ事業ノ緩急ヲ計リ一時其費用ヲ削除セリ東京灣築港事業ハ如何該事業竣工ノ上ハ市ノ財源トナリ且ツ一般市民ニ利益ヲ與フヘキモノナレトモ最縮少ノ計畫スラ貳千四五百萬圓ヲ要スル爲ニ容易ニ著手スル能ハサルアリ之ヲ要スルニ東京市ノ土木衛生教育及ヒ窮民救濟ニ關スル事業ニシテ急施工要シ巨資ヲ投スヘキモノ枚舉ニ追カラス余輩ハ其緩急前後ヲ斟酌シテ適當ノ施政ヲ爲サルヘカラス獨り市場改良市ノ全力ヲ注ク能ハサルナリ

東京市民ノ納稅負擔ハ現今一人(納稅者)ニ付平均貳拾四圓貳拾九錢六厘ノ割合ニ該レリ而シテ此外現在改良水道ノ爲ニ八百萬圓ノ市價ヲ負担ヘリ將來築港及ヒ下水改良ノ爲メニ少クトモ參四百萬ノ市價ヲ負擔セサルヘカラス此利子ヲ六朱トスレハ百九拾萬圓殆ント現在東京市ノ歲入ト同額ニ近キ利息ヲ玄拂フノ時期アルコトヲ覺悟セサルヘカラス今日ノ場合テスラ地租附加所得稅附加其他各種ノ市稅ハ殆ドント制限額マテ徵收セリ然ルニ是等ノ重キ稅ヲ負擔セん市民ニ對シ市場改良ノ爲メニ五百餘萬圓ノ費用ヲ負擔セシムルコトハ余輩ノ忍フ能ハサル所ナリ市場ヲ市ノ造營物ト爲シ之ヲ當業者ニ貸與スルトキハ相當ノ收入アルヘキニ因リ五百萬圓ヲ投スルモ咨ムヘキニ非ストノ説ヲ爲スモノアリ一應道理アル説ノ如クナレトモ宅地ヨリ得ヘキ利益ハ東京市ニアリテハ通常ニ朱ヨリ四朱ノ間ニ在リ市ニ於テ普通ノ貸地ヲ有スルモ之ヨリ多クノ利益ヲ收ム能ハサルカ故ニ市場敷地ニ供用スル場合ニハ公益ノ爲メニ朱位ノ收益ニ甘セサル可ラス六朱ノ公債利子ヲ拂フテ之ヲ二朱ニ貸ス現在東京市ノ財政ハ斯様ナル不經濟ヲ行フ能ハサルナリ加之舊建物移轉料溝渠道路及ヒ市場建物ノ築造費等ニ對スル收入トテモ成ヘク之ヲ低減セサレハ現在ヨリ非常ニ高價ノ魚鳥蔬菜ヲ市民ニ供給スルコト、ナルヘク中等以下ノ人民ハ非常ナル困難ニ陥ルヘシ市カ貧民ノ食物ヨリ生スル消費額ノ幾分ヲ所得シ之ヲ財源ト爲スカ如キ説ハ不道理ノ甚シキモノニシテ余輩ハ之ヲ贊同スル能ハス

方今議事ニ上レル新設計カ百年ノ大計ヲ廢止シテ一十年ノ小計ニ變更シタルハ費用缺乏ニ基クモノナリ道路河川外濠公園等必要ナル部分ニシテ新設計カ之ヲ削除シタルハ不用ト認メタルニアラス二十年ノ後我等子孫ノ再計畫ニ譲ルヘシト爲シタルニ外ナラス市場モ亦改良ヲ非認シタルニ非スト雖トモ巨額ノ市費ニテ近キ將來ニ設備スヘキ餘裕ヲ有セサル以上ハ之ヲ市區改正設計中ヨリ削リ他ノ計畫ニ譲ルモ既カラサルナリ

市場指定地ヲ市區改正設計中ヨリ削除スルトキハ市區改正事業トシテハ之ヲ爲スコトヲ得スト雖モ他日公設ト爲ス適用シ市場ノ計畫ヲ爲スコトヲ得ヘシ若市區改正ノ設計中ニ市場ヲ加フル非ラサレハ其改良ヲ爲ス能ハストセハ大阪京都廣島名古屋等ノ各市場ノ改良ハ絶對ニ不能ニ歸セサルヲ得ス蓋シ之ヲ設計中ヨリ削ルヘ單ニ指定地及ヒ坪數ノ制限ヲ解キタル迄ナリ削リサルモ市ニ餘力ナクハ行フヲ得ス削ルモ餘力アレハ行フヲ得ルナリ要ハ削除ノ利害ニアラスシテ市費ノ給否ニ歸ス唯今日ノ如ク畫ケル花鳥水ニ映ル月影ノ如キ實體ナク活動ナキ設計ヲ二十年縮少計畫中ニ加フルノ必要ヲ認メサルニ因ルノミ以上論シタル所ヲ約言ス

レハ現時ノ市場問題ハ主義トシテハ社會主義ト個人主義トニ分レ政策トシテハ増税説トニ分ル更ラニトヲ事實的ニ明言スレハ當局者ハ増税ヲ斷行シテナリトモ市場ノ改良ヲ計ルヲ公衆ノ利益ナリト認ムルトキ市會カ之レニ反對セハ勢ヒ市會ノ解散トナラサルヲ得ス増税ノ爲メ市會ノ解散市場改良ノ爲メ市會ノ解散知ラス市民ハ之ヲ甘受スルヤ否ヤ

(第三) 假リニ市設ト爲スヲ要スルモノトスルモ設計ニ定メタル市場ノ位置ハ適當ナリヤ

政權ヲ以テ營業地區ヲ定メ人民ヲ驅リテ之ニ移ラシムルニハ深ク利害ヲ查察シ慎

重ノ選擇ヲ爲ササルヘカラス明治二十二年ニ市區改正ノ設計ヲ定メタルトキハ日本橋ノ魚市場ノ如キハ海漕ヲ主トスルモノト認メ成ルヘク水運ノ便アル地ヲ選擇スヘシトノ方針ヲ取り終ニ箱崎中洲等ヲ指定シタルモノナリ然ルニ爾來陸上交通機關ノ設備日々發達シタルノミナラス遠カラス吳服橋内へ鐵道中央停車場ヲ設ケラル

場合ニハ東海二陸北越房總常磐地方ヨリ來ル魚類ハ皆此停車場へ集中シ其

中一部ハ再ヒ關東甲信等ノ田舎へ輸送セラル、モノナリ加之ナラス東京市ハ多ク

南北西北ノ三方へ膨脹シ本所深川へ膨脹スル勢力微弱ナルニ中央停車場ニ近キ日

本橋市場ヲ去リ麹町神田下谷牛込四谷赤坂麻布等ノ需用地ニ遠

き東方ノ箱崎中洲ニ移スハ適當ト云フヘキヤ芝深川ノ魚市場ノ如キモ果シテ現在

ノ指定地カ適當ナルヤ不明ナリ神田佐久間町青物市場ノ如キハ總武鐵道ノ通

過スヘキ線路ニ該ルヤモ知ルヘカラス築港汽車鐵道電氣鐵道等交通機關ノ設備

ニ付テハ東京市ハ尙ホ創業ノ初期時代ニ屬スルモノナレハ將來是等ノ設備略緒ニ

付キタル時ニハ貨物集散ノ地點モ定マルヘク此時ニ當リ適當ノ位置ヲ指定シ徐ロ

ニ計畫ヲ爲スモ晚カラス然ルニ早計ニモ今日ニ於テ市稅ヲ投シテクノ設備シ民財

ヲ糜シテ之レニ移ラシメタル後其指定地カ不適當不便利ナル場所トナリ不繁昌ヲ

來スコトアラハ今日之レヲ議決セル余輩ハ何ノ面目アリテ市ノ納稅者ニ對シ魚

鳥蔬菜ノ需用者ニ對シ將タ又其供給者ニ對シヤ寧ロ之レヲ今日ノ設計中ヨリ

削除シ他日適當ナル位置ヲ定ムルニ若カス

余輩ハ以上ノ說ヲ抱持スル爲メニ市場指定地削除ノ修正說ヲ提出セリ決シテ市

場改良ヲ希望セサルモノニアラス又絕對的ニ市場公設ニ反對スルモノニアラス然リト

雖モ今日ノ場合尙ホ高等官選出ニ係ル市區改正委員會諸氏ト該問題ヲ付協商ヲ

重ヌヘキ場合ニ在ルモノナルカ故ニ多少ノ讓歩ヲナシテ該問題ヲ解決スルヲ得ハ

レ又一般ノ利益ナルヘシ唯タ市場位置改良ノ程度及ヒ其時期ト市民負擔ノ割

合トハ深ク計較セサルヘカラサル所ナリ此點ニ付テハ努メテ市民ノ信托ニ背カサルコ

トヲ期スヘシ

明治二十五年九月十五日 東京市區改正委員 今井 喜八 稲延 利兵衛 田村 喜三郎

松長 光吉 銀林 綱男 宮川 鐵次郎

仁科 釜次郎 丸山 政名 有島 武 中島 行孝 肥塚 龍 島原 未来 野々山 幸吉 松崎 権四郎

森田 錄三郎 銀林 綱男 本吉 傳次郎 仁科 釜次郎 下村 四郎 宮川 鐵次郎 稲延 利兵衛 松長 光吉 吉田 幸作 野々山 幸吉 松崎 権四郎 杉野 秀行 坪谷 善四郎

意見書

東京市會議長仁杉英殿

明治二十二年東京府告示第三十九號ニ東京市區改正事業ノ内鐵道魚鳥市場青物市場獸畜市場及火葬場ニ係ル諸費ハ凡テ其設立者又ハ所有者ニ於テ負擔スヘキモノストアリ而シテ右各市場ノ移轉期日ハ追々切迫スルヲ以テ警視廳ハ營業者ニ對シ頻リニ市場ノ移轉經營ヲ迫ラルト雖當業者ハ薄資ニシテ其ノ負擔ニ堪ヘサルノミナラス指定地ノ土地建物ヲ買收スルニ當リテモ私人タル當業者ニ於テハ土地收用法若クハ東京市區改正土地建物處分規則ヲ適用スルコト能ハサルヲ以テ結局當業者ヲシテ市場ノ移轉經營ニ任セシムルハ不可能事タラスハアラサル也是ニ於テカ先ニ東京市區改正委員會ニ於テハ市場全部ヲ市區改正設計中ヨリ削除セントスルノ議アリ又明治二十二年東京府告示第三十九號ヲ廢止セントスルノ議アリ尋テ東京市區改正委員會ハ東京市自ラ市場ノ移轉ヲ經營センコトヲ希望スル旨ヲ決議シ其ノ決議ニ基キテ市區改正委員長ヨリ東京市參事會へ協議ニ及ハレタリト聞ク然レトモ元來市場ノ移轉經營ハ其ノ事業ノ性質ニ於テ市區改正ノ事業ニ屬セス且現行法規ニ於テハ市場ノ移轉ヲ市區改正ノ事業トシテ經營スルヲ許サヘルモノアリ又東京市ノ財政ハ今日ノ場合到底數百万圓ヲ要スルカ如キ市場ノ移轉經營ニ任スルヲ得ス而シテ當業者モ亦自己ノ資力ヲ以テ經營スル能ハサルコト前述ノ如クナルヲ以テ市場問題解決ノ方法ハ現在ノ場所ニ於テ相當ノ改良ヲ加ヘシムルニ在ルノミ元來市場ノ移轉ハ衛生上ニ基因スト雖現在ノ場所カ市場ニ適セサルニアラスシテ其ノ設備ノ完全ナラサルカ爲ナリ左レハ移轉決定當時ノ議事錄ニモ歐米ノ「マーケット」ハ庶民一般ノ集合シテ貨物ヲ販賣スル場所ナリト雖モ我ガ各市場ハ僅ニ商人ノ集會取引スル場所タルニ過キサレハ之ニ相當ノ改良ヲ加フヘ以テ衛生上何等ノ支障アルヘカラス要スルニ移轉ハ改良ノ途ナキ場合ニ於テ決行スヘキモノニシテ現在ノ市場ハ充分ニ改良ノ餘地アルモノナレハ斷然市場ノ移轉ヲ廢止シ現在ノ地域ニ於テ相當ノ改良ヲ加ヘシムルコトヲ御詮議アランコトヲ希望ス右ハ本市ノ公益ニ關スル事件ニ付市制第三十三條ニ依リ意見書提出候也

東京市會議長仁杉英

(參照第三)

一市場移轉廢止意見書
右提出候也

明治三十六年五月六日

提出者 杉原 榮三郎 桑原 譲三 田口 卯吉 鹽島 仁吉

内務大臣男爵内海忠勝殿

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キ、質問ニ掛リマス
○上塙安太郎君(會期モ切迫致シマシタカラ唯今ヨリ決算委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、ドウガ御許シアランコトヲ望ミマス、是非ドウガ御許ヲ願ヒマス)
○議長(大岡育造君) 未ダ少シ數が足リヌヤウデアリマスカラ、モウ少シ後ニ願ヒマス

○村松恆一郎君 本員ハ議長ニ御注意ヲ願ヒタイコトガアリマス、ソレハ外デハアリマセヌ、先ニ本員ノ提出致シテ置キマシタ治安警察法改正案ハ既ニ數回ノ委員會ヲ開カレテ最早決定致スベキ場合ニナシテ居ルト考ヘルノテアリマスガ、ソレ以來更ニ開會ガノヤウデアル、申スマデモナク法律案ノコトデアリマスカラ、兩院ノ協賛ヲ得ナケレバナラヌノデアリマス、此會期切迫ノ場合ニ於テ何時マデモ委員會ヲ開カナイノハ甚ダ困ル、又此法律ガ通過致シマスレバ、來ルベキ總選舉ニ於テ演說會ノ開會等ニ大ナル便利ヲ得ルノデアリマスカラ、速ニ開會セラル、ヤウ、議長カラ委員長ニ御注意ヲ願ヒマス

○阿部徳三郎君 唯今村松君ヨリ治安警察法ニ付テ御請求ガアリマシタガ、本員ハ其委員長ヲ致シテ居ルノテアリマス、是ハ數回ノ質問ヲ重ネマシテ、最早決定スルト云フ場合ニナシテ居ルノテアリマスガ、國民黨ノ議員諸君ト話合ノ結果、延期ニナシテ居ル、而モ國民黨ノ村松龜一郎君カラ一十日カ二十一日ニ開クヤウニシテ吳レト云フコトデ、其儘ニナシテ居リマスガ、決シテ等閑ニ付シタ譯デハアリマセヌ、御答ヲ致シテ置キマス

○議長(大岡育造君) 此場合御諾リテ致シマス、上塙安太郎君ヨリ 決算委員會ヲ開キタイト云フ 請願ガアリマスガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ許スコトニ致シマス

○上塙安太郎君 ソレハドウカ決算委員ノ御方ハ決算委員室ニ御出ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 武田貞之助君

(武田貞之助君登壇)

○武田貞之助君 諸君、本員ハ官紀振肅ニ關スル質問ニ對シマシテ其趣旨ノ大體ヲ辯明セント欲シマス、生憎ク甚シキ風邪ニ冒サレマシテ、平日ノ音聲ノ乏シキトコロヘ以テ來ア、低聲テ御迷惑ナコト、懸念シマスガ暫クノ間御清聽ヲ請ヒマス、先ダ直ニ具體的ニ事實ヲ舉ゲマシテ、一三ノ實例ヲ基本ト致シマシテ、以テ政府當局ノ辯明ヲ否ナ、答辯ヲ請フモノデアリマス、其第一ハ彼ノ長崎控訴院ニ於ケル池田判事ノ收賄問題デアリマス、諸君、彼ノ長崎控訴院ノ判事池田正誠ハ滿十箇年以上ノ長キ賄賂ヲ貪リツアッタ者デアリマシテ、而モ同人ノ收賄其他不正行為ニ於キマシテハ時效ニ係リシ者——既二期滿免除ニナリマシタモノ合セマスルト云フト二十四口ノ多クアルノデアリマス、而シテ同人ノ如何ニ惡疎ヲ逞ウ致シテ、同人ガ如何ニ圖々カリシカト云フ一事ヲ申シマスレバ、彼ノ池田判事が刑事被告人ノ親族若クハ其關係者ニ對シマシテ指一本——指一本ヲ提出致シテ賄賂ヲ追々タコトガアッタノデアリマスガ、其際ニ疵持シ弱點アル者ハ弱キ被告ノ側ニ於キマシテハ非常ナル苦心ヲ致シテ、一二百圓ノ金ヲ調達シテ賄賂トシテ納メタノデアリマス、然ルニ池田判事ハ拙者ガニ一本ノ指ヲ示シタノハ、ナニニ百圓クライノ輕少ナ金ヲ指スノデアラウカ、一千圓ヲ示シタノデアル、ナニ咄馬鹿者メト言ツテ叱リ飛バシテ、大ニ脅迫シタノデアリマス、又同判事が賄賂ヲ貪ルトキニ於キマシテハ自分ノ擔當セル刑事ノ書類ヲ被告人ノ親族若クハ被告ノ關係者ニ向シテ曰リ——眼

日ノ同人ニ對スル裁判所ニ於キマシテハ係檢事ノ論告セラレタル其一端ニ依テ以テ知ルコトが出來ルノデアリマス、曰ク、被告池田ハ右控訴院判事ノ職ニ在リナガラ運カレテ最早決定致スベキ場合ニナシテ居ルト考ヘルノテアリマスガ、ソレ以來更ニ開會ガノヤウデアル、申スマデモナク法律案ノコトデアリマスカラ、兩院ノ協賛ヲ得ナケレバナラヌノデアリマス、此會期切迫ノ場合ニ於テ何時マデモ委員會ヲ開カナイノハ甚ダ困ル、又此法律ガ通過致シマスレバ、來ルベキ總選舉ニ於テ演說會ノ開會等ニ大ナル便利ヲ得ルノデアリマスカラ、速ニ開會セラル、ヤウ、議長カラ委員長ニ御注意ヲ願ヒマス

○阿部徳三郎君 唯今村松君ヨリ治安警察法ニ付テ御請求ガアリマシタガ、本員ハ其委員長ヲ致シテ居ルノテアリマス、是ハ數回ノ質問ヲ重ネマシテ、最早決定スルト云フ場合ニナシテ居ルノテアリマスガ、國民黨ノ議員諸君ト話合ノ結果、延期ニナシテ居ル、而モ國民黨ノ村松龜一郎君カラ一十日カ二十一日ニ開クヤウニシテ吳レト云フコトデ、其儘ニナシテ居リマスガ、決シテ等閑ニ付シタ譯デハアリマセヌ、御答ヲ致シテ置キマス

○議長(大岡育造君) 此場合御諾リテ致シマス、上塙安太郎君ヨリ 決算委員會ヲ開キタイト云フ 請願ガアリマスガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ許スコトニ致シマス

○上塙安太郎君 ソレハドウカ決算委員ノ御方ハ決算委員室ニ御出ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 武田貞之助君

（七）

電氣鐵道會社ハ諸君モ御承知ノ通り同市ノ極メテ短キ距離テアリマスカラシテ、通行稅ナルモノハ比較的多大ノ多額ニ上ランケレバナラヌ次第テアルノデアル、然ルニ同會社ニ限リマシテハ他ノ會社ノ多クガ收入ノ即チ切符代ノ約一割又ハ一割以上ノ通行稅ヲ納メテアルニモ拘ラズ、同會社ニ限リハ僅ニ六朱九厘——六朱九厘ノ率ヨリハ上ランケレバナカッタノデアリマス、而モ諸君之ヲ車ニ乘リマシタ敷ノ人數ニ割シテ見ルトヨロガ、外ノ會社ニ於キマシテ多クハ一人當リニ於キマシテ七厘三毛——七厘三毛バカリノ數額ニ上ランケ居ルニ拘ラズ、同會社ノ通行稅ニ限リマシテハ、僅ニ二厘——僅ニ三厘ノ率ヨリ上ランケ居ノイノデアル、加フルニ諸君、同會社ニ限リハ日ノ收入表——日ノ收入表ト申シテ御承知ノ通り車掌其他出札所ナドカラ持シテ參リマス收入表等ノ書類ヲ毎日々々同會社ノミニ限シテハ其大切ナ書類ヲ燒棄テツ、アッタノデアリマス、斯様ナル不可思議ナル、斯様ナル恠ムベキ、斯様ナル不忠誠ナル狀態アッタノデアリマスカラシテ、稅務當局者ハ監督廳ハ早クモ夙ニ此事ヲ發見シナクチヤナラヌノハ當然ナ譯ニアリマスル、又當然注意ヲ加ヘテ些ノ遺漏ナキヲ期サナクチヤナラヌノハ當然デアリマセウ、然ルニ諸君若シ同會社ニ對シマシタ江羅某ヨリ同會社ヲ告發スルコトガナカッタナラバ、此大切ナル通行稅即チ二十三二万一千圓ノ金ハ所謂闇カラ闇ニ葬ラレシマシタト云フコトニナラナケレバナラヌ次第テアル、此ニ至シテ本員當ニ言ハシ、實ニ稅務署若クハ監督局ニ於キマシテハ、徵稅ニ對シテ租稅ノ取立方ニ對シテ、如何ニ不注意、如何ニ不親切、如何ニ無責任テアルカト云フコト此ニ諸君ト共ニ攻擊セザルヲ得ヌノデアリマス、當時口善惡毒ナキ京童ハ唱ヘタコトガアル、唱ツタコトガアル、貧者ハ法律ニ支配セラス、富者及大會社ハ法律ト人ヲ使役スルト云シテ嘲撻タコトアリマスル、確ニ一種ノ疑フ此間ニ挾マザルヲ得ヌノデアリマス、即チ本員此問題ニ對シテハ政府ハ當局者ニ對シテ如何ニ責任ヲ糺シタカ如何ニ責任ノ存在ヲ明カニセシメタカ、而モ將來ニ於テハ如何ナル方法ニ依リ、如何ナル手段ニ依シテ、適切ナル適正ナル監督ヲ爲サントスルヤト云

「コトヲ問ハントスルモノニアリマス、第三ト致シマシテハ彼ノ德川侯爵家ニ於ケル相續稅ノ逋稅問題ニアリマス、諸君、侯爵家ニ於キマシテハ所謂御親藩ノ一アリマシテ、曾テハ六十餘万石ノ巨祿ヲ食マレマシタコロノ天下ノ名流デアル、天下ノ大藩アルノアリマス、其大祿ヲ食マレ、其侯爵ニアラレルコロノ方ノ財産ノ總テガ、資產ノ總テガ、一百十餘万圓、僅ニ二百十餘万圓デ、濟ムト云フニ至リテハ、本員疑ハザルヲ得ヌノアリマス、而モ諸君、相當ノ信用ノアル、相當社會ノ耳目ト致シテ信任致スベキ新聞紙ハ、斯様ニ記載致シテ居ルノアリマス「舊王義親侯家督相續ニ關シ、其財產查定額ニ付、家從海部昂藏氏が稅務官ニ運動シ、其結果四百万圓ヲ減シ、一百萬圓ト減額シタリ」云云ト云フ記事が存在致スノアリマス、諸君、同侯爵家ニ於キマシテハ租稅ノ幾部ヲ確定税ヲ致シテ居ルト云フコトハ、諸君ノ夙ニ手ニセラレテ居ルトコロノ決算書類ノ幾分ニ徴シテ明カナルトヨロデアリマス、而モ諸君、其決算ニ關スル書類二明記セラレタル以外ニ於キマシテ、諸君、同侯爵家が相續居出ニ於キマシテ、公債證書及第二回國庫債券類等モ少ナカフズアルノアリマスルガ、諸君、現ニ此第三回國庫債券ノ如キハ相續開始ノ當時市價ト致シマシテハ九十二圓バカリ市價ハ總テ東京モ名古屋モ同一ノ價ヲ保ツテ居ルニ對シマシテ、所轄稅務署ハ八十二圓ト致シテ居ルノアリマス、株式取引所其他紡績ノ如キ、浮沈盛衰ノ甚シキモノナラバ何カ言ハシマスルガ、公債又ハ國庫債券ノ如キ、浮沈ノナイ何等高低ノナイトコロノ第三回國庫債券ノ如キニ對シテ、何が故ニ此ノ如キ減額ヲ致シテ居ルノアリマセウ、又諸君、同侯爵家ノ不動產トシテ相續居出ヲセラレタコロニ據ルニ、金額ハ五十二万一千圓アルノアリマス、不動產ノ部ニ對シテ五十二万一千圓アルノアリマス、其中ヲ區別致シマスルト、東京ノ淺草區及外二區ニ於キマシテ十四万一千圓アルノアリマス、殘リ三十八万圓餘ハ名古屋市及名古屋ノ郡部並ニ北海道ニアルノアリマス、尤モ北海道ニアルノアリマスルノハ二万圓弱デアリマスルガ、大部分ハ即チ三分ノ二マテハ名古屋市及名古屋ノ郡部ニアルノアリマス、諸君、曩ニ一言致シマシタ十四万一千圓ニ對シマシテ、東京ノ稅務署署課稅標準ニ依準ニ據リマシテ、多年經驗ヲ致シ、諸種ノ方面カラ調査セラレタコロノ課稅標準ニ依リマシテ、サウシテ所轄名古屋稅務署ニ向シテ回答シテ居ルノアリマスルガ、其回答致シテ居ル其稅率ヨリハ總テニ割ヲ減ジテ居ルト云コトガ上ニ、右三十八万圓バカリノ大多數ノ名古屋市及名古屋ノ郡部ニアルトコロノ不動產ニ對シマシテモ、ヤハリ多大ナ、三割前後ノ多大ナ金額ヲ減殺シ、アルノアリマス、諸君、是ハ如何ナル現象ニアリマセウ、如何ナル有様ニアリマセウ、本員ノ取調べタトコロニ據リマスルト、所轄稅務官ハ減額高ノ一割ヲ云々致ストコロノ祕密契約ガアツタコト云フコトヲ耳ニスルノアル、諸君、今ヤ我邦ノ經濟狀態ハ戰後ノ經營ヲ誤リマシテ、又國民ノ自覺奮闘が乏シキガタメニ、未ダ進境ノ場合ニ至ラズ、景氣ノ恢復がナインデアル、從ツテ國稅ノ滯納者若クハ國稅ナドニ向シテ督促令状ヲ受ケルモノが隨分少ナクナインデアリマス、今一例ヲ申シマスルナラバ彼ノ營業稅等ニ於キマシテハ最近ノ取調ニ依リマスルト、十三万否ナ、十六万三千人ノ多キ督促令状ヲ受ケテ居ルノアリマス、而モ愈ニ進ンテ競賣處分、滯納處分ヲ受ケマスルモノニ至リマスルト、是又少ナクナインデアリマス、而モ其金額ノ內容ニ至リマスルト、本員此貴重ナル演壇ニ於テ、而モ此外國ノ視聽ノアル處ニ於キマシテ、之ヲ口外スルコトヲ憚ルガ如キ狀態ニアルノアリマス、實ニ憐ムベキ状态ニアルノアリマス、又轉シテ國民ノ生活狀態ニ移リマスレバ、近時米價ノ昂騰セルタメニ市井ノ細民ハ日常生活問題ニ向シテ苦痛ヲ告ゲツ、アルノデゴザイマス、又可憐ナル憐ムベキトコロノ小学校生徒ハ……小學兒童ハ常食ノ食事が得ラレザルガタメニ、數椀ノ粥ニ過ギザルガタ

○千田軍之助君登壇
(千田軍之助君登壇)
○千田軍之助君私ハ諸君ノ御手許ニ配付サレアリマス通り土地增價稅ニ關スル質問主意書ヲ提出致シマシタノズ、是ヨリ其理由ヲ極メテ簡單ニ述べヤウト存シマス(簡單贊成「ト呼フ者アリ)近來政府内ニ各都市ノ宅地ニ新ニ土地增價稅ヲ課スベシ事宣ニ依シテハ一般ノ地所ニモ及ボスベシト云フ議ガアリマシテ、且下調査中ニアルト云フコトヲ過日來頻リニ耳ニスルノアリマス、成程土地增價稅ハ獨逸及北米合衆國ノ如キ、國稅トシテ地租ヲ課シテ居ラナイ國及英國ノ如キ、國稅トシテ地租ヲ課シテハ居リマスルガ、極メテ輕キ稅率即チ收益ノ百分ノ一ノ強ニ當ラナイ國ニ於テハ、或ハ適メニ、其日ノ學科タル體操ノ學科ヲ避ケツ、アルトコロノ地方ノ慘狀モアルノアリマス、然ルニ諸君、傲然トシテ大廈高樓ニ居住シ、堂々トシテ出レバ駒馬ニ鞭ツト云フヤウナ名流侯爵ニ於キマシテ、又ソレ等ニ對シマシテ特別ナル非常ニ寛大ナル非常ノ減額ヲ加ヘ、非常ナル特別ノ取扱ヲ爲サシメテ居ルト云フコトハ何事ニアリマセウ、本員實ニ惑ハザルヲ得ヌノアル、疑ハザルヲ得ヌノアル、是ニ至ツテ思フ、法ハ貧者ニ薄クシテ富者ニ厚キモノナル、法ノ威力ハ貧者細民ニ及ブト雖モ、富豪權勢ニハ及ハザルモノナルカト云フコトヲ慨嘆一番セザルヲ得ヌノアリマス、慷慨一番セザルヲ得ヌノアリマス、而モニ於キマシテ、諸君、同侯爵家が相續居出ニ於キマシテ、往々小魚ヲ羅スルコトガ急ニシテ、往々舟泊ノ魚ヲ逸スルノ嘆アルコトヲ免レナイト云フコトヲ諸君ト共ニ悲マザルヲ得ヌノアリマス、今ヤ終リニ臨ミマシテ一言ノ附加スヘキ點ガアリマス(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)昨年及一昨年ニ於キマシテ大阪控訴院ニ現ハレマシタル判決文ニ依リスト、稅務署及大藏省所管ノ官吏ガ大阪控訴院ニ於キマシテ犯罪者トシテ現ハレタル敷ガ三十餘人ノ多キニアルノアリマス、以上ハ主トシテ此地方ニ對スル實例、地方ニ於ケルトコロノ事實ヲ引用シ來リマシテ、諸君ニ訴ヘ及政府當局者ニ向シテ注意ヲ喚起スルノアリマスガ、諸君更ニ中央ニ及ビマシテ彼ノ陸軍ニ於キマシテハ國家ノ干城タルトコロノ一死君國ニ報ユルト云フ人士ノ淵叢ニアリナガラ、最近ノ取調ニ於キマシテ三年間ニ於ケルトコロノ事實ヲ引用シ來リマシテ、諸君ニ訴ヘ及政府當局者ニ向シテ注意ヲ喚起スルノアリマスガ、諸君更ニ中央ニ及ビマシテ彼ノ陸軍ニ於キマシテハ國家ノ干城タルトコロノ一死君國ニ報ユルト云フ人士ノ淵叢ニアリナガラ、最近ノ取調ニ於キマシテ三年間ニ於ケルトコロノ事實ヲ引用シ來リマシテ、諸君ニ訴ヘ及政府當局者ニ向シテ注意ヲ喚起スルノアリマス、茲ニ一國ノ宰相タリ、大臣タリ、範ヲ後世民衆ニ示サル、方ニ於キ大ニ憂ザルヲ得ヌノアリマス、諸君ト共ニ大ニ慨嘆セザルヲ得ヌノアリマス(「ヒヤ〜」)諸君、今ヤ人心へ漸ク荒怠ニ傾キ、浮華輕佻ノ嫌がアリマシテ、漸ク眞面目ナラザルノ感ガアルノアリマス、茲ニ一國ノ宰相タリ、大臣タリ、範ヲ後世民衆ニ示サル、方ニ於キ大ニ憂ザルヲ得ヌノアリマス、又諸君モ御承知ノ如ク彼ノ有名ナル政治家「メルボルン」氏モ云ウタコトモアリマセウ、彼ノ政府ハ政府當局ノ事業ノ外、帝國ノ紳士ヲ作フサルベカラスト云フコトヲ絶叫致シテ居ルテアリマセヌカ、即チ廟堂ノ諸君ハ大ニ夫レ之ヲ努メザルヲ得ヌノアリマセウ、今ヤ本員ハ此壇ヲ下ルニ臨ミマシテ、本員敢テ辯ヲ好ムノデハナインノアリマス、彼ヲ思ヒ此ヲ想ヒマスレバ、憂國ノ至情側タトシテ吾人ノ心ヲ動カシテ止マヌモノニアリマス、是ニ至ツテ本員ハ近時政府ニ於テハ監督權微弱ナルノ感アリ、政府ハ如何ニシテ其責任ヲ糾シ、如何ニシテ最モ適切ニ、最モ有效ナル監督ヲ爲サントスルヤト云フコトヲ茲ニ政府當局者ニシテ問ハントスル次第ニアリマス、之ヲ以テ責任ヲ塞ギマス(拍手スル者アリ)

○議長(大岡育造君) 土地增價稅ニ關スル質問——千田軍之助君

當ノ課稅方法カモ知リマセバ、否ナ、適當ノ課稅方法ニアリマセバ、然レドモ諸君、御承知ノ通り我國ノ如キ極メテ重キ地租ヲ課シ、加フルニ府縣稅、市町村稅、區費ト、此四ツノ負擔ヲ合計スルトキハ地租以上重イノアリマス、故ニ地租、府縣稅、市町村稅、區費ト、此四ツノ負擔ヲ總計スルトキハ實ニ重キ負擔アルノアル、非常ナル重稅アルノアリマス、加フルニ三百圓以上ノ所得アルモノニ對シテハ更ニ所得稅ヲ課シテ居ルノアリマス、又土地ノ抵當金融及所有權ノ賣買移轉ニ對シテハ重キ登錄稅即チ登記稅ヲ課シツ、アルノアリマス、家督及遺產相續ニ對シテハ是又非常ニ重キ相續稅ヲ課シツ、アルノアリマス、此ノ如ク歐米諸國ト我邦トハ土地ノ負擔ニハ甚シキ輕重懸隔ガアルノアリマス、此事實ヲ眼中ニ置カズシテ歐米ノ或ル國ミガ土地增價稅ヲ起シテ居ルカラ我邦ニ於テモ土地增價稅ヲ起シタラ宜カラウト云フコトハ、實ニ皮相ノ見ノ甚シキモノアリマス、此ノ如キ皮相ノ見ニ驅ラレテ、我邦ニ於テ新ニ土地增價稅ヲ現狀ノ上ニ於テ起スト云フコトハ、實ニ無謀ノ極ト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ如キ次第ニアリマスカラ賢明ナル財政當局ハ決シテ現狀ノ上ニ付テ、土地增價稅ヲ起スト云フ考ハ持シテ居ラヌト信ズルノアリマスケレモ、冒頭ニ述ベマシタ近頃政府部内ニ其說ガアツテ、調查中アルト云フコトハ如何ニモ事實ラシク聞ニルノデ茲ニ此質問ヲ提起シタ次第ニアリマス、政府ハ明瞭ニ此場合其所見ヲ吐露セラレ、吾ミノ疑ヲ水解セラレンコトヲ切望スル次第ニアリマス、是レ即チ質問ノ理由アリマス〇議長（大岡育造君）商工政策ニ關スル質問、三谷軌秀君

〔三谷軌秀君登壇〕

○二谷軌秀君 私ハ商工政策ニ關スル質問ノ趣意ヲ辯明致シタイト考ヘル、成ベク議論ヲ避ケテ統計ニ據り事實ヲ擧ゲテ、説明ノ趣意ヲ明カニ致シタイト考ヘマスガ、私此質問ヲ出シマシタ所以ハ、帝國ノ前途ニ對シテ憂慮ニ堪ヘナニ次第ガアツテ提出シタ次第ニアリマス、其關係大藏、農商務、遞信、文部、陸軍、海軍ニ關係スル問題ニアリマスガ、一人モ國務大臣ノ出席ナキハ甚グ遺憾トスルノアリマス、質問ノ第一ハ「過去及現在ニ於ケル帝國對外貿易ハ常ニ輸入超過ノ趨勢ヲ持續シ國運ノ伸張ニ多大ノ障礙ヲ與ヘシ、アリ政府ハ其原因ヲ精查シ近キ將來ニ於テ此趨勢ヲ一轉シテ純然タル輸出國タラシムル成算アリヤ」ト云フ問デアリマス、此輸入超過ノ國アルト云フコトハ深ク述ベナクテモ諸君ノ御承知ノ事テアリマス、之ニ對シテ大藏大臣ガ豫算委員會其他ニ於テ述ベラタトコロノ趣意ヲ約言致シマスレバ、先づ救濟策ト致シテハ曰ク、歲出ノ增加ヲ抑制シテ、歲入歲出ノ均衡ヲ保ツ、曰ク、戊申詔勅ノ旨ヲ體シ、國民一致シテ大ニ業務ニ勉勵シ、且華ヲ去リ、實ヲ取り、益々産業ノ發達、輸出増進等ヲ計ルト云フ考ニ外ナラヌノアリマス、是レ國民トシテ、國家トシテ、努力ベキトコロアリマスガ、我邦ノ現勢ハ此ノ如キコトヲ以テ輸入國ヲ輸出國タラシムルコトが出來ルト云フコトハ、大ニ疑ナキ能ヌノアリマス、今過去ニ於ケル輸出ノ狀況ヲ概要申述ベマスレバ、豫算參考書ニ依シテ見マシテモ、明治初年ヨリ一十年マテ輸入超過ハ一千四百七十四万四千圓アルノアリマス、サウシテ輸出超過ノ年ハ僅ニ八箇年、其内一千萬圓ヲ超過シタ年ハ僅ニ七千二百七十七万圓餘アル、之ヲ差引キマスルト金額ニ於テ七億二千二百四十四万圓、輸入超過ハ二十四年間ヲ通シテ一箇年ニ二十万餘圓が輸入超過ニナシテ居リマス、此最近五箇

年間ノ狀況ヲ見マスレバ、五箇年間ノ輸入總額ハ二十三億二百九十六万圓、輸出總額ガ二十一億一千九百六十三万圓、差引一億七千三百三十二万餘圓、輸入超過ニナシテ居ル、之ヲ五箇年平均致シマスレバ三千五百万圓ハ輸入超過ニナシテ居ルノテアリマス、サウシテ貿易以外ニ於ケル對外正貨關係ハ如何ニナシテ居ルカト云フコトヲ考ハマスレバ、是又大藏大臣ノ言明ニ依リマスレバ、國債ノ利子其他外國ニ支拂フベキ正貨ハ約九千五百万圓ヲ要スルノアル、サウシテ帝國ノ金ノ產出高其他海外ヨリ受入ルベキ正貨ハ二千万圓乃至二千万圓ニアツテ、差引約七千万圓ヲ貿易以外ニ於テ外國ニ仕拂ハナケレバナラヌト云フコトハ、大藏大臣ノ言明スルトコロアリマス、之ニ依リマスレバ我帝國ノ現狀ハ債務國ニシテ、且純然タル輸入國ニシテ輸入國タル國家ノ隆盛ニ趣キタル實例ノナインヲ考ハマスレバ、帝國ノ前途ニ對シテハ大ナル杞憂ヲ懷カザルヲ得ズ、憂慮ヲ懷カザルヲ得ナイト考ヘルノアリマス、今他ノ國ノ例ヲ見マシテモ、輸入國ハ債權國ニシテ、債務國ハ輸出國タルコトハ殆ド一般ノ通例アル、獨リ我國ハ債務國ニシテ、且輸入國アル、サウシテ其輸入ノ狀態ハ一時ハ經濟上ノ變態カラ起シタモノニアクシテ、深キ原因ガアツテ、過去數十年來通シテ輸入超過ノ狀勢ヲ持續シテ居シテ、サウシテ近キ將來ニ此形勢ノ變遷スキ現象ノ認ムルコト出来ナイノハ、目下ノ狀況アルト信ズルノアリマス、果シテ然リト致シマスレバ漫然歲入歲出ノ均衡ヲ保ツトカ、勤儉貯蓄ヲ獎勵スルトカ云フヤウナコトナクシテ、深ク其原因ヲ精査シ、之ニ對スル策ナカルベカラズト信ズルノアリマス、是ニ於テ第一問ヲ生スルノアル、如何ニセバ此輸入國ヲシテ輸出國タラシムルコトヲ得ルカト云フコトニ付テハ、一定ノ方針、一定ノ目的ヲ以テセンシレバナラナイト考ヘルノアリマス、即チ第二問ハ「政府ハ我輸出入貿易品中將來輸出ヲ防遏シ輸入ヲ増進セシムルコトヲ得ヘキ物品ハ主トシテ農產品ニ囑望セラル、ヤ將工產品ニ期待セラル、ヤト云フコトナシテアリマス、此輸入ヲ防イテ輸出ヲ增加スルニ付テハ、輸出入貿易中ノ品類ニ付テ考察スル必要ガアルト考ヘルノアリマス、之ニ依シテ最近五箇年間ノ重要輸出入品ノ類別ヲ擧ゲテ見マスト、輸出品ニ付キマシテハ五箇年ノ平均ニ於テ精製品ハ七千四百五十六万餘圓アリマシテ、輸出總額ニ對スル割合ハ僅ニ一割七分五厘アリマス、サウシテ其精製品ト云フモノハ、ドウ云フ種類ノモノガ重ニ占メテ居ルカト云ヘバ、羽二重、絹製「ハンケ」綿布類、鱗寸等ノモノアリマス、ソレカラ未製品ニ屬スルモノハ幾何アルカト云フコトヲ見マスレバ、五千三百二十三万餘圓、輸出總額ニ對スル割合ハ一割二分五厘ニ外ナラヌノアル、其他ノモノガ一億一千四百十八万餘圓アリマシテ、輸出總額ニ對スル割合ハ四割二分一厘九毛ト云フモノニナルノアリマス、此粗製品ノ重ナルモノハ申スマテモナク生絲、綿絲、茶等アリマス、ソレカラ未製品ニ屬スルモノハ幾何アルカト云フコトヲ見マスレバ、一億八千三百九十五万餘圓ニナリマシテ、輸出總額ニ對スル割合ハ四割六分八厘一毛ト云フモノニナルノアリマス、此粗製品ノ重ナルモノハ申スマテモナク生絲、綿絲、茶等アリマス、ソレカラ未製品ニ屬スルモノハ幾何アルカト云フコトヲ見マスレバ、五千三百二十三万餘圓、輸出總額ニ對スル割合ハ一割二分五厘ニ外ナラヌノアル、其他ノモノガ一億一千四百十八万餘圓アリマシテ、此分ガ輸出總額ニ對スル割合二割六分八厘一毛ト云フコトニナシテ居リマス、是モ輸入品ニ付テ既往五箇年間ノ品類別平均ヲ擧ゲテ見マスレバ、精製品ハ六千四百三十一万餘圓アリマシテ、輸入總額ニ對スル割合ハ一割三分九厘六毛アリマス、粗製品ニ付キマシテハ僅ニ二千九十三万餘圓、輸入總額ニ對シテ六分七厘二毛ニ外ナラヌノアル、未製品ニ屬スルモノガ一億二百六十七万餘圓アリマシテ、此分ガ輸入總額ニ對スル割合ハ四割四分ト云フコトニナシテ居ルノアルマス、此未製品ニ屬スルコロノ品物ハ如何ナルモノアルカト云ヘバ、棉花、羊毛、米、豆、石油等アリマス、其他ニ屬スルモノハ一億六千二百六十六万餘圓アリマス、其輸入總額ニ對スル割合ハ三割五分三厘二毛ト云フコトニナシテ居リマス、サウシテ殊ニ注

ノ輸入額ハ九千三百五十七万餘圓デアッテ、米ノ輸出額ハ二千四百九十四万餘圓、差引六千八百六十二万餘圓ト云フモノハ、米ニシテモ輸入超過ニナシテ居ルノデアリス、其一箇年平均ハ千三百七十二万餘圓ト云フモノニナシテ居ルノデアリマス、サウシテ此年ハ米ニ付キマシテハ豊年ノ打續イタ年ナンデアリマス、此品類ニ依シテ見マスレバ、農产品ニ付テハ我ノ輸出スルモノハ極メテ少ナクシテ、輸出總額ノ一割二分餘テアッテ、其品類モ重ナルモノハ石炭ト銅トデアリマス、ソレカラ我輸出品中ノ最大要部ヲ占メテ居ルトヨロノ組製品ト、輸入品中ノ最大要部ヲ占メテ居ル未製品トガ、稍々相對照シテ居ルト云フ有様テアリマス、此未製品ニ屬スルモノハ將來輸入ヲ減少スルコトガ出來ルモノニアリカト云フコト考へマスレバ、輸入ヲ減少スルコトハ出來ナイノミナラズ、將來入レンケレバナラヌ品物デアリマス、又一面此土地ノ面積ト人口トノ關係ヲ見マシテモ、日本ノ面積ハ二万四千七百九十四方里三六デアリマス、四十一年度末ノ本籍人口數ノ四千九百五十八万一千九百二十八人ヲ以テ割リマスレバ、一方里ニ對シテ千九百九十六人七二六ト云フ人口ニナリマシテ、之ヲ世界ノ人口ニ比較シテ見マスレバ、世界中人口稠密ナル第四位ニ日本ハ居ルノデアリマス、彼ノ露西亞ノ如キ、亞米利加ノ如キ、最モ人口ノ稀薄ナル處ニ比較致シマスレバ、殆ド比較ニナラナイ有様テアルノデアリマス、之ニ依シテ見マスレバ、我帝國ノ對外貿易ニ關シマシテハ農產品ヲ以テ大ニ輸出ヲ増加シ、又農產品ノ輸入ヲ防イデ、我農產品ヲ大ニ増加シテ、國民ノ需用ヲ充スト云フ事柄ハ、此人口ト面積トノ關係カラ見マシテモ、亦地理上ノ關係カラ見マシテモ、輸出入品類ノ點カラ見マシテモ、到底望ムコトハ出來ナイモノニアラウト信ズルノデアリマス、然ラバ何ヲ以テ輸入ヲ防ギ、我輸出ヲ増スカト云ヘバ、工產品ヨリ外ニ求ムルモノハナイト本員ハ信ズルノデアリマス、工產品中ニハ目下ノトコロニ於キマシテハ、多ク外國品ヲ仰ガヌケレバ、我內國デ出來ナイモノガ、甚ダ多イノデアリマス、其品類ニ付テ見マシテモ、輸出入品類ニ於テ製造シ得ベキモノ、殊ニ其原料豐富ニシテ、今ハ原料ヲ海外ニ輸出シテ、彼地デ製品ニシテ、再ビ我帝國內ニ輸入スルモノモ多イノデアリマス此工業ニ付キマシテハ前途輸入ヲ防ギ、輸出ヲ增進スルノ途ガアルト云フコト信ズルが故ニ、此貿易ノ狀況ヲ順調ナラシメ、我帝國ヲシテ輸出國タラシムルノニハ、工產品ノ發達ヲ圖ランケレバナラヌ一定ノ目的ト一定ノ方針トノ下ニ進ム必要ガアリハシナイカト云フ考ヨリ、此第二問ヲ起シタ次第アリマス、是ヨリ第二問ニ移リマス、第二問ハ「政府ヘ我工業不振ノ主因トシテ左記ノ事項ヲ認メラル、ヤ果シテ之ヲ認メラル、モノトセバ其救濟策トシテ從前如何ナル政策ヲ執リタルヤ又將來如何ナル政策ヲ斷行スルノ意ナルヤ」ト云フノデアリスガ、サウシテ其事項トシテハ「イカラ「ホ」マテ五項ニ分シテ居ルノデアリマスガ、工業ヲ盛ナラシメテ、工產品ヲ以テ輸出貿易ノ現下ノ趨勢ヲ一轉セシメントスルナラバ、宜シク工業不振ノ原因ヲ調べテ、之ニ向シテ救濟ノ策ヲ執ランケレバナラヌト考ヘル故ニ、此質問ヲ起シタ次第アリマス、其「ノイ」ニ於キマシテハ工業知識ノ幼稚ナルコトヲ云フノデアリマス、成程目下ニ於キマシテ或ル事業ニ付キマシテハ學識、經驗共ニ卓絶セル老練家モアッテ、頗る進歩シテ居ル如キ感ガアルノデアリマスガ、之ヲ全體ノ我國工業界ノ狀況ニ照シテ見マスレバ、學者ハ實地ニ陳ク、實地家ハ學問トノ調和ヲ缺イテ居ルト云フコトガ、今日ノ實況ニアリハシナイカト信ズルノデアリマス、現ニ今モ申述ベマシタ如ク、我帝國ニ於テ製造シ得ベキ物ニシテ、サウシテ舶來品ト同等ノ物が出來ナイ中ニハ、全ク如何ニスルカ其スルコトヲ知ラナイ者スラ甚ダ多イノデアリマス、サウシテ帝國ノ現狀ニ照シマシテ、他ノ陸海軍ノ如キ、或ハ醫學ノ如キ、或ハ法政學ノ如キ制

度ニ於ケル如キ部面ニ對比致シテハ見マスルナラバ、商工業ノ方ガ一番後レテハ居ナイカト信ズルノデアリマス、現ニ戰術上ノコトハ別ニ致シマシテモ、陸海軍ニ於ケル砲兵工廠ノ製品、海軍工廠ノ製作品等カラ見マシテモ、我商工業界ノ知識、經驗、其出來ルトコロノ品等ニ於テ、遙ニ劣シテハ居ナイカ、是レ工業知識ノ未ダ幼稚ナル現狀ニアラウト信ズルノデアリマス、之ニ付キマシテハ一面ニ於テハ實業教育ヲ盛ニシ、即チ實學ヲ修ムルト云ルカト云フコト考へマスレバ、輸入ヲ減少スルコトハ出來ナイノミナラズ、將來入レンケレバナラヌ品物デアリマス、又一面此土地ノ面積ト人口トノ關係ヲ見マシテモ、日本ノ面積ハ二万四千七百九十四方里三六デアリマス、四十一年度末ノ本籍人口數ノ四千九百五十八万一千九百二十八人ヲ以テ割リマスレバ、一方里ニ對シテ千九百九十六人七二六ト云フ人口ニナリマシテ、之ヲ世界ノ人口ニ比較シテ見マスレバ、世界中人口稠密ナル第四位ニ日本ハ居ルノデアリマス、彼ノ露西亞ノ如キ、亞米利加ノ如キ、最モ人口ノ稀薄ナル處ニ比較致シマスレバ、殆ド比較ニナラナイ有様テアルノデアリマス、之ニ依シテ見マスレバ、我帝國ノ對外貿易ニ關シマシテハ農產品ヲ以テ大ニ輸出ヲ増加シ、又農產品ノ輸入ヲ防イデ、我農產品ヲ大ニ増加シテ、國民ノ需用ヲ充スト云フ事柄ハ、此人口ト面積トノ關係カラ見マシテモ、亦地理上ノ關係カラ見マシテモ、輸出入品類ノ點カラ見マシテモ、到底望ムコトハ出來ナイモノニアラウト信ズルノデアリマス、然ラバ何ヲ以テ輸入ヲ防ギ、我輸出ヲ増スカト云ヘバ、工產品ヨリ外ニ求ムルモノハナイト本員ハ信ズルノデアリマス、工產品中ニハ目下ノトコロニ於キマシテハ、多ク外國品ヲ仰ガヌケレバ、我內國デ出來ナイモノガ、甚ダ多イノデアリマス、其品類ニ付テ見マシテモ、輸出入品類ニ於テ製造シ得ベキモノ、殊ニ其原料豐富ニシテ、今ハ原料ヲ海外ニ輸出シテ、彼地デ製品ニシテ、再ビ我帝國內ニ輸入スルモノモ多イノデアリマス此工業ニ付キマシテハ前途輸入ヲ防ギ、輸出ヲ增進スルノ途ガアルト云フコト信ズルが故ニ、此貿易ノ狀況ヲ順調ナラシメ、我帝國ヲシテ輸出國タラシムルノニハ、工產品ノ發達ヲ圖ランケレバナラヌ一定ノ目的ト一定ノ方針トノ下ニ進ム必要ガアリハシナイカト云フ考ヨリ、此第二問ヲ起シタ次第アリマス、是ヨリ第二問ニ移リマス、第二問ハ「政府ヘ我工業不振ノ主因トシテ左記ノ事項ヲ認メラル、ヤ果シテ之ヲ認メラル、モノトセバ其救濟策トシテ從前如何ナル政策ヲ執リタルヤ又將來如何ナル政策ヲ斷行スルノ意ナルヤ」ト云フノデアリスガ、サウシテ其事項トシテハ「イカラ「ホ」マテ五項ニ分シテ居ルノデアリマスガ、工業ヲ盛ナラシメテ、工產品ヲ以テ輸出貿易ノ現下ノ趨勢ヲ一轉セシメントスルナラバ、宜シク工業不振ノ原因ヲ調べテ、之ニ向シテ救濟ノ策ヲ執ランケレバナラヌト考ヘル故ニ、此質問ヲ起シタ次第アリマス、其「ノイ」ニ於キマシテハ工業知識ノ幼稚ナルコトヲ云フノデアリマス、成程目下ニ於キマシテ或ル事業ニ付キマシテハ學識、經驗共ニ卓絶セル老練家モアッテ、頗る進歩シテ居ル如キ感ガアルノデアリマスガ、之ヲ全體ノ我國工業界ノ狀況ニ照シテ見マスレバ、學者ハ實地ニ陳ク、實地家ハ學問トノ調和ヲ缺イテ居ルト云フコトガ、今日ノ實況ニアリハシナイカト信ズルノデアリマス、現ニ今モ申述ベマシタ如ク、我帝國ニ於テ製造シ得ベキ物ニシテ、サウシテ舶來品ト同等ノ物が出來ナイ中ニハ、全ク如何ニスルカ其スルコトヲ知ラナイ者スラ甚ダ多イノデアリマス、サウシテ帝國ノ現狀ニ照シマシテ、他ノ陸海軍ノ如キ、或ハ醫學ノ如キ、或ハ法政學ノ如キ制

信ズルノデアリマス、現ニ戰術上ノコトハ別ニ致シマシテモ、陸海軍ニ於ケル砲兵工廠ノ製品、海軍工廠ノ製作品等カラ見マシテモ、我商工業界ノ知識、經驗、其出來ルトコロノ品等ニ於テ、遙ニ劣シテハ居ナイカ、是レ工業知識ノ未ダ幼稚ナル現狀ニアラウト信ズルノデアリマス、之ニ付キマシテハ一面ニ於テハ實業教育ヲ盛ニシ、即チ實學ヲ修ムルト云ルカト云フコト考へマスルガ、今日マテノ教育ノ方針ハ過日星君モ問ハレタ如ク、本員ニ於テモ人物經濟ノ上ニ於テ、頗ル不經濟ナ教育ヲシテ居ナイカト疑フモノニアリマス、尙文部省直轄ノ高等工業學校ト、高等商業學校ト既往三年間ニ於ケル入學志願者ト、收容人員ヲ調べテ見マスルノニ、高等工業學校ニ於ケル入學志願者ノ一箇年ノ平均數ハ、三千十三人デアリマシテ、收容人員ガ八百五十八人、差引一千五百五十五人ト云フ者ハ收容スルコトが出來ナイコトニナシテ居ル、志願者ノ數ニ對シテ百人ニ付アリ、一十八人餘ホカ收容シテ居ラナイノデアリマス、又高等商業學校ノ三年間ノ平均數ハ、三千十三人デアリマシテ、收容人員ガ八百五十八人、差引一千五百五十五人ト云フ者ハ收容不能數が千八百七十一人デアリマス、是又志願者百人ニ付テ三十一人餘ホカ收容シテ居ラナイノデアリマス、其他市町村立商業學校、工業學校、或ハ實業補習學校等ノ設モ多々アリマスルガ、此ノ如ク官立高等學校ニ於テスラ志願者ノ約二割ノ收容ホカ出來ナイト云フ有様テアッテ、サウシテ志願者ノ數ハ近年增加シツ、アルカト云ヘバ、之ニ反シテ減少シツ、アルノデアリマス、此減少ヲシテ居ルノハ之ニ向フ志願者ノ減ルノデアルカ、到底希望ヲ充スコトが出來ナイト云フ自暴自棄ニ出ツルノアルカト云フコトハ、一考ヲ要スル問題デアルト考ヘルノデアリマス、固ヨリ教育ニ付キマシテモ工業ヲ盛ナラシムルト云フ意味ニ於テ、遺憾ナク經營施設スル必要ガアラウト考ヘマスルガ、目下ノ狀況ハ獨リ學校教育ノミテナク、實地ノ教育即チ試驗及研究ヲスルノガ最も必要デアルト考ヘルノデアリマス、之ニ對スル適當ナル機關ハ即チ農商務省所管ノ工業試驗所デアリマス、工業試驗所ハ明治三十二年ニ設立セラマシテ、今日ニ至シテ居リマス、其設備費ノ總額ヲ調べテ見マスレバ、僅カニ百十五万四千餘萬圓デアリマス、本年度ノ經費ヲ見マシテモ、僅ニ十万八千四百餘圓デ、水產講習所ノ費用ニ尙足ラヌヤウナ有様デアリマス、國家が唯一ノ機關トシテ工業ヲ保護獎勵スル意味ニ於テ設ケタ工業試驗所ト云フモノハ實ニ微々タルモノノアルト考ヘル、過日實地ニ就ト拜見モ致シマシタガ、工業試驗所ノ成績ハ一概ニ之ヲ申シマスレバ未ダ見ルベキモノナイト云シテモ宜イト考ヘルノデアリマス、分析等ニ屬スルモノハ、是ハ獨リ工業試驗所ノミナラズ、他方面ニ澤山ヤシテ居ルノデアリマス、工業試驗所ニ於テ最モ必要ナル今日我工業界ノ知識ノ足ラヌトコロヲ補充セントスルニ付キマシテハ殆ド閑却セラレテハ居ラヌカト云フ感ガア且内地ニ完全ニ出來ナイ物ニ付テハ一箇ノ研究スル必要ガアルト本員ハ信ズルノデアルモノニアリマスカ、經濟的ニナルカト云フ點ニ付テハ殆ド閑却セラレテハ居ラヌカト云フ感ガア云フ問題デアリマス、工業試驗所ノ成績ハ一概ニ之ヲ申シマスレバ未ダ見ルベキモノナイト云シテモ宜イト考ヘルノデアリマス、殊ニ之ヲ經營施設スルトコロノモノモ、甚ダ微々テハ認メラレナイ點ガアルト思フノデアリマス、殊ニ之ヲ經營施設スルトコロノモノモ、甚ダ微々タルモノニアリマスカ、國家ノ工業ヲ盛ナラシメ、工業知識ノ幼稚ナルヲ補ハントスルナ

ラバ、國家ハ大ニ之ニ力ヲ盡ス必要ガアリハシナイカト本員ハ存ズルノアリマス、次ハ「口」デ工業資金ノ匱乏ナルコト我工業界ノ工業資金ハ未タ潤澤ナイト本員ハ信ズルノアリマス、成程近年金利モ廉シ、金融頗ル緩漫デアリ、工業資金ハ潤澤ノ如クデアルガ、是ニハ大ニ注意ヲ要スル點ガアル、目下金融緩漫デアルノハ借金政策ノタメニ外資ヲ入レテ、正貨準備ヲ潤澤ナラシメテ居ルタメニアッテ、輸出超過ノ結果我國力ノ發展ニ依シテ通貨ノ潤澤ニナツテ居ルノトハ、大ニ趣キヲ異ニシテ居ルノアリマス、故ニ工業資金ノ大部分ヲ占メルトコロノ株式ニ投ズルトコロノ資本ハ如何ナルモノデアルカト云コトヲ見マスレバ、其多數ハ貯蓄的資本ニアラズシテ、所謂雇資本デアリマス、雇資本ナルガ故ニ、金利ハ五朱内外デアリマシテ、八朱ヤ一割ノ利息デ工業會社ノ株金ニ資本ヲ投ズルモノハナイノデアル、之ニハ前ノ金利ノ關係モアリマスガ、一面又工業知識ノ幼稚ナルガタメニ經營其當ヲ得ナイ、不適實ナル經營ヲスルモノガアッテ、我國ノ工業ハ未ダ危險事業ノ位置ヲ全ク去シテ居ラヌノアリマス、故ニ日露戰爭ノ後ニ於テ起シテ居ル事業ハドウ云フ種類が多イカト云コトヲ見マスレバ、金利ハ廉クテモ輸出的工業資本ニ投ズルモノハ少シクシテ工業會社ハ起ラナイ、或ハ電氣鐵道デアルトカ、電燈デアルトカ、瓦斯デアルトカ、水力電氣デアルト云フヤウナ種類ノモノガ、比較的的安全デアルト云コトノタメニ起シテ居ルノアリマス、之ヲ今對外貿易ノ關係上カラ申シマスレバ、輸出ヲ增加スル所以ニハ少シモナラナクシテ、却テ輸入ヲ誘致スルノ因トナルモノデアルト考ヘルノアリマス、又之ヲ對外貿易ノ國家ト國家トノ關係ヲ個人關係ニ譬ヘて見マスレバ、店ノ商賣ハ年々損益往々居ルノニ、主人ハ近頃座敷向キノ裝飾ニ非常ニ凝シテ居ルト同様ノ結果デアルト考ヘルノアリ、之ヲ以テ國運ノ隆タルコトヲ誇ルコトハ出來ナイト本員ハ信ズルノアリマス、我國ノ現狀ニ於キマシテハ外資ハ自然的外資ヲ輸入シテ、所謂彼ガ我國へ來テ事業ヲ起シ、彼ト我國民ト共ニ事業ヲ現在ニ於キマシテ租稅ノ負擔ハ重キニ失シテ、ソレガ延イテ工業ノ發達ヲ阻礙シテ居リハシナイカト考ヘルノアリマス、其資金ハ不生產的事業ニ投ゼラレルト云フ事柄ハ、最忌ムベキモノデハナイカト考ヘルノアリマス、我國ノ現狀ニ於キマシテハ外資ハ自然的外資ヲ輸入シテ、所謂彼清戰爭前ニ於キマシテハ千萬圓内外ノ歲計ガ、日清戰爭後一躍一億五千万圓内外トナリ、日露戰爭後再躍シテ五億乃至六億ト云コトニナリマシタダメニ、其日清戰爭ニ於キマシテハ是ガタメニ費シタコロノ軍事費ハ約二億五千万圓ニシテ、サウシテ彼ヨリ取シタコロノ償金ノ種ナルモノ、總額ハ約三億五千万圓ニアッタニモ拘ハラズ、アリマス、爾來稅制ノ整理ヲ未だナサズ、民力ノ休養ヲ力メ致シマシタ結果ハ、今三十六年度ト本年度四十五年度ト比較致シテ見マスルノニ、地租、印紙收入、官業及官省財產收入ニ於テ二十五年度ニハ二億四百五十一万餘圓デアッタモノガ、四十五年度ニハ四億八千百四十七万餘圓ト云コトニナリマシテ、差引一億七千六百九十万餘圓ト云フモノガ増加シテ居ルノアリマス、其割合ハ一倍二割五分四厘一毛ト云フモノガ殖エテ居ルノアリマス、又地方ノ政費モ漸次膨脹シマシテ、府縣、市町村ノ負擔ト云フモノモ甚ダ今日ハ輕カラナイノアリマス、是ガ工業上ニ如何ナル關係ヲ持ツ

カト云フ點ニ付キマシテ、我大阪ニ於ケル主ナル株式會社中ノ一部ニ就テ取調ヲ致シテ見マルノニ四十二年度ノ一箇年分、所謂會社デ言ヘバ一年以上ノ年度テ其株主ノ配當金ト國稅府縣稅市町村稅等ノ負擔額トノ割合ヲ調べテ見マスレバ、大阪紡績外八會社分ノ配當金ノ總額ハ、百九十八万一千百四十五圓、納稅額が五十八万八千四十九圓デアリマス、其配當金ニ對スル割合ハ二割五分六厘三毛ト云フモノニナツテ居ル、織物業、毛斯綸紡績會社外ニ會社分ノ配當金二十六万八千五百圓、納稅額ガ七万六千三百七十一圓ニナツテ居ル、此配當金ニ對スル割合ハ二割八分四厘四毛ト云フモノニナツテ居ル、又運送業大阪商船會社外十一會社分ノ配當金四百六十六万七千三百七十一圓、納稅額ハ百三十四万一千八百九十一圓、此配當金ニ對スル割合ハ二割九分一厘七毛ニナツテ居ル、瓦斯電燈業、大阪電燈會社外五會社分ノ合セテ百四十二万一千二百二十四圓、納稅額が一十四万百二十六圓、其配當金ニ對スル割合ハ一割六分八厘八毛ト云フヨトニナツテ、斯ウ云フモノハ割合ニ廉クナツテ居ル、其他ノ雜業大阪電氣分銅會社外十一會社分ノ配當金ハ三十一万四千二百七圓、納稅額ハ九万一千四百五十圓、此配當金ニ對スル割合ハ二割九分四厘一毛ト云フコトニナツテ居ル、約二割ハ稅ニ取ラレテ居ルスケ致シマスルト一割ノ利益ノアル工業ハ株主ニ配當スルモノハ七朱ニ下シテ來ルノアリ、是ダケノ一方ニ負擔ガアリマスレバ、自然工業會社トシテ利益ノ多イモノヨリ外起ラスト云フコトニナル、今對外貿易ノ關係上ヨリ外國呂叩競争スル上ニ於テハ、此ノ如ク利益ノ多イ事業ハカリハ無イノアリマス、是等モ工業不振ノ一ノ原因ニナツテ居ラスカト考ヘルノアリマス、次ニニテアリマス「官營事業ノ過多ナルコト」官營事業が頗ル多過ギルト考ヘルノアリマス、元々無クシテ何デモ國家がヤルト云フコトニ至リマスレバ、國家ニ對シテ個人ハ競争スル力ヲ持テ居ナイガタメニ、他ノ產業ハ大ニ萎縮スル次第ニナルノアリマス、現ニ本年度ノ各會計爲スベカラザル事業タルコト曰ク、個人ノ爲ス能ハザル事業タルコト、曰ク、個人ノナスコトヲ欲セザル事業タルコト、此要件ガナケレバナラナイコト、考ヘルノアリマス、若シ之ガ來國家が事業ヲ經營スルノニハ二箇ノ要件ガ要ルト本員ハ信ズルノアリ、曰ク、個人ノアリマス、是等モ工業不振ノ一ノ原因ニナツテ居ラスカト考ヘルノアリマス、次ニニテアリマス「官營事業ノ過多ナルコト」官營事業が頗ル多過ギルト考ヘルノアリマス、元々無クシテ何デモ國家がヤルト云フコトニ至リマスレバ、國家ニ對シテ個人ハ競争スル力ヲ持テ居ナイガタメニ、他ノ產業ハ大ニ萎縮スル次第ニナルノアリマス、現ニ本年度ノ各會計中官營事業費即チ官營事業トシテ政府ノ執ルトコロノ事業ノ仕拂金歲出ハ、ドレダケノモノヲ拂シテ居ルカト云フコトヲ見マスレバ、一億六千五百八十八万五百四十一圓ト云フモノヲ歲出ニ計上シテアルノアリマス、國家がタケノ歲出ヲ投シテ、官營事業ヲ盛ニ致シマシタラバ、是ヨリ生ズル或ハ職工ノ奪取、或ハ勞銀ノ騰貴、製品ノ投賣等、其他官營事業ト競争スル力ノ奈イ民業ハ官營事業ノタメニ壓迫ヲ被ルト云フ事柄ハ蔽云フモノヲ歲出ニ計上シテアルノアリマス、國家がタケノ歲出ヲ投シテ、官營事業ヲ適度ニ縮小シテ、現ニ政府事業中テモ、或ハ製鐵所ノ如キモ、或ハ製材事業ノ如キ、或ハ製紙所ノ如キ、或ハ採炭所ノ如キ、或ハ造船所ノ一部、電信燈臺用品製造所ノ如キモノハ、是ハ宜シク民業ニ移シテ、國家工業ノ發達ニ資スル必要ガアリハセヌカト考ヘマス、之ニ對シテ過日豫算會議ノ場合ニ製鐵所ヲ民業ニ移スコトハ出來ナイト云フ意味デハナノ問ニ對スル農商務大臣ノ答ハ、本員ハ甚ダ奇怪ニ思フノアリ、此製鐵所ナルモノハ軍器ノ獨立ニ關係スルタメニ拂下ゲルコトハ出來ナイト云フ答ガアッタ記憶致シマス、本員ノ信ズルトコロニ依レバ、軍器ノ獨立ハ官自ラ營マナケレバ出來ナイト云フ意味デハナス、之ニ對シテ過日豫算會議ノ場合ニ製鐵所ヲ民業ニ移スコトハ出來ナイト云フ

アルト考ヘルガ、農商務大臣ノ答ハ是非自ラシナケレバ軍器ノ獨立が出來ナイ如キノ御答ガアツタノ、甚ダ本員ハ奇怪ニ考ヘルノデアリマス、次ニ「ホ」財政計畫ノ失當ナルコト、此財政計畫ノ其當ヲ得ナイト云フ事柄ハ豫算會議ノ場合ニモ種々御議論ガアツタウニ記憶致シマスガ、今一般會計及各特別會計ヲ通シテ、サウシテ各會計官ノ振替支出ニ屬スルモノヲ除イテ、全ク政府ノ手ヨリ仕拂フベキ金額ハ幾何アルカト云フコトヲ調ベルト、九億七千二百三十万五千四百五十七圓デ、約十億ト云フ歲計ニナシテ居ル、之ニ各會計官ノ振替支出ニ屬スルモノヲ通算スレバ、十二億五千五百八十万五千五百二十八圓ト云フ歲計ニナシテ居ルノデアリマス、我國ノ現在ノ富力、現在國民ノ負擔ノ程度、前ニ申シマシタ公課ノ負擔ノ重イト云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、此歲計ハ實ニ過大ナル歲計デアルト信ズルノデアリマス、是ガタメニ前内閣ノ場合ニ於テハ公債非募集ノ名ノ下ニ盛ニ借金政策ヲ實行シタノテアリマス、外債ノミニ於テ約三億圓ト云フモノガ、前内閣時代ニ殖エテ居ルノデアリマス、又本年度ノ豫算ニ於テモ、所謂大藏大臣ノ入ヲ量ツテ出ヅル制スルト云フ名ノ下ニ七千八百九十九万四千九百六十圓ト云フモノガ、公債其他ノ借金政策ヲ執リテ居ルノテアリマス、此政策ノ持続スル關係ハ、兌換制度ニ著シキ影響ヲ及ボスノデアリマス、即チ外債ヲ以テ正貨準備ヲシテ置クノアル、之ニ對シテ大藏大臣ハ時々必要ニ迫リテ小出シヲシテ補充ヲシテ居ルト云フコトヲ言ヘテ居リマスガ、其小出シタコロノ補充金額ハ幾何シテ居ルカト云フコトヲ調ベテ見マスルト、四十一年末即チ四十二年ノ十一月三十日ノ日本銀行ノ正貨準備ハ二億千七百八十四万餘圓デアリマス、サウシテ四十三年ノ輸入超過額ハ五百八十万四千餘圓デアリマス、サウシテ同年度ニ於ケル前ニ申シタ債務ノ仕拂ヲ假ニ七千萬圓ト致シマスレバ、四十三年度末ニ於テハ日本銀行ノ正貨準備ハ一億四千二百三万八千四百六十三圓ニ減少シナケレバナラヌ筈デアル、然ルニ同年末ノ日本銀行ノ正貨準備ヲ見マスレバ、一億一千二百三十八万一千四百六十五圓デアリマシテ、却テ殖エテ居ル、其差引ノ差ハ幾何アルカト云ヘバ、即チ八千三百四十四万四千二百三十六圓ト云フモノハ大藏大臣ノ所謂小出シヲシテ補充ヲシテ居ルノデアリマス、四十四年度ハ如何ナルカト云フコトヲ見マスレバ、四十四年中ノ輸入、超過額ハ六千六百二十七万六千五百一十九圓デアリマス、同年度ニ於ケル債務、仕拂額ヲ是亦七千万圓ト假定致シマスレバ、昨年末ノ正貨準備ハ僅ニ八千六百万六千九百三十六圓ニ減ラナケレバナラヌ筈デアルノデアリマス、然ルニ四十四年度末日本銀行ノ正貨準備ハ二億一千九百五十万四千一百二十圓ト云フコトニ更ニ殖エテ居ルノデアル、其差引ノ差ハ何程アルカト云ヘバ、即チ一億四千三百十四万七千二百八十四圓ニナル、是ダケガ四十四年度ニ所謂小出シヲシテ補充ヲシテ金額ナノアル、且下ノトコロテ此小出シヲシテ補充ヲ止メル、同時ニ兌換制度ノ基礎ニ一大變化が起ルト云フコトガ、我國ノ現状ナリト致スル政府所有ノ在外正貨ハ、一億四千二百萬圓ホカナイ譯デアル、サウスルト本年ニ於テ昨年ダケノ輸入超過ガアレバ、最早補充ヲスル錢ハ無クナル筈デアル、然ルニ本年ハ出來ナイト信ズルガタメニ、敢テ之ヲ聽カント欲スルノデアリマス、モウ是ハ簡単ニ宣キヲ得ザルコト」、我國ノ政費ノ分配ニ付キヤシテハ分類ノ仕方ハイロク、アリマセウガ、一定シタ分類ヲ立テモ能ク本員ハ承知致サナイノデアリマスガ、今假ニ國債ニ關スル諸費ト、軍事ニ關スル諸費ト、產業ニ關スル諸費ト、教育ニ關スル諸費ト、其他ノ政務ニ關ス

ル諸費トノ五目ニ分ケテ、本年度ノ豫算ノ之ヲ一般會計ニ屬スル五億七千二百餘万圓ノ中デ類別ヲ致シテ見マスレバ、國債ニ關スル諸費ハ一億七千九十六万一千五百四十六圓、歲出總額ニ對スル割合ガ二割九分八厘四毛ト云フモノハ國債ニ關スル諸費ナノデアリマス、軍事ニ關スル諸費ハ一億九千七百万三千百九十五圓デアリマシテ、其歲出總額ニ對スル割合ハ三割四分三厘九毛トナシテ居ル、產業ニ關スル諸費ハ僅ニ三千三百六十六万四千四百七十七圓デ、歲出總額ニ對シテハ五分八厘七毛ニホカナラス、教育ニ關スル諸費ハ、千二十三万四千三百七十二圓デアリマシテ、僅ニ一分七厘九毛ホカナイノテアル、其他ノ政務ニ關スルモノガ一億六千百二万八千二百七十圓デ、其割合ハ二割八分一厘一毛ト云フコトニナシテ居リマス、此產業ニ關スルモノ如キ、其重ナルモノハ製鐵所費、國有林野經營費、航路擴張費等テアツテ、一般ノ產業ニ對スル金額ハ極メテ僅少ナモノデアリマス、軍事ニ關スル諸費モ陸海軍ノ本省費ノ如キハ是ニハ入レテナインデアリマス、此三割四分三厘九毛ハ歲出總額ニ對スル軍事費トシテ、マタ餘裕ガアルト云フ議論モアルヤウニ聞イテ居リマスガ、是ハ一概ノ歲出ノ總額ト軍事費ノ割合ノミヲ以テ論スルコトハ出來ナイト考ヘル、國力ノ關係即チ我國ノ租稅ノ負擔ノ有様ハ重キカ、輕キカ、輸出入ノ關係ハ如何ナル、我國力ノ有様ハドウテアルカト云フコトカラ見ナケレバ、唯各國ノ歲出總額ト、軍事費ノ割合ノミヲ以テ、我が國ノ軍事費ハ未ダ餘裕ガアルト云フ事柄ハ、少シク失當ナ見デハナカラウカト本員ハ信ズルノデアリマス、「簡單ニ願ヒマス」「ト呼フ者アリ」モウ大方濟ミマシタ(モウドノ位掛リマス)ト呼フ者アリモウ少シテ濟ミマス、元來國防ノ必要ハ諸君御互ニ感ズルトコロニアリマス、國防ナルモノハ所謂軍備ノミヲ以テ國防ニハナラナインデアル、國力ガ之ニ伴ハナケレバナラス、寧強兵が先キカ、富國ガ先キカ、國富ンデ始メテ兵強キヲ得ル、國貧ウシテ、兵ノミ獨リ強キ國家ノアツタ實例ノナインヲ見マスレバ、今日ノ我帝國ハ軍事ノ擴張ヨリハ、國力ノ發展ニ努メ、國力ノ充實ニ上下官民一致シテ努メナケレバナラナイモノデアルト考ヘル、是ハ大ニ慎マナケレバナラヌ問題デアルト考ヘマスルガ、之ニ對スルモノハ認メルが、其病源ハ過喫シテ、胃腸ヲ害シテ居ルノデアル、ソレダカラシテ漫リニ滋養物ヲ與ヘテモ、之ヲ消化スルノ力ガナイカラシテ、却テ衰弱ニ陷ル虞ガアル、故ニ外科的療養ヲ用井ルコトヲ要セナイ、内科的治療若クハ自然療法ニ依リテ漸次恢復セシムルノシテ居ルカト云フコトヲ見マスレバ、我國ノ經濟狀態ハ健康體デハナイ、病體デアルコトハ認メルが、其病源ハ過喫シテ、胃腸ヲ害シテ居ルノデアル、ソレダカラシテ漫リニ滋養物ヲ與ヘテモ、之ヲ消化スルノ力ガナイカラシテ、却テ衰弱ニ陷ル虞ガアル、故ニ外科的療養ヲ用井ルコトヲ要セナイ、内科的治療若クハ自然療法ニ依リテ漸次恢復セシムルノマデ六項ノ原因が果シテ工業不振ノ原因ナリト致シマスレバ、此原因ニ對シテ救濟策外ニ手段ガナイト云フコトヲ言ハレテ居リマスルガ、私ノ診察スルトコロニ依レバ、帝國ノ現狀ハ此ノ如ク無爲無策ニシテ自然ノ成行デ、我輸入國ガ輸出國ニナルコトハ出來ナイト信ズルガタメニ、敢テ之ヲ問ハント欲スルノデアリマス、以上述ベマシタ此イヨリヘマデ六項ノ原因が果シテ工業不振ノ原因ナリト致シマスレバ、此原因ニ對シテ救濟策ヲ執ラナケレバ、我工業ハ發達シナイト考ヘル、工業不振ノ原因ニ付テノ攻究が積ミマスレバ、進シテ商業ノ機關、即チ其生產品ヲ捌クトコロノ方法手段モ必要ナノデアリマスガ、今ノトコロハ工業ハ進シテ、商業が進マヌ又其製品ノ販路ニ苦シテ居ルト云フトキデシマスレバ、今ヨリ大ニ注意ヲ拂ハナケレバ、唯勤儉貯蓄位ニ此輸出入ノ關係ヲ變ズルコトハ出來ナイト信ズルガタメニ、敢テ之ヲ聽カント欲スルノデアリマス、モウ是ハ簡単ニシテシマス、四ハ政府ハ支那印度及南洋諸島ニ對スル貿易ニ關シ如何ナル方法手段ヲ講シ如何ナル政策ヲ實行セラレッ、アリヤ殊ニ支那動亂ニ際シ我在清領事及商務官ハ果シテ適當ナル注意ヲ拂ヒ機宜ニ適切ナル處置ヲ行ヒ我が當業者ニ對シ如何ナル利便

ヲ與ヘラレタルヤ其ノ事實如何」此通リデアリマス、我工產品ノ販路ハ支那及印度、南洋諸島デアリマシテ、歐羅巴ハ我工產品ノ市場デハナイト信ズルノアリマス此方面ニ對スル我外交、我生產品販路ニ對スル政策ニ付テハ、獨リ當業者ニ委スルノミナラズ、國家ハ一定ノ方針ヲ以テ、一定ノ政策ヲ實行スル必要ガアルト考ヘマスルガ、今日マテ協約ニ何ガタメニ我帝國ハ加入スルコトが出來ナイカ、之ニ均霑スルコトが出來ナイカ、是ハ大ニ外務大臣ノ意見ヲ聽カント欲スルノアリマス、又我在外領事ハ何が故ニ通商貿易ニ關スル通信ヲ商業會議所其他營業者ト直接ニ通信ヲスルコト何が故ニ許サナカ、領事ノ通信ハ外務省ニ來テ、農商務省ニ回シテ、サウシテ後初メテ營業者ノ手ニ入ルノデアルガ、ソレハ歷史ヲ編纂スルニハ、多少足シニナルカモ知レマセヌガ、商業上ノコトニ付テハ何時モ後トノ祭、濟シダ後ニ報告が來ルノデアル、殊ニ此清國動亂ニ付テハ此結果ハ政治、經濟、風俗、習慣上ニハ一大變化ヲ起シマシテ、我國品ヲ需用スルコトモ、甚ダ多イト考ヘルノデアルガ、此際ニ於テ我商務官我領事ハ如何ナル態度ヲ執ツタカ、如何ナル處置ヲ執ッタカ、彼ノ漢口ニ於ケル市街ノ恢復ニ對スル物資ノ供給ニ付テハ、如何ナル注意ヲ拂ツテ居ルカ、本員ノ聞クトヨリ依レバ在留人民ノ生命財産ヲ保護セん外ニ何等手ヲ出スコトが出來ナイト云シテ、商機ニ關スル仕事ハ何等シテ居ナイカト云フ事柄ハ、上下擧手攻究シ、且努ムベキハ今日ノ急務デナイカト云フコトヲ本員ハ問ハシタメニ此問題ヲ提出シテ、當路ノ意見ヲ聽カント欲スル次第アリマス

(農商務大臣男爵牧野伸顯君登壇)

○農商務大臣(男爵牧野伸顯君)二谷君ノ質問ニ御答テ致シマス、輸出事業ヲ獎勵致シマスルコトハ、帝國政府ノ一貫ノ主義デ、從來有ユル手段ヲ講シテ、其途ニハ盡シテ居ル積リデアリマス、此四十年間ノ貿易ノ有様ヲ見マシテモ、約百万圓以上ノ輸出品ヲ出シマシテ、今日マテ引續イテ百万圓以上ヲ出シテ居ルモノハ約五十種バカリアリマス、無論其間ニ多少増減ハアリマスケレドモ、大勢ニ於テ百万圓以上ニ達シ、其金額モ概ニ維持セラレテ居ルノミナラズ、年々多少アズ、增額致シテ居ル次第アリマス、是ハ無論政府ノ獎勵ノ力モアリマスルケレドモ、當業者ノ非常ナ勉勵ノ結果デアッテ、決シテ悲觀スベキ有様デハナイト思フ、併ナガラ吾々モ少シ進シニ、是以上ニ成績ヲ見タモ、思ウテ居ルノア、既往若クハ今日ノ現状ニ於テ見マスルト、期待セル程ノ成績ヲ舉ゲテ居ラスト云フコトヲ否認スルコトハ出來ヌノアリマス、二谷君ノ御憂慮ニナルトコロト變ルトコロハナインデアリマス、其十分ナラザル即チ輸出入ノ均衡ヲ保ゲテ居ナイト云フ改良スルタメニ段々御心配ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、或ハ此處ニ掲ゲテ御置キニナルトコロノ事項モ與ツテ大ニ關係ガアラウト思ヒマスケレドモ、又政府ノ見タコロモ一應申

シテ見タインデアリマス、成績ノ十分デナイト云フコトハ第一ニ此帝國ハ原料ニ乏シト云フコトガ、確ニ其原因デアルト考ヘルノアリマス、原料其儘テ輸出致シマスカ、又ハ之ニ加工シテ輸出スルカ、要スルニ大規模ニ産出スルコロノ原料品ニ乏シト云フコトハ、争ハレス事實デアルト考ヘマス、又第二ニハ歐米各國トハ大ニ風俗、嗜好ヲ異ニスル云コトモアルノアリマス、故ニ帝國ヨリ輸出致シマストコロノ商品ハ、多くノ場合ニ於テ特別ニ外國向キヲ製造シナケレバナラスト云フ必要ガアルノアリマス、彼ノ風俗、人情、嗜好ノ異ナッタコロガアルタメニ外國向キノ製品ヲ作ルニハ、餘程ノ注意ヲ要スルノテ、其點ニ於テ或ハ十分ナ注意ガ行キ居カナカッタ云フコトモ、此輸出品ヲ多く出スル云フコトモアルノアリマス、第三ニハ免角御承知ノ通り此商品が輸出シマスト云フト粗製、濫造ト云フコトガ起シテ來ル、又商業上ノ取引ヲ致シテモ、居ルカトモ思フ、殆ド四十年來外國ヨリ又我領事館、商務官等ノ報告ニ依リテモ、殆ドアルト思ヒマスケレドモ、要スルニ此主モナモノヲ舉ケマスト、斯ウ云フコトヲ數ヘナケレバナラスト、思ヒマス、併シ第一ニ申ストコロノ此原料ノ不足ト云フコトハ、今日ノ場合ニ於テ、又將來ニ於テ、之ヲ補フコトガ出來ルト思ヒマスノアリマス、我新領土其他滿洲、清國、南洋、濠洲方面ニ於キマシテハ世界ノ原料國トシテ輸入サレテ居處デ、而モ我ニ距離近ク、大ニ將來此方面ニ於テ我製造業ノ原料——材料ヲ得タイト思ツテ、大ニ望ラ屬シテ居ルノデ、ソレガタメニ其原料ノ種類、供給價格等ニ付テハ精細ニ調査ヲ致シテ居ルノアリマス、是等ノ結果トシテ我當業者ガ是等ノ材料ヲ得ルト云フコトハ、即チ此將來製造業ヲ助クル上ニ大ニ便宜ヲ與ヘルコトアラウ、又實際サウ云フ事情ニナルテアラウト信ズルノアリマス、第二ニ彼我ノ風俗、習慣ノ違フト云フト、彼地ノ消費地ノ事情ト、密接ナ關係ヲ持ツテ來ルト云フコトモ、此彼我ノ間ノ距離ヲ近クスルト云フ結果ヲ來サウト思ヒマスノデ、又政府ヨリハ練習生、觀察員其他囑託員等ヲ彼地ニ出シマシテ、始終商業上ノ傾向等ヲ取調ヘテ居リマシテ、是亦一層彼レノ事情ノ詳悉致ス上ニ於テ、多大ノ便宜ヲ得ルコトデアルノアリマス、第三ニ粗製、濫造、約束破毀ト云フ如キコトハ、甚ダ困ツタモノデアリマスケレドモ、是モ御承知ノ通り大工業ニ於テハ、サウ云フ弊害ハ少ナインデアル、寧ロ小工業——小工業ニ於テサウ云フ弊多ク見ルノアリマス、是ハ其事業ノ性質トシテ、或ハ免レヌコトカト思ヒマスガ、小工業ニ付キマシテハ專ラ検査ノ法ヲ將來用井ナケレバ——擴張シナケレバナラヌデアラウト考ヘルノアリマス、干涉ハ敢テ好ムコロアリマセヌケレドモ、經驗ニ依リマシテ、又當業者等ノ意向ヲ酌ミマシテモ、ハリ此検査ト云フガ如キ申合セモ、一層之ヲ厲行シ、監督ヲ周到ニ致セバ、是亦效能ガアルト考ヘルノアリマス、尙將來此輸出業ニ付テ大ニ望ラ屬シマスノハ、諸君モ御承知ノ此新關稅ノ徵キアリマスガ、此新關稅ハ即チ二十有餘年モ掛ツテ、國民ノ希望モアリ、漸ク昨年ヨリ實施シタノアリマスガ、此關稅ノ保護ト云フコト

ハ政府ニ於キマテシハ多大ノ望ラ之ニ屬シマス、昨年以來實施ニナツテ、未ダ十分ノ成績ヲ見ルコトモ出來マセヌケレドモ、凡ソ半期以上ノ輸出上ノ有様ヲ見マスノニ、或ハ製造業ノ狀況ヲ察シマスノニ、税關ノ保護ノタメニ、或ハ新ニ事業ヲ計畫スル新事業ヲ起ス、又今マテ殆ド引合ハヌタメニ倒レントシテ居ル事業モ蘇生シアルノデアリマス、一二三年モ經チマシタナラバ、斯ウ云フ方面ノ動キガ十分表面ニ現ハレテ來テ、大ニ輸出ノ額ヲ殖ヤシ、又内地品ヲ需用シテ、外品ニ代ヘテ濟ムト云フコトモアルテアラウト思フノデアリシテハ無論大體ニ於テ輸出ヲ獎勵シナケレバナリマセヌガ、現ニ農商務省ノ所管ニ於キマシテハ農業、商業……（「簡單ニ願ヒマス」謹聽、今日ノ演説ハ出來ガ宜イト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 静肅ニ願ヒマス

○農商務大臣（男爵牧野伸顯君） 工業、山林、水產、皆政府ニ營シ居ル事業ニアリマスガ、是等ノ事業ヲ營ム上ニ於テモ、輸出增加ト云フコトヲ始終主眼ニ置イテ眼中ニ置イテ營シテ往キマシタナラバ、是亦其現ハレル結果ト云フモノハ、輸出ノ増額ト云フコトニ來ルデアラウト思フノデアリマス、要スルニ政府ハ何處マテモ輸出ヲ獎勵致ス積リデアリマス、併ナガラ是ハヤハリ一般ニ内地品獎勵、輸出ヲ增加シタ伊云フ觀念ハ、一般ニ持シテ貴ハナケレバナラスト思ヒマス、製造家ノ話ヲ聞キマシテモ、一番最有效ナル保護ノ途ハ何カト云ハズ文ヲ澤山受ケルコトガ一番效力ノアル保護ノ方法ニアルト云フコトヲ申スノデ、是ガ當業者ノ境遇ヲ誠實ニ言ヒ現ハシタモノニアラウト考ヘルノデアリマス、然ルニ免角外國品ト云フモノガ、一般ニ歡迎セラレル、是ハ日本ハカリヂヤナリ、外國デモヤハリ外國品ト云フモノハ、歡迎サレルノデアリマス、舶來品ト云フコトハ一種ノ優待ノ條件ニナツテ居ル、大ハ機械ヨリ、小ハ化粧品、食料品マテモ、外國品ト云フト歡迎セラレテ居ル有様デアル、或ハ製造が精巧デアツテ、使易イト云フ事情モアリマセウガ、併ナガラ大抵ナモノハ、今日ハ内地デ出來ルノデアリマス、技術ノ點ニ於テモ、大抵ナモノハ出來ルノデアリマス、唯之ヲ獎勵スルトセヌニアルノデアリマス、少シク面倒ヲ見テ獎勵ヲスルト云フ氣ニナツテ、一般ノ國民が引立テルト云フ氣ニナレバ、其註文ダケデ、其需用ダケデ、非常ナ保護ニナルノデ、技術ノ點ニ於テ非常ナ精巧品ハ別ト致シマシテ、大抵ナセノ内地デ辦スルノデアリマス、此事情ガアル以上ハ、成ベタ舉國一致ニナツテ、内地ニ品ノ獎勵ト云フコトニ心懸ケテ貴ヒタ、政府ニ於テモ其政費支辨ノ上ニ於テ、内地ニ於テ辦ズルモノハ成ベク内地ニ於テ之ヲ調達シタ伊ト云フ考デアリマス、今マテモサウ云フ積リテアリマシタガ、今日ノ財政ノ場合ニ於テハ、倍其方針ヲ執ルト云フ希望ニアル、第一ノ御質問ニ付テハ、大抵質問ノ御趣意ハ御述ニナリ、又ニ對スル御答辯モアルヤウニ考ヘマシタノデアリマスガ、唯農產品工產品何レニ重キヲ置クカ、孰レヲ以テ將來輸出ノ見込立タルカト云フコトハ甚ダ申シニクイコトアツテ、工產品即チ農產品ヲ以テ之ニ加工シテ初メテ工產品ニナルノデ、其分界ハ餘程困難デアル思フ、輕重ヲ言フベキ次第ハカラウト思ヒマスガ、併ナガラ日本ノ十年間ノ貿易ノ趨勢ヲ見マスト、工產品が非常ナ割合ヲ以テ增加シテ居ル、ソレカラ農產品ノ輸出ト云フモノハ格別増サナハ、工產品ノ輸出ハ非常ニ殖エテ居ル、又工產品ノ輸入ハ減シテ居ル、十年間ノ經過ヲ見マスト、農產品即チ原料品ノ輸入ト云フモノガ、非常ニ殖エテ居ルト云フ趨勢デアリマス、是ハ先刻御述ニナツト同様ノコトデアラウト考ヘマスガ、此趨勢ハ即チ將來大ニ工業製造事業ニ帝國ノ便利ナ又已ムヲ得ナイ工產品ヲ大ニ獎勵セネバナラスト云

フ事情ヲ認メルコトが出來ルト思フノデ、政府ニ於テモ工產品ニ付テハ特ニ力ヲ用井ナケレバナラズ、現ニ關稅實施後、此輸出ノ工產品ノコトニ付キマシテハ、特ニヨロク施設ヲ致シテ居ル、次第ニアリマス、第三ノ段々事項ヲ御述ベニナツテ居リマスガ、是ハ專ラ稅制、財政ノ關係ノコトヲ御述ベニナツテ居ルヤウニ考ヘマス、之ヲ以テ今日ノ輸出不振ノ原因ニナツテ居ルヤウニ考ヘマスガ、多少サウ云フコトモアラウト思フノデアリマス、成ルベク租稅ノ負擔ヲ輕クシタイ、又財政ノ計畫ヲモ失當デナイヤウニシタイ、此邊ニ付テハ十分マダ改良ノ餘地ガアルダラウト考ヘルノデアリマス、併ナガラ餘程是ハ大キナ問題ニアリマス、唯今此演壇ニ於テ一々御述ベニナツタ事實ニ對シテ、御答辯スルコトハ出來マセヌノデアリマスガ、要スルニ政府モ大體ニ於テハ是等ノ點ニ付テ缺點ヲ認メテ居ルノデ、即チ稅制、財政ノ一ツノ目的ガラ、昨年來調查ヲ始メテ居リマシテ、現ニ之ヲ實行シツ、アルノデアリマス、遠カラズ中ニ其成績セ舉ルコトニアラウト考ヘテ居リマス、要スルニ御尋ノ如キコトハ調査中ノ事項ニ屬スルノ多イモノト考ヘマスカラ、別段一々細目ニ瓦ツテハ申上ゲマセヌ、官營事業ノコトニ付テヨシト一言申上ゲテ置キタイノハ、製鐵所ハ特別ニ政府ニヤラナケレバ出來ヌト云フヤウニ答辯シタヤウナ御話ニアリマシタカ、是ハ一ツ正誤シテ置キマセヌト、サウ云フ意味デ御答致シマシタ積リテハアリマセヌ、此軍器ハ營利事業デハ餘程困難デアルト云フコトハ、軍器ハ唯時々其必要が起ルノデアツテ、繼續シテ極シテ、或ル時期ノ間、ズット需用ノ起ルモノデハナインテアリマス、一年ノ中ニハ遽ニ需用が起リマス、又マルデ數箇月ノ間製造ノ必要ノナイン時間モアルノデアリマス、サウ云フコトハ民業ニ於テ營ムト云フコトハ餘程困難デアル、營利ガ主デナクテ、繼續シテ極シテ、或ル時期ノ間、ズット需用ノ起ルモノデハナインテアリマス、一年ノ中ニハ遽ニ需用が起リマス、又マルデ數箇月ノ間製造ノ必要ノナイン時間モアルノデアリマス、サウ云フコトハ民業ニ於テ營ムト云フコトハ餘程困難デアル、營利ガ主デナクテ、經濟的經營が主デナクテ、軍器ノ必要ト云フヨリカ、其仕事ノ必要が起ルノデアツテ、餘程之ヲ民業トシテ即チ、算盤ヲ執ル事業トシテハ、困難な事業デアル、政府ノ事業トシテアリマスレバ、何時デモ政府ノ勝手次第ニ出來ル、軍事上ノ必要ニ應シテ、是ガ輒ク出來ルト云フ意味デ申シタノデ、或ハ誤解ガアツカモ知レヌト思ヒマス、第四ノ南清其他南洋方面ノ貿易上ノ方針ニ付キマシテハ質問者ノ御洩シナツタ御意響ト、格別變ツタコトハナイト思フ、政府ニ於キマシテハ手近ナ支那、印度、南洋方面ヲ以テ將來大ニ有望デアルト考ヘテ居リマシテ、現ニ練習生、商務官、囑託員ナドモ、即チ販路擴張原料品ノ取調其他ニ付キマシテ、是等ノ人々ヲ派遣致シテ居リマスガ、此地方ニ最モ多ク派遣致シテ居ルノデ、即チ力ヲ用井テ居ルコトハ此手近ナ接ノ國々ニ最モ力ヲ用井テ居ルソレヲ以テモ此方面ノ將來貿易上有望ナル見込ラ持シテ居ルコトハ、分ルテアラウト思ヒマス、現ニ是等機關ノ動ニ依テ商品ノ市場ニ上シテ、將來大ニ發達スルテアラウ、貿易ガ擴張セラレルニアラウト云フ見込モ大デアルノデアリマス、概略是ダケノコトヲ申シテ置キマス

○早速整爾君 議長、チヨット
○議長（大岡育造君） マダ答辯が終リマセヌ——石井外務次官

（政府委員男爵石井菊次郎君登壇）
○政府委員（男爵石井菊次郎君） 質問第四項ニ付テ私ヨリ添ヘテ答辯ヲ致シマス、先づ露清陸路貿易ニ均霑スルト云フコトニ付テ御質問ニ對シテ、一言申上ゲマスルガ、一昨年韓國併合ノ當然ノ結果ト致シマシテ、朝鮮ヨリ満洲ニ瓦ル陸路貿易ハ西比利亞、滿洲ノ間ノ陸路貿易ノ規定ニ均霑シ得ルトコロノ權利ガアルト云フコトヲ政府ハ確信シテ居ルモノデアリマシテ、此確信ヲ以テ併合後間モナク清國政府ニ交渉ラ開キマシタコロガ、清國政府ニ於テハ一ハ露清間ニ其條約ノ改正ノ議ガアルト云フコト、二ハ又西比利亞ト満洲ノ間ニ於ケル關係ト、朝鮮満洲ノ間ニ於ケル關係ハ、地勢上

ニ於テ、大ナル差異ガアルト云フ等ノ理由ヲ以チマシテ、我要求ニハ應ズルコトハ得ナイト。云フ回答ヲ申出タノデゴザイマス、サリナガラ政府ハ是等ノ理由ハ固ヨリ承認スルコトハ得マセヌノテ、交渉ヲ繼續シテ居ル中ニ此昨年以來ノ騒亂トナツタ次第デゴザイマシテ、政府ハ併機会ノアルヲ待シテ、此交渉ハ繼續スル積リデゴザイマス、次ニ支那動亂ニ際シマシテ在清國我領事官、商務官ハ果シテ機宜ニ適シタ處置ヲ執リツ、アルヤ否ヤ、アルナラバ其事實ヲ示セト云フ御質問デアリマスルガ、我領事官及商務官ハ専心誠心此時局ニ際シマシテ、及ブ限リヲ盡シテ適當ノ研究及彼地ニ渡船スル我同胞ニ對シテ便宜ヲ與ヘルコトヲ努メテ居ル次第ニアリマス、昨年十月此騒亂ノ起ルヤ、政府ハ直ニ我領事官、商務官ニ訓令ヲ與ヘマシテ、此事件ノ我對清貿易ニ及ボストコロノ影響ト、及之ニ應シテ如何ナル手段ヲ執ルノ必要ガアルカ、又我當業者ガ之ニ對應スルノ手段ヲ講ズル上ニ於テ、如何ナル参考ナリ材料ヲ供スルコトヲ得ルカ、是等ノ事項ニ付テ十分ナル調査ヲ遂ゲテ、迅速ニ之ヲ報告シロト云フ訓令ヲ出シテ置キマシテ、此訓令ニ從シテ領事官、商務官ハ各々任地ノ各方面ニ出張視察ヲ遂ゲマシテ、又内外當業者ト接觸ヲ保チ、此事變が支那人民ニ與ヘタルコロノ風俗、慣例、商取引等ニ變化ヲ及ボシ、従ツテ新商品、新需用が起ル、其新需用等ノ起ル傾向及將來ノ見込等ニ付テハ出來ルダケ詳細ナル報告ヲ致シマシテ、是等ノ報告ハ隨時或ハ官報或ハ通商彙纂、若クハ新聞紙等ニ發表致シマシテ、尙其當業者ニハ特ニ新説ト見タルコロノモノハ、是ハ騒亂ノ我經濟界ニ及ボス影響ト題シマシテ、對清貿易ニ密接ノ關係アル各方面ニ漏れナク配付スルコトヲ努力居リマシタ、併ガラ是等ノ報告及調査ハ今日是ハ完結シタトハ申シマセヌ、テ領事官及商務官ハ益、此調査ヲ進メマシテ、今日尙續タト其報告ハ

本省ニ達シツ、アル次第ニアリマス、政府ハ此報告ノ達シ次第、尙引續キ通商彙纂其他ノ方法ヲ以テ世間ニ發表致シマシテ、實業家ノ裨益ニ資スル積リデゴザイマス、尙御質問ガアリマシタカラシテ、此機會ヲ以テ一言申上ゲテ置キマスノハ、此領事及商務官ト直接通信ヲ許サル理由ハ、ドウデアルカト云フ御質問ガアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ從來幾度カ御質問ノアタコトモアリマスルガ、當時ノ事情トシテ直接通信ヲ許スト云フコトハ煩ニ堪ヘナリ、事實行ヒ得ザルコトニアリマシタノデ、サリナガラ其後追々便法ヲ研究致シマシテ、此事變ノ起タル以後デアリマス、過日來或ル範圍ノ下ニ相接通信ヲ許スコトニ致シマシテ、此事出來ルタケハ——固ヨリ是ハ手數ヲ増ス、次第ニアリマスルガ、當時ノ事情トシテ直接通信ヲ云フコトハ實行スルコトニナル次第ニアリマス、此事ヲ添ヘテ申上ゲテ置キマス。

○佐々木安五郎君　此場合議事ノ進行ニ付テ議長へ希望ヲ述ベマス、本員ハ對支那外交ノ質問ニ付テ八箇條ノ質問書ヲ去ル三月九日質第二三號ヲ以テ提出シテ置キマシタガ、爾來質問ノ定日ヲ經ルコト一、臨時質問ノ日ヲ經ルコト一、即チ一回ノ質問ノ日ヲ經ル日ニ至リマシタケレドモ、未ダ質問ノ演說ヲスルノ機會ニ到達セヌコトヲ遺憾ト致シマス、是ハ定メティロ——議事ノ御都合モアルコトデゴザイマセウカラ、其御都合ニ向シテ彼此申スノデハアリマセヌガ、元來我外務當局ト云フモノハ外交ノ下手ナ濟ニイツテモ内交ノ方ニハ甘イ遺緑リヲヤル〔何ノ問題グト呼フ者アリ〕質問ニ向シテ——ムヅカシイ質問が出ルト、成ベク繰延ベ繰延ベト云フコトニシテ置イテ、議會ノ會議ノ書面デ答ヘルト云フコトヲ是マデ度々ヤラレテ居ル前例ガアル、是ニ於テ輿論ヲ尊重

シテ、立憲有終ノ美ヲナサルト自ラ稱セラル、政友會ガ、内閣ヲ取ラレタ今日ニ於テハ、左様ナコトハアルマイト存ズルケレドモ、質問ノ定日ヲ減シテ、火曜日ノ一日ニシタト云フコトモ、政友會ノ御勸キデアル、シテ見レバ此質問ト云フモノノ權利ヲ何處マテ尊重サレルカト云フコトハ疑問デアル、之ニ於テ私ハ此次ノ火曜日ニハドウシテモ質問ヲサセテ貨ハナケレバナラス、同時ニ其質問ノ答辯ハ外務大臣自ラ壇上ニ現ハレテ遺憾ナク吾ミガルカト云フコトハ疑問デアル、之ニ於テ私はハ此次ノ火曜日ニハドウシテモ質問ヲサセテ貨問フトコロニ答ヘテ貴ヒタイト思ヒマス、此事ヲ希望シテ述べテ置キマス——異議ガアラウ皆ハナイ

○議長(大岡育造君)　佐々木君ニチヨット申シテ置キマスガ、議長ハ成ベク此質問者ニ満足ヲ與ヘタイタメニ定日ノ質問日ノ外ニ本日モ臨時ニ質問ノ日程ヲニシマデ加ヘテ置イタヤウナ譯デアル(佐々木安五郎君「ソレハ知テ居リマス」ト呼フ)黙シテ居リナサイ、終ラヌ中ニ御返シニナツテハ行カヌ——ソレデ尙質問ノ提出シテアリマスルモノガ、凡ソ十バカリアリマス、而シテ時間ヲ縫合セテ順次ニヤツテ行クノ日アリマスカラ、御要求がナクテモ、順序ヲ逐シテ、此次ノ番ニ回シテ居リマスカラ、御安心ナサルヤウニ致シタクノデセウカ

○佐々木安五郎君　火曜日以外ニヤツテ貴ヒタイト云フコトヲ議長ニ望シテモ、出來ヌラ、同時ニ政府委員ノ説明ヲ許シマス、橋本大藏次官

第一　日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

日本勸業銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第三十五條ノ二　日本勸業銀行ハ券面金額二十圓以下ノ勸業債券ヲ發行ス

テハ從來幾度カ御質問ノアタコトモアリマスルガ、當時ノ事情トシテ直接通信ヲ許スト

云フコトハ煩ニ堪ヘナリ、事實行ヒ得ザルコトニアリマシタノデ、サリナガラ其後追々便法

ヲ研究致シマシテ、此事變ノ起タル以後デアリマス、過日來或ル範圍ノ下ニ相接通信

ヲ許スコトニ致シマシテ、此事出來ルタケハ——固ヨリ是ハ手數ヲ増ス、次第ニアリマスルガ、當時ノ事情トシテ直接通信ヲ云フコトハ實行スルコトニナル次第ニアリマス、此事ヲ添ヘテ申上ゲテ置キマス。

○佐々木安五郎君　此場合議事ノ進行ニ付テ議長へ希望ヲ述ベマス、本員ハ對支

那外交ノ質問ニ付テ八箇條ノ質問書ヲ去ル三月九日質第二三號ヲ以テ提出シテ

置キマシタガ、爾來質問ノ定日ヲ經ルコト一、臨時質問ノ日ヲ經ルコト一、即チ一回ノ

質問ノ日ヲ經ル日ニ至リマシタケレドモ、未ダ質問ノ演說ヲスルノ機會ニ到達セヌコトヲ遺憾ト致シマス、是ハ定メティロ——議事ノ御都合モアルコトデゴザイマセウカラ、其御都合ニ向シテ彼此申スノデハアリマセヌガ、元來我外務當局ト云フモノハ外交ノ下手ナ濟ニイツテモ内交ノ方ニハ甘イ遺緑リヲヤル〔何ノ問題グト呼フ者アリ〕質問ニ向シテ——ムヅカシイ質問が出ルト、成ベク繰延ベ繰延ベト云フコトニシテ置イテ、議會ノ會議ノ書面デ答ヘルト云フコトヲ是マデ度々ヤラレテ居ル前例ガアル、是ニ於テ輿論ヲ尊重

第三十五條ノ二　日本勸業銀行ハ賣出ノ方法ニ依リ勸業債券ヲ發行セムトスルトキハ賣出期間及商法第二百三條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ヲ公告スヘル事項ヲ公告スヘシ

第五十六條中「第三十四條」ノ下ニ「又ハ第三十五條ノニ」ヲ加フ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三 農工銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

農工銀行法中左ノ通改正ス

第二十六條ノ二 農工銀行ハ券面金額二十圓以下ノ農工債券ヲ發行スル場合ニ於テハ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ賣出期間ヲ定ム

ルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ヲ作ルコトヲ要セス

第一項ノ規定ニ依リ發行スル農工債券ニハ商號及商法第百七十三條第一號、第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス
商法第二百四條ノ三第一項ノ期間ハ農工債券ノ賣出期間満了ノ日ヨリ之ヲ起算シ其ノ登記スヘキ事項ハ賣出期間内ニ於ケル農工債券ノ賣上總額及商法第二百七十三條第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項トス
賣出ノ方法ニ依リ農工債券ノ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請書ニハ賣出期間内ニ於ケル農工債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第十二條第二項ヲ左ノ如ク改ム

債券ハ券面金額ヲ十圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

債券ヲ發行スル場合ニハ商法第百九十九條ノ規定ヲ適用セス
第一項ノ規定ニ依リ發行スル債券ニハ商號及商法第二百七十二條第一號、第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス
商法第二百四條ノ三第一項ノ期間ハ債券ノ賣出期間満了ノ日ヨリ之ヲ起算シ其ノ登記スヘキ事項ハ賣出期間内ニ於ケル債券ノ賣上總額及商法第二百七十三條第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項トス
賣出ノ方法ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請書ニハ賣出期間内ニ於ケル債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十二條ノ三 北海道拓殖銀行ハ賣出ノ方法ニ依リ債券ヲ發行セムトスルトキハ賣出期間及商法第二百二條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ヲ公告スヘン

第二十七條中「第十二條」ノ下ニ「又ハ第十二條ノ三」ヲ加フ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員橋本圭三郎君登壇)

○政府委員(橋本圭三郎君) 御承知ノヤウニ改正ニナリマシタ 商法ニ據リマスト、會社ガ社債ヲ募集致シマストキニハ申込書ヲ取ルト云フコトニナシテ 居リマス、而シテ勸業銀行、農工銀行若クハ北海道拓殖銀行ノヤウナ銀行カラ出シマス 小サイ債券ニ付テ一々申込書ヲ徵シテ居リマスト、會社ノ方デモ不便ニアリマシ、又ハ其債權ヲ引受ケル人ノ方ニモ不便ニアリマスニ依ヅテ、之ニ取除ラズ拵ヘマシテ、雙方便利ヲ計リタイト云フ趣意ニ外ナラヌノアリマス、ソレデニ三箇條ノ修正モアリマスケドモ、ソレハ其振出ラズスト云フコトニナルト、當然ノ結果トシテ起ル修正ニアリマス、ドウゾ成ベク早ク御協賛ヲ願ヒタ

○恆松隆慶君 唯今議題ニナシテ居リマスノハ、第一ヨリ第六マデ一括シテ議題トナシ、尙此付託スベキ委員ヲ九名トシ、議長指名ニナシコトヲ請ヒマス

○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

第一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ三案トモ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ可決致シマシタ、日程第七、朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遣族扶助料ニ關スル法律案ヲ議題ト致シマス、江木政府委員

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル

第七 フ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遣族扶助料ニ關スル法律案(政府提出)

助科ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官

文官判任以上ノ者ノ退隱料及遣族扶助料ニ關スル法律案

第一條 朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者及其ノ遺族ハ本法ニ依リ退隱料及遣族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遣族扶助料法ハ第一條、第二條、第九條、第二十條及第二十一條ヲ除クノ外前條ノ學校職員及其ノ遺族ニ之ヲ準用ス但シ同法中文部大臣ノ職務ハ朝鮮總督、府縣知事ノ職務ハ道長官之ヲ行ヒ同法第十條及第十六條中府縣郡市町村トアルハ俸給ヲ支辨スル團體ニ該當ス

第三條 明治二十九年法律第十三號第二條及第四條ノ三ノ規定ハ之ヲ第一

條ノ學校職員ニ準用ス

第四條 第一條ノ學校職員ノ在官年月數ト文官判任以上ノ教官、教育事務

ニ從事スル文官、文官判任以上ノ待遇ヲ受クル學校及圖書館ノ職員並小

學校本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル公立幼稚園長及保姆ノ在官又ハ在

職ノ年月數トハ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法、府縣立師範

學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、在外指定學校職員退

隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號、明治三十三年法律第

七十七號、明治四十一年法律第三十五號及本法ニ依ル退隱料、扶助料及

扶助金ノ支給ニ關シ相互通算ス

前項ノ規定ニ依リ通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及通算ニ關スル規定

ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 明治四十年法律第四十八號ハ之ヲ第一條ノ學校職員ニ準用ス

前條ノ規定ニ依リ文官判任以上ノ教官又ハ教育事務ニ從事スル文官ノ在

官年月數ヲ第一條ノ學校職員ノ在職年月數ニ通算スル場合ニ於テハ其ノ

朝鮮ニ在勤シタル年月數ハ之ヲ第一條ノ學校職員ノ朝鮮ニ於ケル在勤年

月數ト看做ス

附則

本法ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ國庫納金ニ關スル規定ヲ除クノ外本法施行前退官シタル者又ハ本法

施行前死亡シタル者ノ遺族ニモ之ヲ適用ス

朝鮮ニ於ケル在外指定學校職員ノ明治四十年四月二十三日以後ノ在職ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ第一條ノ學校職員ノ在官ト看做ス

(政府委員江木翼君登壇)

○政府委員(江木翼君) 唯今提案ニナツテ居リマストコロノ朝鮮ニ於ケル學校職員ノ退隱料竝ニ遺族扶助料ノ法律案ノ理由ヲ簡單ニ辯明致シマス、從來韓國が存在シテ

朝鮮ニ於ケル在外指定學校職員ノ明治四十年四月二十三日以後ノ在職ハ本

法ノ適用ニ付テハ之ヲ第一條ノ學校職員ノ在官ト看做ス

依リマシテ相當ノ保護ヲ加フルノが必要ナリト認メ、本案ヲ提出シタ次第アリマス、御審議ノ上御協賛ノランコトヲ希望シマス

○議長(大岡育造君) 次ノ日程ニ移リマス

○恆松隆慶君 此題目ノ長イ法律案アリマスガ、此付託スベキ委員ハ九名トシテ、請長指名アランコトヲ請ヒマス

○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議アリマセバカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ可決

○恆松隆慶君 此場合日程ヲ變更シテ朝鮮病院及濟生院特別會計法案、政府提出来案ヲ議題トシテ議セラレントコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 此場合日程ヲ變更シテ朝鮮病院及濟生院特別會計法案、政府提出来案ヲ議題トシテ議セラレントコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 此場合日程ヲ變更シテ朝鮮病院及濟生院特別會計法案、政府提出来案ヲ議題トシテ議セラレントコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ日程ハ變更サレマシタ即チ朝鮮醫院及濟生院特別會計法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長渡邊修君

朝鮮醫院及濟生院特別會計法案(政府提出来案)

第一讀會ノ續(委員長)

(渡邊修君登壇)

○渡邊修君 本案ニ對スル委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、朝鮮總督府ノ醫院及朝鮮ノ各道ニ在ル慈惠醫院及濟生院ヲ會計ヲ通シマシテ、一ノ特別會計ニシテイト云ノ案アリマス、之ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテ審議ヲ致シマシタ結果、一箇ノ希望ヲ附加ヘマシテ委員會ハ可決致シマシテ、其希望ハ一ハ此濟生院ト云フモノハ財團法人ニナツテ居リマシテ、現ニ御下賜金其他ノ資金三百四十八万圓持ツテ居ル、所

が此度ハ別ニ總督府ニ濟生院ヲ拵ヘテ、サウシテ其財團法人ニ金ラ持タシテ、世話ハ一切總督府ニヤウト云フ案アリマシテ、チヨット濟生院ガ一ツアリマスヤウナ形テ、甚ダヤ

カシイケドモ、現ニ在ルトコロノ財團法人ノ濟生院ハ其職員モ總テ總督府ノ役人

ガシテ居ルト云フコトデアリマシテ、之ヲ前ノヤウニ財團法人ニシテ置ク必要ガナイカラ、此

事ヲ總督府ニ經理サセル、其他の適當ノ方法テ、成ベク總督府ニ直轄スルヤウニシタナ

ラバ宜カラウト云フ希望アリマス、モウ一ツ希望ハ朝鮮各道ニアルトコロノ慈惠醫院ノ

院長ハ悉ク軍醫ノ古手デアル、普通ノ醫者ト云フモノハ一人モ採用サレテ居ラスト云フ

コトハ甚ダ宜シクナイ、軍醫ト云フモノハ概シテ兵隊ノ病氣ト云フモノハ大概極シタ病

氣が多イデアルカラ、一般ノ醫者ノヤウニサウ醫者ガ上手デナシ、所が總テ之ヲ軍醫ノ

古手ニミ限ラレテ居ルコトデハ宜シクナイ、ナゼ普通ノ者ヲ用井ナイカト云フコトヲ質問

シタコロガ、ドウモ月給ガ安イカラ普通ノ醫者來ナイグラウト云フ政府委員ノ答辯ニアリマスケレドモ、是ハヤハリ朝鮮ニ在ルトコロノ弊害アルカラ、將來ハ成ベク慈惠醫院ノ院

長ハ軍醫以外ノ醫師モ採用スルト云フコトニシテ貴ヒタイト云フ希望、是等ノ二ツノ希望ヲ以テ委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シタノアリマス、此二箇ノ希望ニ對シマシテハ政府委員モ之ヲ諒ト致シマシテ、必ズ相當ノ考慮ヲ費スト云フコトデアリマシタ、此

之ニ伴フトコロノ學校ノ組織職員ノ資格等ヲ定メタノアリマス、是ニ至テ朝鮮ニ於ケ

ル國立學校ノ組織立ニ職員ノ資格等ノコトハ略、整頓致シテ來タ次第アリマス、之ニ

依リマシテ是等ノ職員ニ對シテ退隱料竝ニ遺族扶助料ヲ與ヘテ、内地、臺灣等ノ例ニ

○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

朝鮮醫院及濟生院特別會計法案
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

確定議

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ 本案ハ讀會ヲ省略シテ委員長報告通ニ可

決確定致シマシタ、日程第九、酒造稅法中改正法律案

第九 酒造稅法中改正法律案(黃金井爲 造君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

報告

○恒松隆慶君 此問題ハ屢々議題ニ上リ、又延期モシテ居リマスガ、成程當業者アハ最モ希望シテ居ルト云フコトデゴザイマスガ、又事實ノ上デ財政ニモ關係スル問題デアリマス、今少シ考慮ヲスル餘地アリト思ヒマスカラシテ、相變ラス延期アランコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ讀會ヲ省略シテ委員長報告通ニ可

訴訟法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長阿部德三郎君

第十 刑事訴訟法中改正法律案(阿部德三郎君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

報告

○阿部德三郎君 此席カラ御報告致シマス、此案ニ對シテハ委員會ニ於キマシテ司法省ノ政府委員ノ意見モ聽取アリマスガ、政府ニ於キマシテハ目下刑事訴訟法ノ改正ニ著手シテ審査ヲナシツ、アルノアリマスケレドモ、未ダ何レノトキニ於テ其事業ガ完成スルカト云フコトハ見据が付カヌノアル、然ルニ裁判所ニ於ケルトヨロ鑑定ノ嘱託が出來ヌト云フコトハ、裁判所ニ於テモ非常ナ不便ヲ感シテ居ルノアルカラ、一般ノ刑事訴訟法ノ改正ニ先づテ、先づ當面ノ必要上此案ニ賛成ヲスル、斯ウ云フ意見デゴザイマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ原案通可決シタノアリマス、デ以上ハ委員長ノ報告デアリマスガ、此機會ニ於テ本員ハ此問題ニ付テ一言辯明ヲ致シテ置キタイトコトガアリマスカラ御許ヲ得タ、本員ハ前回ニ於テ提出ノ理由ヲ當席ニ於テ述べタノアリマスガ、然ルニ官報ノ速記ヲ見マシタコロガ、此問題ハ單ニ區裁判所ニノミ必要ナル問題トシテ速記が出來テ居ルノアル、本員ハ決シテサウ云フ意味デハナイ區裁判所ハ勿論ノコト、地方裁判所ニ於テモ、控訴院ニ於テモ、刑事ノ裁判所ニ於テモ、其階級ノ何レフ問ハズ必要ナル問題トシテ、此案ヲ提出シタノアル、然ルニ官報ノ速記ニハ左様ニ誤ツテ記載サレテ居ルノアリマスガ、本員ハ其意味ヲ以テ述ベタ考テナインアリマスケレドモ、免ニ角左様ニナツテ居ルノアルト云フコトヲ辯明ヲ致シテ置キマス

○恒松隆慶君 本案ニハ別ニ異論モナイヤウニ思ヒマスカラシテ、讀會ヲ省略シテ確定セラレント希望致シマス

○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案モ讀會ヲ省略シテ委員長報告通可

決確定致シマシタ、日程第十一、新二十錢銀貨改鑄ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、森茂生君

第十一 新二十錢銀貨改鑄ニ關スル建議案(森茂生君提出)

新二十錢銀貨改鑄ニ關スル建議案

明治三十九年勅令第百九號ヲ以テ改鑄シタル新二十錢銀貨ハ其ノ形式量目及色彩共ニ五錢白銅貨ニ酷似セルヲ以テ民間其ノ甄別不容易ナラサルニ苦ミ繁劇ナル小賣商ノ如キハ爲ニ取引ノ遲延ヲ來タスノ虞アリ又外國人ニ在リテハ往々新二十錢銀貨ニテ取引ヲ行フコトヲ拒絶スルアリト聞ク故ニ政府ハ速ニ新二十錢銀貨ノ改鑄ヲ行ヒ以テ前記ノ不便ヲ除去セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○議長(大岡育造君) 登壇ヲ希望シマス、往々ニシテ速記ノ誤モ此邊カラ來ルカモ知レマセヌ

○森茂生君 單純ナ問題デアリマスカラ
(森茂生君登壇)

○森茂生君 諸君、本員ガ提出致シマシタ此新二十錢銀貨改鑄ニ關スル建議案ハ既ニ諸君ノ御手許ニ回ツテ居リマス建議案ニ其理由ハ認メ置イタコトニアリマス、誠ニ單純ナ問題デアリマシテ、此我國ノ補助貨幣ト云フモノハ明治初年ノ頃カラ貨幣條例ニ依リマシテ制定セラレタモノアリマス、ソレガ其儘ニ踏襲——囊用セラレテ來テ居リマスガ、此銀ノ直段ガ上ヅテ參リマシタガタメニシテ鑄潰ス虞ガ參リマシタ、又一方ニハ明治二十年貨幣法ノ施行ノ結果、一圓ノ兌換券ト云フモノヲ回収致セラウナコトニナリマシテ、補助貨幣ノ發行高ヲ増加致シタコトニアリマス、ソレガタメニ餘リ大キクテハ差支ヘルト云フコトニアリマスノデ、成ベク小サイ方ヲ鑄ルト致セラウナコトニナツテ參ッタノアリマス、サウ云フヤウナ次第ニアリマシテ、政府ハ明治三十九年ノ勅令ノ第百九號ヲ以テ五十錢銀貨ト二十錢銀貨ノ形ヲ小サク致シテ參ッタモノアリマス、其結果二十錢銀貨ト云フモノハ甚ダ形ガ小サクナリマシタガ、此五錢ノ白銅貨ト云フモノト、誠ニ寸法ト云ヒ、形ト云ヒ、克ク似テ居ルノアルマス故ニ、往々ニシテ之ヲ間違ヘルモノガアルノアリマス、所ガ此小サク小賣人ト云フ方ニ於キマシテハ、之ガタメニ繁激ナル店屋ニ於テハ、非常ナ困難ヲ致スト云フコトヲ耳ニシテ居ルノアルマス、又一方外國人ノ如キハ日本ノ新二十錢銀貨ヲ取引スルト云フコトヲ甚ダ好マナクテ、新二十錢銀貨ノ釣錢等ヲ渡ス場合ニソレヲ拒絶スルト云フヤウナコトハ間々アルノアリマス、故ニ本員ハ此新二十錢銀貨ヲ改鑄セラレ、ト云フコトハ、今日ノ急務アラウト思ヒマスガ故ニ、茲ニ此建議案ヲ提出シタ所以テアリマス、宜シク御贊成アランコトヲ希望致シマス

○恒松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレント希望致シマス

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ恒松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託セラレント希望致シマス

員ニ本案ヲ付託スルコトニ決シマシタ、日程第十一、石油引火點規則改定實施ニ關スル建議案、委員長齋藤一郎君

第十一 石油引火點規則改定實施ニ關スル建議 (委員長報告)

(齋藤一郎君登壇)

(委員長報告)

(塚田啓太郎君登壇)

(委員長報告)

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス、即チ本案ハ可決致シマシタ、日程第十四、田畠地價修正ニ關スル建議案 委員長塚田啓太郎君

第十四 田畠地價修正ニ關スル建議案(塚田啓太郎君提出)

(拍手起立)

(委員長報告)

(一九)

○齋藤一郎君 今問題ニナリマシタ議案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、三月八日ト三月十四日ノ二回委員會ヲ開イタノデアリマス、サウシテ農商務省ノ方ノ側カラモ、内務省ノ方ノ側カラモ、政府委員が出マシテ、之ニ對スル意見ヲ述ベタノデアリマス、サウシテ各委員ハ此案ニ付テハ何レモ皆賛成デアッタ、其中一ツ山田君カラ御註文モアリマスカラ御報告シテ置キタイトコトハ此引火點ヲ直グ嚴重ニ極メラレルト、當業者ハ困ル、ダカラ此規則ヲ政府が次ニ議會ニ出スト云フナラバ、啻ニ引火點問題バカリデナクシテ、容器類等ノ場合ハ之ニ關聯スルモノモ共ニ調べテ貰ヒタイト云フ註文ガアリマシタ、是ハ誠ニ御尤ナコトアッテ、政府當局ニ於テモ、今此引火點ヲ俄ニ嚴重ニ極メルト云フコトニナレバ、サウ云フ方ノ關係者ニ打撃ヲ與ヘルコトモアラウ、又イロノヘ弊害モ起ルコトモアラウ、ソレ故ニソレハ十分調査ヲ致シマスト云フ政府ノ言明デアルノデアリマス、尙附加ヘテ申シテ置キマスカ、各府縣デハ此引火點問題ヲ主トシナイデ一種ノ取締ニ關スル例ヘバ警視廳令若クハ府縣令テ取締規則ガ、出テ居リマス、因テ是ハ全ク區區ニアッテ、統一ガ付テ居ラヌ、此點ニ付テハ古賀政府委員ノ如キハ、ドウシテモ是ハ統一シナケレバナラヌ、ソレ故ニ政府ニ於テモ十分之ヲ取調ヘテ居ル、殊ニ斯ウ云フ建議ガアツ以上ハ、至急ニ取調ニ著手シテ、近キ中ニ此事ニ付テ法案ヲ出シタイ、斯ウ云フコトマテ言ハレテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ現ニ此石油ニ付テハ最モ利害關係ノアル山田君ノ如キモ、雙手ヲ舉ゲテ此建議案ニ賛成ヲセラレタノデアリマス、委員全部之ニ同意ヲシタノデアリマス、ソレ故ニ結果ハ全委員滿場一致ヲ以テ可決シタノデアリマス○恆松隆慶君 委員長報告通り

○議長(大岡育造君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

(齋藤一郎君登壇)

(井上角五郎君登壇)

(拍手起立)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ、委員長報告通り決シマシタ、日程、第十三、日本刀劍鍛冶法維持ノ爲ニ刀劍師養成ニ關スル建議案——委員長井上角五郎君

○議長(大岡育造君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

(井上角五郎君登壇)

(拍手起立)

○井上角五郎君 報告致シマス、委員會ニ於キマシテ宮古啓二郎君又ハ淺羽靖君等ヨリ日本ノ刀劍ニ付テナカヽ、聽クベキ、見ルベキ、議論ガゴザイマシタ、是ハ委員會ノ速記録ニゴザイマスカラ御覽ヲ願ヒマス、本案ハ日本古來ノ士氣ヲ維持シ、今日ノ文弱ニ流レルノヲ防グタメニ必要ナリト認メルカラ、政府ハ相當ノ方法ヲ具ヘテ保護スルが當然アルト云フコトニ委員會ハ決定致シマシタ、此段ヲ報告致シマス

○恆松隆慶君 委員長報告通り

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ——御異議ガナケレバ可決確定致シマス、日程第十五乃至第十七ハ同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 委員長報告通り御異議ガナケレバ、一括シテ議題ト爲シマス、委員長山岡吉君

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(山岡吉君登壇)

(拍手起立)

第十五 鹿児島開港ノ建議案(山岡吉君外七) (委員長報告)

(名提出)

小松島港修築ニ關スル建議案(大久保升)

(委員長報告)

(太郎君外三名提出)

第十六 鐵道建設ニ關スル建議案(吉田虎之助君)

(委員長報告)

(外一名提出)

第十七 鹿兒島開港建議案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、本建議案付キ

マシテハ政府委員ノ出場ヲ請ヒマシテ、數回應答ノ結果、政府委員ノ意向ト致シマシテハ鹿児島ヘ此以前六七年以前ニ千四五百噸ノ船舶ヲ入ル、ノ築港ヲ致シタノデアリマシタガ、其築港ガ今日ハ狹キヲ告ケル程ニ發展シテ居ルト云フ事實ハ認メルケレドモ、

輸入品ハ相當アルケレドモ、輸出品ガ少ナインデアルカラシテ、直ニ同意ハ致シ難イト云フ政府ノ意見デアルノデアリマス、所ガ委員會ニ於キマシテハ兔ニ角鹿兒島ハ即チ築港後今日ノトコロデ

ハ出入船舶ガ二百一十三万噸位ノ統計ヲ示シテ居リマス、又物貨ノ價格上カラ申シマスト四千万圓以上ノ物貨ノ價格ガアルノデアリマス、是等ハ大貿易場タル全國ニ於ケル七八ノ貿易場ヲ除クノ外ニ於テハ、遼邑ナキトヨロノ港灣アリ、其上ニ近キ中ニ此一箇ノ鐵道モ貫通致スコトニナッテ居レバ、自然物貨モ増加スルト云フコトハ是ハ間違ヒナイ事實ニナッテ居ルノデアリマス、ノミナラズ開港致シマシタ上ニハ、此產業ノ自然發達スルト云フコトモ、是亦疑フ容レスコトデアラウト云フコトデアリマス、此ノ如ク有望ナル場所ニ於テハ政府ハ速ニ開港致スト云フコトハ、最モ當然ノコトデアルト云フノ意味ノ下ニ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シタノデアリマス、御贊成ヲ願ヒマス、ソレカラ小松島港修築ニ關スル建議案是ハ、德島市ヲ距ルコト一里半ノ所ニアリマスノデ、唯今七哩ノ鐵道工事中デアリマシテ、今年中ニ貫通致スト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、而シテ神戸ヲ距リマスクト六時間ニシテ達シ、或ハ大阪ヨリ八時間ア達スルト云フ所デアリマシテ、是ハ德島縣ニ於テ唯一ノ港アルノデス、而シテ今日ハ四五百噸ノ船ヲ入ル、コトニナッテ居リマスケレドモ、土地ノ發展ノ必要上、ソレテハ不足ヲ告ケルノデ、即チ唯今ノ目的デハ、千四五百噸ヲ入ル、修築ヲシナケレバ其必要ニ應ズルコトが出來ナイト云フコトニナッテ居リマスガ故ニ、此建議案ヲ提出シタト云フ事實ニアリマス、而シテ是ハ同地ノ縣會デモ、昨年滿場一致ヲ以テ可決致シテ、政府ニハ既ニ建議マテ致シテアルト云フ事實デアルノデアリマス、又政府委員ニ於キマシテモ成ルヘクナシ得ルナラバ基礎ノ大キイコトヲ希望スルノデアル、サリナガラ今日ト云フコトニ至シテハ、財政上ノ都合ガアルカラ直ニ同意ヲ表スルコトハ出來ナイケレドモ、此計畫上ニ付テハ異議ヘナイト云フ政府委員ノ意向デアルノデス、因テ之ヲ相當ナリト致シマシテ、滿場一致ヲ以テ原案ニ可決致シマシタ、ソレカラ鐵道建設ニ關スル建議案、是ハ滋賀縣大津ヨリ分歧致シマシテ、西近江路ヲ經テ福井縣下敦賀港ニ接スル鐵道アリマス、是ガ約四十哩位ノ距離デアリマシテ、此案件ハ昨年二十七議會ニ於キマシテモ、衆議院テハ採用ニナリマシタノヲ貴族院ア之ヲ否決セラレタト云フ案件テアルノデアリマス、而シテ昨年此件ニ付テノ政府委員ノ意見及關係ノ委員等ノ意見ヲ速記錄ニ徵シテ見マスルニ、鐵道院ニ於キマシテモ絕對的之ニ反對シテハ居ラヌノデアリマス、ノミナラズ陸軍省ニ於キマシテハ軍事上此速成ヲ希望シテ居ルト云フコトニナッテ居リマス、故ニ委員會ハ之ヲ此建議案ヲ相當ナリト認メマシテ、是亦全會一致ヲ以テ可決致シマシテ、御贊成ヲ願ヒマス

○恵松隆慶君 三案共委員長報告通り即決ヲ願ヒマス
〔贊成「ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 三案共委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ「ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ二案共ニ可決致シマシタ——日程第十八、決議案——請願委員長武藤金吉君

第十八 決議案(請願委員長提出)

議院ヨリ意見ヲ附シテ送付シタル請願ニ對シ政府ハ次ノ會期ノ始ニ於テ其ノ結果ヲ報告アラムコトヲ望ム

右決議ス

〔武藤金吉君登壇〕

○武藤金吉君 此決議案ハ議院ヨリ送付シタル——意見ヲ附シテ送付シタル請願ニ對シ、政府ハ次ノ會議ニ始メニ於テ其結果ヲ報告アラムコトヲ望ム、右決議ス、是ハ請願委員會ニ提出デアリマシテ、請願ノコトハ直接人民ノ聲ヲ議員が聽キマスル重要ノ問題デアリマシテ、議會開設以來幾多ノ變遷ヲ經テ參リマシテ、今日ハ請願ノ權利ハ非常ニ擴大サレテ居リマス、併ナガラ未ダ此請願ノ效果が全キヲ得テ居リマセヌノデアリマス、試ニ第一議會カラノ大要ヲ申上ゲマスレバ、第一議會開設ノ際ニハ請願ノ件數が一千五百二十六ハアリマシタモノニアリマス、是ハ畢竟一議會ニナリマシテハ、請願ノ數が僅カ二十二件ニ減シテシマッタノニアリマス、是ハ畢竟スルニ憲法ノ——此議院法ニ請願權ヲ認メテアリマスケレドモ、請願權ヲ尊重シナイ結果デアリマス、而シテ第二議會、第三議會ト段々經テ參リマシテ、サウシテ此第十七議會ニナリマシテハ、請願ノ數が僅カ二十一件ニ減シテシマッタノニアリマス、是ハ畢竟スルニ憲法ノ——此議院法ニ請願權ヲ認メテアリマスケレドモ、請願權ヲ尊重シナイ結果デハナイカト思フノニアリマス、更ニ進ミマシテ十二議會カラ以後ニ於キマシテハ段々減シテ參リマシテ、十四議會ニハ五百七十一、十五議會ニ於テハ一千二百一十七件提出ニナッタ、然ルニ採擇ニナリマシタモノハ十四議會ニ於テハ僅ニ七十一、十五議會ニ於テハ七十二件デアリマス、十六議會カラ以後ニ於キマシテハ段々減少致シマシテ二十議會デノ間ニ於テ十九議會ノ如キハ僅カ十件ノ提出ギリナカッタノニアリマス、ソレカラ二十議會ニハ四十五件ノ提出シカナイ、二十一議會ニ於テハ竹越君ガ歐羅亜カラ歸ラレマシテ此事ヲ憂ヘラレテ、二十一議會ニハ自ラ請願委員長トナラレマシテ、此法律ヲ制定スルコトヲ議場ニ詰ラレマシタ結果、漸クニシテ二百十一件ノ提出ヲ見タノニアリマス、二十二議會ニ於テハ俄然トシテ國民ガ此請願權ニ重キヲ置テ九百五十二件ノ提出ニナッタノニアリマス、其後引續イテ二十二議會、二十四議會、二十五議會、二十七議會マニハ件數ノ相違ハアリマスケレドモ、大抵平均シテ多數國民ノ聲ハ直ニ議會ニ移サレルコトニナッタノニアリマス、而シテ二十四議會以後ニ於キマシテ此法律案ノ制定ヲ請願委員會ニ於テ爲スコトニナリマシテ、十年間ノ宿題トナッテ居リマシタ秋祿請願事件ノ如キモ、二十四議會ニ於テ六十一號ノ法律案トナッテ確定セラタノニアリマス、又二十五議會ニ於テハ二十六件、二十六議會ニ於テハ一件、前年ノ二十七議會ニ於テハ四件ノ法律案が制定セラレテ居ルノデアリマス、而シテ第一議會以來ノ經過ヲ見マスレバ此提出件數ト、政府ニ參考トシテ送タモノト、又採擇セラレタモノヲ比較シテ見レバ採擇せラル、モノガ此二十一議會マテハ極メテ少數デ、十分ノ一下モ採擇セラレテ居ナリノニアリマス、然ルニ二十議會ニ於テハ其半分乃至半分ヨリ少シ減シタ位ナ採擇ニナツテ居リマス、昨二十七議會ノ如キハ福井君ガ精勵ヲセラレタ結果、總數千三百四十件呈出ノ中六百四十四件採擇セラレテ居リマス、即チ昨年ノ讀會ハ此二十七回ノ

會期中ニ於テ最モ多ク採擇セラレタノデアリマス、併ナガラ是ハマダ請願ノ權利ヲ十分擴大サレ、十分功ヲ奏シタカト申シマスト、段々年表ヲ繰テ見ルト、五回モ七回モ同一ノ案件が出て居ルノデアリマス、政府ハ議院カラ意見ヲ附シテ送タモノニ向シテ、何等始末ヲ付ケテナイモノモアリ、其中ニハ功ヲ奏シタモノモアリマスガ、其大部分ハ其請願ト云フモノハ事實上尊重セラレテ居ラヌノデアリマス、故ニ此結果始末ヲ議會ニ報告スルト云フコトハ請願權ヲ尊重シ、國民ノ聲ヲ此憲法政治ノ上ニ於テ現ハストコロノ第一ノ要件テハナイカト信シマス、請願委員會ニ於テハ之ヲ憂ヘマシテ此功ヲ奏セんガタメニ此決議案ヲ出シテ、サウシテ次ノ會期ニ於テ其結果始末ヲ報告シテ貴ヒタイト云フコトヲ望ム決議案テアリマス、勿論議院法ノ六十五條ニハ時宜ニ依シテ報告ヲ求ムルコトヲ得ルト云フコトガアリマシテ、先例ニハ之ヲ求メタ例モアリマスガ、全部報告ヲ得ルト云フコトニナシテ居リマセス、斯様ナ次第アリマシテ、請願ハ最モ直接人民ノ訴ヲ受ケルトコロノ大切ナル憲法上ノ所ニアリマスカラシテ、此同モノヲ七回モ八回モ出シテ、議院ハ同ジャウナ意見ヲ附シテ送ツテ置イテ、ドウナツカ政府ノ方へ行クト分ラスト云フヤウナコトハ、實ニ議會政治ノ上ニ於テ甚ダ政府ハ不親切テハナイカト思ヒマスデ、此決議案ハ委員會ニ於テ特別委員會ニ付託シテ、政府ノ意見ヲ聽キサウシテ審査致シマシタカ、政府ハ同意致シマセス、同意致シマセスガ、請願委員會ハ請願ノ權利ヲ尊重シ、此實效ヲ奏スルタメニ本決議案ヲ提出シタ次第アリマスカラ、願クハ本會ニ於テ満場一致ヲ以テ可決アランコトヲ希望致シマス

(政府委員法學博士岡野敬次郎君登壇)

○政府委員(法學博士岡野敬次郎君) 請願權ノ尊重スベキモノアルコトハ請願委員長ノ御話ノ通りアリマシテ、政府ニ於キマシテ、議院ニ於テ採擇スベキモノト議決シタルトコロノ請願ニ付キマシテバ、慎重ノ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此決議案ニ同意ヲ表スルコトヲ得ザルノヲ遺憾トスルノデアリマス、其理由ヲ簡單ニ述バタイト思ヒマスカ、第一ニハ此決議案ニ依リマスルト次ノ會期ノ初メニ於テ請願ノ結果ヲ報告セネバナラスト云フコトニ至ルノデアリマス、是ハ申上ゲルマテモナク、議會ハ會期ニ成立スルノアリマシテ、一ソノ議會ヨリ次ノ議會ニ率聯スルモノハ認メテナインデアリマス、是ハ議院法ニ依シテモ、衆議院規則ニ依シテモ、貴族院規則ニ依シテモ、議院ハ每會期召集セラレ、每會期成立スルノデアリマス、故ニ議會ハ各々獨立ノモノニアリマシテ、一ソノ會期ヨリ次ノ會期ニ聯ナルモノハ無イノアリマシテ、憲法ニ於キマシテモ、次ノ會期ノ初メニ於テ承諾ヲ求ムルコトヲ要スト云フコトガアリマスケレドモ、併ナガラ是トハ其意味ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、ソレカラ又請願ハ必シモ一回ニ限ル譯テナインデアリマスカラ、每會期ニ提出スルコトヲ固ヨリ妨げナインデアリマス、ソレカラ次ニハ議院法ノ第六十五條ニ定メテアルトコロノ精神カラ解釋ヲ下シテ見マスレバ、議院法ハ其六十五條ニ依シテ議院ノ決議ニ依レバ時宜ニ依シテ其請願ノ報告ヲ求ムルコトヲ得ルト云フコトニナシテ居ルノデアリマス、是ハ請願ノ總テニ對シテ必ズ報告セラセネバナラスト云フ意味アルモノト致シマシタナラバ、即チ此第六十五條ノ精神ニ反スルモノデアラウト思ヒマス、故ニ此決議案ノ趣旨ヲ貫カントスレバ、議院法ノ改正ヲ致スヨリ外ナイト云フコトニ至ラウト思ヒマス、ソレカラモウ一ソ簡単ニ申述ベテ置キタイコトハ、議院法ニ於テ採擇シタコロノ請願ハ、各議院ヨリ政府ニ送付スルノデアリマシテ、政府ハ即チ之ヲ其所管ノ事項ニ依シテ各省大臣ニ之ヲ送付シテ、各省ニ於テハ其請願ニ就テ各々慎重ナル審査ヲ致シタ後ニ、之ヲ閣議ニ提出スルノデアリマス、是ハ内閣ノ官制ニ於テ、帝國議會ヨリ送致スル人民ノ請

願ハ必ズ閣議ニ於テエラコトヲ決定セナラスト云フコトハ、明カニ定メテアルノデアリマス、政府ニ於テ此請願ヲ取扱ヒマスコトハ唯今申上ゲル通リノ次第、決シテ之ヲ輕ク視ア居ルノデハナイノデアリマス、而シテ議院ニ於テ採擇セラレタルトコロノ請願ハ先刻委員長ヨリ報告セラレマシタガ、隨分其數ハ多イノデアリマス、音ニ衆議院ニ於テ採擇セラレタルトコロノミナラズ、貴族院ニ於テ採擇セラレタル請願モ頗ル其數が多いノデアリマシテ、第二十六議會ニ於テハ三千二百五十一件、第二十七議會ニ於テハ六百十八件ニ上ゲテ居ルノデアリマス、此中ニハ固ヨリ同シ趣意ノ請願モアリマシテ、重複シテ居ルノモアリマスカラ、必シモ此數通り各々獨立ノ請願トハ申サヌノデアリマシテ、其統計ヲ今申上ゲル譯ニハ參リマセス、免ニ角其數ハ多イノデアリマシテ、先刻申シマシタコロノ手續ヲ慎重ニ盡ス上ニ於キマシテ、次ノ會期ニ始メニ於テ悉ク此請願ノ結果ヲ報告スルト云フコトハ、事實不可能アルト云フ點ニアルノデアリマス、故ニ此點ニ於テ此決議案ニハ政府ハ同意ヲ致スコトが出來ナインデアリマス

○松田源治君 政府ハ此決議案ニ反對セラレテ、議院法ノ六十五條ヲ御引用ニナリマシタガ、六十五條ニ「請願書ヲ政府ニ送付シ時宣ニ依リ報告ヲ求ムルコトヲ得」トナックテ居ルノデアリマスカラ、此決議案ハ此議院法ノ趣意ニ副フノミナラズ、此議院法六十五條ノ活用ヲ爲ストコロノ適當ナル案ト私ハ考ヘルノデアリマス、且政府委員ハ議會ハ一期毎ニ變ルノデアルカラ、次ノ會期ト云フコトヲ茲ニ申スノハ、憲法上ノ精神ニ副ハナイト云フヤウナ趣意アザイマシタケレドモ、政府ハ何時ニテモ次ノ議會ニ於テ議案ヲ提出スルト云フコトモ公言致シ、次ノ會期ニ於テハ如何ナルコトヲ爲スト云フ公約モスルノテゴザイマスカラシテ、此決議案ハ衆議院規則及議院法ノ精神ニ副フノミナラズ、議院法ノ六十五條ノ活用ニナルコト、考ヘマスカラシテ、決シテ政府ノ言フヤウナ違法ナコトハナキ、此決議案ハ相當ナリト信シマスカラ、滿場一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ望ミマス

(「即決贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡有造君) 請願委員長提出ノ決議案ニハ、満場御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡有造君) 御異議ナク可決致シマシタ、此場合ニ一言致シテ置キマス、先日請願ノ件ヲ一括シテ議題ニ供スルコトヲ御詔リ申シテ諸君ノ御同意ヲ得タノデアリマスカ、其意ヲ誤解シテ請願ヲ虐待スルナド、云フコトヲ書イタ新聞モ見エタヤウアリマスガ、決シテサウ云フ意味デハナインデ、從來ハ請願ノ趣意ハ載セテ文書表ニアリト云フ語ノミヲ遠記ニ存シテ、實ハ十分明瞭ヲ缺イテ居ル嫌モアシタノデアル、ソレヲ今度ハ文書表ナルモノガ、元來人民ニハ示サレズシテ、議員間ダケデ分配ニナシテ居ラタノデアリマスカラ、文書表ニ載セルトコロノ趣意書ヲ悉ク官報速記録ニ載セル、故ニ本院ニ於テ決議案ノ趣旨ヲ貫カントスレバ、官報ヲ見ルトコロノ各人民が皆之ヲ明瞭ニ知り得ル、且政府モ直ぐ之ヲ見得ルト云フコトニナリマスカラ、前ヨリハ決議ノ方法ハ便ニナリマシタケレドモ、請願ヲ扱フ上ニ於テハ一層ノ鄭重ヲ加ヘタルコトデアリマスルカラ、此段ヲ明言致シテ置キマス——川崎安之助君登壇)

○川崎安之助君 委員長ニ代リマシテ、請願委員會ノ經過ヲ報告致シマス、昨日マニニ請願委員會ニ受理致シマシタコロノ請願ノ件數ハ總數六百六十件デアリマス、而シテ此中二百八十六件ハ已ニ去ル十二日ニ於テ審査ノ結果ヲ報告致シタノデゴザイマス、サウシテ本週中ニ於キマシテ——此週間ニ於キマシテ審査致シタコロノ件數ハ、

百五十四件ニナッテ居リマス、其中ニ採擇スベキモノト決定致シマシタモノガ四十一件、本會ニ於ケル委員會ニ参考ノタメニ送付致シマシタモノガ二件、院議ニ付スルコトヲ要セザルモノト致シタモノガ

一件、同種類ノ建議案又ハ請願議決ノ結果、議決ヲ要セザルモノガ五件アツタノデゴザイマス、尙其他ニ現在ニ於テ未了ノモノガ二百二十件ゴザイマス、而シテ本日院議ニ付セラレタルトコロノモノハ水道費國庫補助ノ請願外二十七件デアリマス、即チ日程ノ第十九ヨリ第四十六ニ至ルマデノ此一十八件ニアリマス、此一十八件ハ何レモ文書表ニ記載ノ請願ノ趣旨ヲ相當ナル理由認メマシテ、之ヲ採擇スベキモノト決定シマシテゴザイマス、而シテ其中ニ於テ最モ主ナルモノ、一二ニ就テ説明ヲ致シマス、日程第十九ノ水道費國庫補助ノ請願、是ハ大分縣速見郡別府町長吉田嘉一郎ノ呈出デ、松田源治君外一名ノ紹介ニナッテ居リマス、由來此水道ノ補助ナルモノハ大抵市ニ補助スルコトニナッテ、町トカ村トカ云フモノニ對シテ補助ト云フコトハ餘り無イヤウデアリマス、併ナガラ前例ヲ調べテ見マスルト、曩ニ若松町ニ對シテ此水道ノ補助ヲシタコトガアルノデアリマス、殊ニ政府ノ方針ト致シマシテモ、強チニ此自治團體タルトコロノ市ト云フ名稱ニ拘泥シテ補助スル譯テナクシテ、縱令町ニアラウガ村ニアラウガ、其實際ノ有様ガ之ヲ補助スルニ必要ナリト認メタナラバ、補助スルト云フ精神ニナッテ居リマカラ、本會ハ此別府町ノ如キ特別ノ事情ノアルトコロノ都會ニ對シマシテハ、殊ニ水道ノ補助ヲスルト云フ必要ヲ認メマシタカラ、茲ニ之ヲ採擇致シタ次第ニアリマス其次ニハ日程第二十一ノ利根川改修ニ付河川區域内土地買收ノ請願、請願人ハ埼玉縣大里郡中瀬村齋藤安雄外百三名ノ呈出ニアリマシテ、塚田啓太郎君ノ紹介ニアリマス、此案ノ要旨ハ利根川改修ニ付キマシテ河幅ヲ五百間ニ擴ゲルト云フコトニナッテアル、而シテ其五百間ノ間ノ三百間ノ低水敷即チ常水ノ流レル所ダケノ幅ヲ買上ゲルコトニアリマシテ、兩側ノ百間ツト云フ此川中ノ土地ハ縱令田ニアラウガ、畑ニアラウガ、若クハ人家ニアラウガ、之ニ對シテ買收モシナケレバ、又損害ノ補償モ與ヘナイト云フコトデアル、是ハ誠ニ不都合ナコトデアルカラ河幅五百間トナルナラバ、五百間全部ヲ買上ゲテ貰ヒタイト云フ請願ニアリマス、之ニ對シテ委員及政府委員ノ問ニ種々ノ質問、應答ガゴザイマシタ、政府委員ノ答辯ニ依リマスレバ、是ハ事實ハ認メル、其低水敷ノ二百間ト云フ所ハ、或ハ百五十間ノ所モアルシ、二百五十間ノ所モアルカラ、此間數ニ付テハ多少相違ガアルケレドモ、免ニ角縦令川中ニアリテモ技術上ニ於テ將來之ニ對シテ危害ヲ及ボサナイト認メタ處ハ買無イト信ジテ買ハナイノデアルカラ、決シテサウ云フ事ハ萬々無イ筈デアルケレドモ、若シ竣工ノ後ニ至テサウ云フコトが生ジテモ、ソレハ已ムラ得ナイトアルト云フヤウナ誠ニ不得要領ナルトコロノ答辯ニアリマシタ、故ニ本會ニ於テハ此請願ヲ最モ理由アルモノトシテ採擇致シタノデゴザイマス、而シテ此請願ニ付テハ其關係スルトコロガ實ニ重大ナル問題デ

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ請願全部委員長報告通り可決致シマシタ(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

第十九 特別報告第百五十二號

第三百八十八號

水道費國庫補助ノ請願 大分縣速見郡別府町長吉田嘉一郎呈出(紹介議員松田源治君外一名)

右請願ノ要旨ハ大分縣速見郡別府町ヘ温泉地トシテ浴客絶ユルコトナク一箇年ノ延人員百萬以上ニ達ス而シテ大字別府及濱脇ノ人家稠密ナル地域ヘ戸數二千餘旅館ノ數亦二百八十餘浴槽ノ數八百十八ニ及フ尙家屋ノ新築一日平均一戸半アリ然ルニ飲料水ニ乏シク一部人民ノ共同經營ニテ山間ヨリ清水ヲ引用スルモノアリト雖他ハ皆遠路ヲ忍ヒテ運搬スルカ又ハ温泉ヲ冷却シテ飲料ニ供スルカ如キ狀況ニ在リ宿泊ノ船舶モ給水ニ困難ヲ感シツアリ依テ上水道布設ニ對シテハ國庫ヨリ補助セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スベキモト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十 特別報告第百五十三號

第四百三十七號

村合併ノ請願 群馬縣吾妻郡高山村大字尻高村百十八番地平民農有馬俊平外百五十二名呈出(紹介議員武藤金吉君)

右請願ノ要旨ハ群馬縣吾妻郡内高山村ト名久田村トハ相鄰接シ地形恰モ一村ノ觀アリテ若之ヲ合併スルトキハ村役場、高等小學校及傳染病院ヲ一箇所宛廢止スルカ爲巨額ノ經費ヲ減スルコトヲ得ヘク其ノ利益莫大ナリ或ハ現今ノ役場附近又ハ村ノ東西隅ノ者ハ役場位置移動ヲ否トスルコトアラムモ是レ私論ニシテ公論ニ非サルナリ依テ兩村ヲ合併シ奈久多村ト改稱セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スベキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十一 特別報告第百五十五號

第三百九十四號

利根川改修ニ付河川區域内土地買收ノ請願 埼玉縣大里郡中瀬村二十

九番地平民農齋藤安雄外百三名呈出(紹介議員塚田啓太郎君)ハナイコトニシテ居ルノデアルト云フ政府委員ノ答辯ニアリマシタ、議員ヨリハ若シ左様ナコトニアリマシタナラバ、此技術者ノ設計が誤ツテ將來此土地ニ對シテ危害ヲ及ボサナイト認メタ處ハ買無イト信ジテ買ハナイノデアルカラ、決シテサウ云フ事ハ萬々無イ筈デアルケレドモ、若シ竣工ノ後ニ至テサウ云フコトが生ジテモ、ソレハ已ムラ得ナイトアルト云フヤウナ誠ニ不得要領ナルトコロノ答辯ニアリマシタ、故ニ本會ニ於テハ此請願ヲ最モ理由アルモノトシテ採擇致シタノデゴザイマス、而シテ此請願ニ付テハ其關係スルトコロガ實ニ重大ナル問題デ

明戸村、新會村、中瀬村ニ於ケル新設河川區域卽チ南北兩堤塘ノ間隔ハ總テ約

五百間ト定メラレ之ニ適合セサル舊來ノ堤塘ハ支川ノ處理ニ支障ナキ限り總テ改築

セラレ(二)前項南北兩堤塘内ニ在ル民有土地ハ全部相當代價ヲ以テ買收セラレ

家屋ハ總テ移轉セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ

採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付併セテ本會

期中ニ政府ノ報告ヲ求メ候也

第二十二 特別報告第百五十六號
第四百五十四號

河川改修速成ノ請願

山梨縣南巨摩郡增穂村長上澤亘外三十五名呈出

(紹介議員佐竹作太郎君外四名)

右請願ノ要旨ハ山梨縣ハ水害ヲ被ムルコト殆ト毎年ノ如ク加フルニ土砂ノ流出甚シ
ク少許ノ出水ニモ堤防ノ破壩、田畠家屋ノ流失ヲ免レス是レ山林荒敗ノ結果ニシ
テ昨四十四年 御聖旨ヲ以テ帝室林野管理局ニ屬スル山林二十九萬餘町ノ御
下賜アリ著々根本治水ノ策ヲ講究中ナルモ植林事業ノ如キハ其ノ效果ヲ顯ヘスニ少
クモ四五十年ヲ要シ到底現今ノ窮状ヲ救濟スル能ハサルカ故富士川及其ノ支流ノ
改修ヲ施行セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇ス
ヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十三 特別報告第百五十七號
第四百二十四號

常設美術展覽會場設立ノ請願 東京府豐多摩郡代々木字山谷百四十二
番地士族畫工岡精一外四十一名呈出(紹介議員吉植庄一郎君)

右請願ノ要旨ハ曩ニ文部省ハ公設美術展覽會ヲ開設シ斯道獎勵ニ資スト雖適當
ナル會場ナク常ニ上野公園内舊博覽會跡二號館ヲ使用シ私設展覽會亦常ニ此ノ
處ニ開催セラル然ルニ該館ハ天氣ノ晴雲ニ依リ光線ニ變化ヲ來シ苦心ノ作品モ殆ト
價值ノ認ムヘキナキニ至ル美術獎勵上一大缺陷ト謂フヘシ依テ常設美術展覽會場
ヲ設置セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキ
モノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十四 特別報告第百五十八號
第三百六十七號

登記所設置ノ請願 長崎縣北松浦郡今福村二百五十二番戸平民農豐村

重郎外三十名呈出(紹介議員中倉万次郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ長崎縣北松浦郡志佐村外七箇村ハ平戸區裁判所志佐出張所ノ
管轄ニ屬スルカ其ノ區域廣キニ過キ登記件數多キ爲申請者ノ不便少カラス而シテ
今福村、福島村、鷹島村ハ志佐出張所トノ距離近キモ一里遠キハ五里餘ヲ距テ
福島鷹島兩村ノ如キハ四里餘ヲ隔アタル孤島ナルニ志佐村ハ海淺ク風波ノ時ハ繫
船上陸シ能ハス調川村ハ志佐今福兩村ニ境ヲ接スルモ今福村トノ取引交通頻繁
ナリ依テ今福、福島、鷹島、調川ノ四箇村ヲ管轄區域トシテ今福村ニ登記所ヲ設
置セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト

議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三百六十八號
第三百六十九號

登記所設置ノ請願

長崎縣北松浦郡柚木村、大野村、皆瀬村ハ佐世保區裁判所山

口出張所ノ管轄ニ屬スルカ距離遠隔ニシテ遠キハ五里ヲ距テ交通亦困難ナルカ爲

不便甚シ依テ二村ノ中央ナル大野村ニ登記所ノ設置アリシト謂フニ在リテ衆議

院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五

條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十六 特別報告第百六十號
第三百七十六號

登記所設置ノ請願

山口縣美禰郡共和村 長阿武義一外二名呈出(紹介

議員德田讓甫君)

右請願ノ要旨ハ山口縣美禰郡共和村、別府村、於福村ハ郡ノ西北方ニ僻在シ共
和村別府村ハ山口區裁判所伊佐出張所ノ所轄ニ屬シ其ノ距離近キモ二里遠キハ
六里ニ至ル於福村ハ同區裁判所太田出張所ノ所轄ニシテ遠キハ五里ニ達ス從テ往
復ニ日子ヲ要シ不便甚シ依テ二村ノ中央ニ位スル別府村字堅田ニ登記所ヲ設置セ
ラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議
決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十七 特別報告第百六十一號
第三百八十七號

登記所設置ノ請願

岡山縣阿哲郡矢神村大字矢田六百一十九番地平民

公吏安田士磨外六十八名呈出(紹介議員福井三郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ岡山縣阿哲郡西部ハ同郡上市村所在登記所ノ管轄ニ屬シ六里
乃至三里ノ遠距離ニ在リ且道路險惡ナルカ故人民ノ不便謂フヘカラス依テ其ノ中
心タル矢神村大字矢田ニ登記所ヲ設置セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨
ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊
及御送付候也

第二十八 特別報告第百六十二號
第四百三號

區裁判所裁判事務復舊ノ請願 石川縣羽咋郡高濱町字高濱ヘノ一番地

平民金賀業加藤忠藏外二十三名呈出(紹介議員松田吉三郎君)

右請願ノ要旨ハ高濱區裁判所ハ明治二十五年十一月裁判事務取扱ヲ閉鎖セラ
レ事實上廢廳ト爲レリ元來羽咋郡内ニハ民事訴訟最モ多ク金澤地方裁判所管轄
内第一タリ今ヤ時勢ノ進運ニ伴フテ事件愈多キヲ加フルノ有様ニ在リ羽咋郡ノ地
勢ハ長方形ヲ爲シ延長二十餘里ニ亘リ押水、邑知、志賀、富來ノ四郷區ニ區分サ

レ高濱區裁判所所在地タル高濱町ハ郡ノ中央ニ位シ志賀區ニ屬ス然ルニ今ヤ七尾
區裁判所ニ赴クニ南半部タル押水、邑知ハ七尾鐵道ノ便アレトモ北半部タル志賀、
富來ハ道路險惡交通至難ナルカ故不便甚シ且押水、邑知モ高濱ニ於テスルト七尾

ニ赴クトハ便否明白ナリ依テ高濱區裁判所ノ事務ヲ復活セラレタシト謂フニ在リテ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六

十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十九 特別報告第百六十三號

第四百四十二號

控訴院管轄變更ノ請願 鳥取縣西伯郡米子町 大字立町二丁目五十四番

地平民辯護士雜賀啓次郎外四十二名呈出(紹介議員福留清四郎君)

右請願ノ要旨ハ交通機關ノ完備ニ伴ヒ廣島控訴院ノ如キモ其ノ必要ヲ認メラレサ
ルニ至レリ鐵道全通ニ今日ニ於テ山陰道人民ノ廣島行ハ大阪行ニ比シテ五時間半

ノ不利益アリ依テ現時ニ趨勢ト道民ノ利害ヲ察シ廣島控訴院ノ存廢如何ニ拘ラ
ス速ニ大阪控訴院ノ管轄ニ轉屬セシマレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ

至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及

御送付候也

第三十 特別報告第百六十四號

第四百五十二號

區裁判所出張所設置ノ請願 奈良縣高市郡八木町長上田耕作外六名呈

出(紹介議員八木逸郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ奈良縣高市郡八木町長上田耕作外六名呈
出張所設置ノ請願 奈良縣高市郡八木町長上田耕作外六名呈
出(紹介議員八木逸郎君外一名)

右請願ノ要旨ヲ有スルニ拘ラス一ノ區
裁判所出張所ナシ斯ノ如キハ全國ニ例ヲ見サル處ナリ殊ニ本郡北部ノ八木町外六箇
町村ハ高田區裁判所ノ管轄ニ屬シ距離遠キハ三里ニ達シ不便甚シク之カ爲不測ノ
損害ヲ被ムコト尠カラス依テ郡役所、中學校、郵便局其ノ他諸會社ノ所在地ニ
シテ貨物集散ノ要地ナル八木町ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十一 特別報告第百六十五號

第四百五十三號

區裁判所出張所設置ノ請願 長崎縣北松浦郡世知原村栗迎免三百六十
三番地ノ一平民雜業河内國十郎外三百二十名呈出(紹介議員辻川與

一右衛門君外一名)

右請願ノ要旨ハ長崎縣北松浦郡世知原村ハ人口三千六百餘ヲ有シ佐々、小佐
々、吉井ノ三村ト共ニ三里以上ノ距離ニ在ル區裁判所出張所ノ管轄ニ屬シ距離
遠キニ過クヨリ不便大ナルミナラス本村ノ登記件數ハ常ニ全區域ノ四分ノ一以
上ヲ占ム依テ右區域ヲ割キ本村ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十二 特別報告第百六十六號

第四百五十八號

(紹介議員石鄉岡文吉君外五名)

右請願ノ要旨ハ青森縣北津輕郡五所川原區裁判所金木出張所ノ管轄區域中
中里、武田、内瀬ノ三村ハ出張所所在地トノ距離遠キ内瀬村大字今泉ノ如

キハ殆ト五里ノ距離ニ在リ積雪ノ季節ノ如キハ八馬ノ往來阻絶シテ不便謂フヘカラ
ス依テ右三箇村ヲ管轄區域トシテ其ノ中央ナル中里村大字中里ニ區裁判所出張
所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇ス
ヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十三 特別報告第百六十七號

第三百七十九號

蠶絲業法中改正ノ請願 鳥取縣東伯郡北谷村大字森村四番屋敷平民農

西谷金藏外七百六十六名呈出(紹介議員武藤金吉君)

右請願ノ要旨ハ蠶病豫防ニ關スル検査ハ當業者ノ希望ヲ俟テ之ヲ爲スモノニ非
國家ノ利害上必要ト認メ強制検査ヲ施行スルモノナルニ其ノ費用ヲ府縣ニ負擔セシ
ムルハ失當ナリト謂フヘシ又近來框製蠶種ノ激増ヲ來シタルハ斯業ノ爲甚々喜ブヘキ
現象ナルニ検査手數料ヲ徵收スルカ如キハ最危險ナル普通蠶種ノ製造ヲ增加スルノ
虞アリ從來國家及府縣カ公益並公衆衛生等ノ爲強制検査ヲ施行スルモノ少カ
ラスト雖其ノ検査ニ關シ手數料ヲ徵スルモノナシ蠶病豫防検査ノ如キ亦同一ナルヘ
キ皆ナリ依テ蠶絲業法中第一二十六條ノ後段「府縣ノ負擔トス」ヲ「國庫ノ負擔ト
ス」ト改メ但書ヲ削リ且第二十七條ヲ削除セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ
趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
別冊及御送付候也

第三十四 特別報告第百六十八號

第四百四十八號

捕獲ヲ禁スル鳥類追加ノ請願 高知縣水產組合組長北川深淵呈出(紹介
議員細川義昌君)

右請願ノ要旨ハ瀬島鳥ハ遠ク洋海ニ飛翔シ食餌ヲ索ムル爲鮪鰐鰐其ノ他魚群ニ追
従伴行スルモノナルニ由リ漁夫ハ其ノ動靜舉止ヲ観テ魚群ノ在否、種類、多寡及
潮流ノ方向等ヲ察知シ執業ノ進退ヲ誤ラス該鳥ハ實ニ沖合漁業ニ必要ナル指導者
ナリ依テ之ヲ捕獲ヲ禁スル鳥類トシテ狩獵法施行規則中ニ追加セラレタシト謂フニ
在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院
法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十五 特別報告第百六十九號

第三百七十三號

帝國軍人後援會國庫補助ノ請願 東京府豐多摩郡戸塚村 大字下戸塚七十番地華族帝國軍人後援會理事伯爵大隈重信外九名呈出（紹介議員清室太郎君）右請願ノ要旨ハ陸海軍人ノ遺族及廢兵等ニ對シテハ廢兵院、恩給扶助料等國家ノ施設具ハレリト雖到底之ノミヲ以テ充分ナリト云フ能ハス且夫レ現役兵ノ救護ノ如キハ服役者ラシテ專心軍務ニ精勤セシムル上ニ於テ最必要ノコトニシテ之カ爲徵集猶豫若ハ服役免除ノ適用ヲ要セサルニ至ラハ國民皆兵ノ實ヲ全フルコトヲ得ヘシ帝國軍人後援會ノ事業ハ此等ノ目的ニ出ツルモノニシテ慈善事業ト謂ハムヨリハ寧ロ國防上ノ補助機關ナリト謂フヘシ今ヤ一大戰役ノ後ヲ承ケテ救護ヲ要スル遺族廢兵ハ著シク増加スルニ世ノ同情漸次冷却シ來ラムトス此ノ時ニ當リ本會事業ノ振否ハ國民ノ獻身的精神ノ消長ニ關係重要問題ナリトス依テ本會ニ國庫ノ補助アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト讀決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三百六十六 特別報告第百七十一號

郵便局設置ノ請願 埼玉縣北埼玉郡村君村 大字下村君五十四番地平民

（紹介議員齊藤珪次君）

右請願ノ要旨ハ埼玉縣北埼玉郡村君村ハ戸數五百餘人口三千六百餘ニシテ米穀織物等ノ輸出額三十九萬圓餘ニ達シ郵便電信ノ事項益多キヲ加フルニ拘ラス所轄郵便局タル大越郵便局トノ距離一里三町ニシテ不便甚シ依テ本村中央ナル村役場所在地へ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト讀決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三百六十七 特別報告第百七十一號

郵便局設置ノ請願 島根縣宍道郡宍道村君村 大字下村君五十四番地平民

（紹介議員石田孝吉君）

右請願ノ要旨ハ島根縣宍道郡宍道村君村ハ戸數五百餘人口三千六百餘ニシテ米穀織物等ノ輸出額三十九萬圓餘ニ達シ郵便電信ノ事項益多キヲ加フルニ拘ラス所轄郵便局タル大越郵便局トノ距離一里三町ニシテ不便甚シ依テ本村中央ナル村役場所在地へ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト讀決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三百六十八 特別報告第百七十二號

郵便局設置ノ請願 島根縣宍道郡宍道村長小笠壽一郎呈出（紹介議員石田孝吉君）

官報號外

明治四十五年三月十七日

衆議院議事速記録第二十一號

請願會議

右請願ノ要旨ハ島根縣宍道郡御津村ハ戸數約百八十人口約一千ニシテ農漁業

ニ從事シ殊ニ蠶業ハ近時大ニ發達シ郡内屈指ノ地ト目セラレ他地方ヨリ雇用スルモノ毎年約四百名ノ多キニ達ス且隱岐國ト松江市トノ交通ハ總テ此ノ地ヲ經由スルカ爲當地港灣ニ出入スル船舶ノ數ハ年々數百ヲ下ラス從テ郵便事務モ益多キヲ加フルニ拘ラス管轄局タル加賀局ニ遠ク且外來郵便物ハ總テ松江局ヨリ本村ヲ經過シテ加賀局ニ遞送シ更ニ本村ニ配達セラルノ地勢ニ在ルカ故遲著甚シ依テ本村ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト讀決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三百八十一號 郵便局設置ノ請願 島根縣邑智郡谷住郷村長代理助役田中重信呈出（紹介議員恆松隆慶君）

右請願ノ要旨ハ島根縣邑智郡谷住郷村ハ戸數四百餘人口二千六百餘ノ小村ナルミ小商工業者多く又出稼人ノ多キヲモ近鄰共ノ比ヲ見ス從テ郵便電信爲替等ノ夥多ナル管轄局市山郵便區内第一位ニ居ル然ルニ市山局ニ至ル間ニ一川アリ共ニ渡船ニ依リ近キハ一里半遠キハ四里以上ノ道程ヲ有シ殊ニ降雨際シテハ交通遮断ノ不幸ニ遭遇スルコトアリテ其ノ不便甚シ依テ本村ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト讀決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十 特別報告第百七十四號

郵便局設置ノ請願 岡山縣阿哲郡豐永村大字佐伏五百五十九番地平民

（紹介議員福井三郎君外一名）

右請願ノ要旨ハ岡山縣阿哲郡豐永村及草間村ハ共ニ高山ノ巔ニ在リ所轄郵便局ハ山下ノ平坦部ニ在ルカ故ニ配達ニハ一里餘ノ峻坂ヲ攀チテ一平方里強ノ山腹渓谷ニ散在セル人家ニ至ラサルヘカラス其ノ不便少カラス依テ右ニ一村ヲ管轄區域トシテ適當ノ箇所ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト讀決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十一 特別報告第百七十五號

郵便局設置ノ請願 岡山縣阿哲郡矢神村大字矢田六百一十九番地平民

（紹介議員福井三郎君外一名）

右請願ノ要旨ハ岡山縣阿哲郡矢神村大字矢田ノ如キハ矢神外四箇村ノ中心地點ニ當リ物資ノ集散尠カラス然ルニ電信局ノ設置ナク四里六里ノ遠路ヲ往復シテ用ヲ辨セサルヘカラサルカ故不便甚シ依テ矢田ニ電信局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト讀決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三百八十六號 電信局設置ノ請願 岡山縣阿哲郡矢神村大字矢田六百一十九番地平民

（紹介議員福井三郎君外一名）

右請願ノ要旨ハ岡山縣阿哲郡矢神村大字矢田ノ如キハ矢神外四箇村ノ中心地點ニ當リ物資ノ集散専カラス然ルニ電信局ノ設置ナク四里六里ノ遠路ヲ往復シテ用ヲ辨セサルヘカラサルカ故不便甚シ依テ矢田ニ電信局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト讀

第四十二 特別報告第百七十六號
第三百九十八號

右請願ノ要旨ハ山梨縣北巨摩郡日野春村二十七番戸平民農武井佐太郎呈出(紹介議員根津嘉一郎君外一名)テ郡ノ中央ニ位シ貨物ノ集散夥シク縣郡ノ講習會、品評會、牛馬糞市場等ノ開設セラル處ナルヲ以テ乗客モ亦頻繁ナリ然ルニ郵便事務ハ一里半ノ秋田郵便局ニ屬シ停車場附近ニ配達セラル郵便物モ同局へ遞送ノ上配達セラルヲ以テ一日以上ノ日子ヲ空費スルノ不便アリ依テ甲村、熱見村ノ一部、若神子村ノ一部、新富村、武里村、圓野村及日野春村ヲ管轄區域トシテ日野春停車場附近ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十三 特別報告第百七十七號
第四十四 特別報告第百七十八號

右請願ノ要旨ハ千葉縣匝瑳郡東陽村五千六百四十二番地平民農椎名熊治郎外二百八十二名呈出(紹介議員關和知君外一名)テニ富ミ東陽村上宮川ノ如キハ鐵道荷馬車舟楫ノ便アリ商家楠比シ交通織ルカ如ク輸出入ノ貨物頗ル多額ナリ從テ通信往復ノ迅速ヲ要ヘルモノアルニ拘ラスニ二村中郵便局ノ設置ナク局所在地ハ近キモ一里遠キハ二里ニ達シ不便謂フヘカラス依テ東陽村上宮川ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十五 特別報告第百七十九號
第四百八號
郵便局設置ノ請願 岡山縣赤磐郡五城村大字平岡西平民農浦上宗志外
郵便局設置ノ請願 十三名呈出(紹介議員福井三郎君)
右請願ノ要旨ハ岡山縣赤磐郡五城村ハ町村郵便局ノ所管ニ屬シ一里ノ距離ニ在リ又布都美村ハ仁堀郵便局ノ管轄ニ屬シ遠キハ三里ニ餘レリ而シテ遞送ノ順路ハ町村郵便局ヲ經テ仁堀局へ達スルヲ以テ發著共布都美村ハ一日ヲ遅ルノ觀アリ殊ニ最遠距離ニ在ル大字石上ニハ佐野鐵山アリテ盛ニ發展シツタルヲ以テ通信爲替等頻繁ナルニ不便甚シ依テ兩村ヲ管轄區域トシテ五城村大字平岡西ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十六 特別報告第百八十號
第四百十三號
郵便局設置ノ請願 新潟縣南蒲原郡大面村大字大面二十九番戸平民農片野寅太郎外四十六名呈出(紹介議員高橋光威君)
右請願ノ要旨ハ新潟縣南蒲原郡大面村大字大面、北瀬、矢田、吉野屋、鴨ヶ池、藏内、茅原、戸口、安代、高安寺、小瀬、新潟村ノ東部、本成寺村ノ南部ハ通信機關ノ完備ヲ缺キ人文化ノ開發農工商業、藝能ニ伴ハス且大面村大字大面ノ如キハ舊驛場ニシテ商店多く駐在所、學校等アリ大字矢田ニハ鑑泉アリテ交通頻繁ナリ然ルニ帶織郵便局ノ管轄ニ屬シ不便甚シ依テ前記部落ヲ管轄區域トシテ大面村大字大面ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

○議長(大岡育造君) 此場合委員ノ指名ヲ致シマス、同時ニ前回漏レタヤウニアリマスカラシテ尙申シア置キマス、即日委員長、理事ノ選舉アランコトヲ望ミス
(書記朗讀)

日本勸業銀行法中改正法律案外二件委員
右互選ハ第一委員室

西谷 金藏君	稻村 辰次郎君	高木 正年君
富安 保太郎君	村井 善四郎君	永野 静雄君
森 正君	松本 恒三郎君	

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案委員

澤來 太郎君	佐々木 文一君	町田 旦龍君	木戸 豊吉君
根本 正君	荒川 五郎君	大内 錫三君	森 启太郎君
森 茂生君	齊藤 已三郎君	横山 金太郎君	塚田 啓太郎君
高橋政右衛門君	松尾 廉三君	平島 松尾君	
安川 保太郎君			
藏原 惟郭君			

○議長(大岡育造君) 次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會
右互選ハ兩院協議室
午後四時三十二分散會

第四百八號
郵便局設置ノ請願 三重縣名賀郡上津村大字伊勢地五十一番屋敷平民農山本奈良次郎外二十名呈出(紹介議員濱田國松君)
右請願ノ要旨ハ伊賀國名賀郡上津村ハ神宮大廟ニ詣ツル要路ノ一宿驛ニシテ稍